

Trophy 3DI Pro
ユーザーおよびインストール ガイド

通知

本発行物のいかなる部分も、事前の書面による許諾を得ずして、電子的、機械的、コピー、記録など、いかなる形式または手段でも複製、検索システムに保存、他言語への翻訳、あるいは伝送することはできません。

この文書の情報は変更されることがあります。ケアストリームヘルス社またはその子会社は本文書中の誤りあるいはこの資料の提供、実行、または使用に関連する偶発的損害に対して責任を負いません。

このガイドを充分に理解され、システムを最も効果的な方法でお使いになることをお勧めします。



警告: Trophy 3DI Pro をお使いになる前に「Trophy 3DI Pro 安全、規制および技術仕様ユーザーガイド」を参照することをお勧めします。

ケアストリームヘルスは ケアストリームヘルス社の商標です。

その他の商標および登録商標はすべてそれぞれの商標権の所有者の財産です。

Trophy 3DI Pro は専門的使用のみに意図されています。

合衆国連邦法では、この装置の販売は歯科医師本人または、歯科医師の指示による場合に制限されています。

マニュアル名 : Trophy 3DI Pro ユーザーおよびインストール ガイド

パート番号 : 9J9672_ja

改訂番号 : 03

プリント年月 : 2017 - 09



目次

第 1 章	このガイドで使用する表記規則	1
このガイドで使用する表記規則		
第 2 章	Trophy 3DI Pro の概要	3
	Trophy 3DI Pro ホルダーの概要	5
	Trophy 3DI Pro USB ケーブルストレージ	6
第 3 章	Trophy 3DI Pro ソフトウェアの概要	7
	コンピュータシステムの最低要件	7
	ソフトウェアの一般概要	7
	イメージングソフトウェア	7
	画像取得インターフェイスの概要	8
	ツールバーの概要	9
	画像取得タイプの選択のウィンドウ	13
	支台歯形成チェック	14
	歯列弓表示	14
	基本設定ダイアログボックスの概要	15
	基本全般設定	15
	詳細全般設定	16
	スキヤナ設定	17
	ツール設定	18
第 4 章	スキヤナをセットアップする	19
	スクリプトトップホルダーを使用する	21
	スクリプトトップホルダーの取付け	21
	壁取り付けホルダーを取り付ける	22
第 5 章	お使いにあたって	23
	イメージングソフトウェアの使用	23
	画像取得インターフェイスにアクセスする	23
	イメージングソフトウェアを使用して画像取得	
	インターフェイスにアクセスする	23
	診療管理ソフトウェアから画像取得インターフェ	
	イスにアクセスする	23
	基本設定をセットアップする	24
	チュートリアルの表示	24
	ツールおよびチップ	25
	歯の支台歯形成	25
	スキヤナの位置	25
	重要なスキャン手順 – 修復画像取得	25
	一度に 1 つの面をスキャンする	25

第 6 章 修復用に 3D モデル の画像を取得する

個別に各歯をスキャンする	25	
重要なスキャン手順 – 歯列矯正画像取得	26	
一度に 1 つの面をスキャンする	26	
個別に各歯をスキャンする	26	
重要なスキャン手順 – インプラント画像取得	26	
一度に 1 つの面をスキャンする	26	
個別に各歯をスキャンする	26	
金属、クラウン、穴またはギャップを スキャンする	27	
軟組織のアーチファクト、不要ビュー、 およびミスマッチを取り除く	28	
スキャナを準備する	29	
標準のスキャンワークフローを使用して修復用の 3D モデルの画像取得を行う		31
上顎および下顎の歯をスキャンする	31	
頬側バイト印象をスキャンする	36	
チェック	38	
マージンラインを描画する	43	
自動的にマージンラインを描画する	43	
マージンラインを手動で描画する	45	
2D 画像を選択する	47	
スキャン履歴チェックを使用してスキャンをレビューし 不要なビューを除去する	48	
プリおよびポストスキャンワークフローを使用して 修復用の 3D モデルの画像取得を行う	50	
前のスキャンをインポートする	50	
支台歯形成された歯をカットする、および支台歯 形成領域を画像取得する	52	
チェック	55	
マージンラインを描画する	60	
自動的にマージンラインを描画する	60	
マージンラインを手動で描画する	62	
2D 画像を選択する	64	
スキャン履歴チェックを使用してスキャンをレビュー し不要なビューを除去する	65	
上顎および下顎の歯をスキャンする	67	
頬側バイト印象をスキャンする	71	
歯列矯正スキャンチェック	73	
チェック	74	
2D 画像を選択する	78	
スキャン履歴チェックを使用してスキャンを レビューし不要なビューを除去する	79	

第 7 章 歯列矯正用に 3D モデルの画像を取得 する

第 8 章	上顎および下顎の歯をスキャンする	82
インプラント用に	頬側バイト印象をスキャンする	86
3D モデルの画像を	カットツールを使用してインプラント領域を	
取得する	カットする	88
	インプラント顎の上のスキャンボディ画像を取得する	91
	インプラント顎の上の複数のスキャンボディ画像を	
	取得する	92
	チェック	93
	2D 画像を選択する	98
	スキャン履歴チェックを使用してスキャンを	
	レビューし不要なビューを除去する	99
第 9 章	洗浄、消毒、および滅菌	101
メンテナンス		
第 10 章	Trophy 3DI Pro トラブルシューティング説明書	103
トラブルシューティ		
ング		
第 11 章	工場住所	105
お問い合わせ先	製造元の住所	105
	認定代理店	105

1

このガイドで使用する表記規則

このガイドで使用する表記規則

以下の特別なメッセージは情報を強調するかまたは人体または装置に対するリスクの可能性を示します：



警告：安全に関する指示に従うことにより、ご自身や他の方が怪我をしないよう警告します。



注意：重大な損傷を引き起こす恐れのある状態に対する注意を喚起します。



重要：問題を引き起こす可能性のある状態に対し注意を喚起します。



注記：重大な情報を強調します。



ヒント：その他の情報およびヒントを提供します。

フィードバックの提供

このドキュメントの情報は役立ちましたか？このドキュメントにない情報をお探しでしたか？

短いアンケートに回答してこのドキュメントをよりよいものにしてください。

<http://guest.cvent.com/d/sdqtlI/3B> をクリックしてアンケートを開きます。

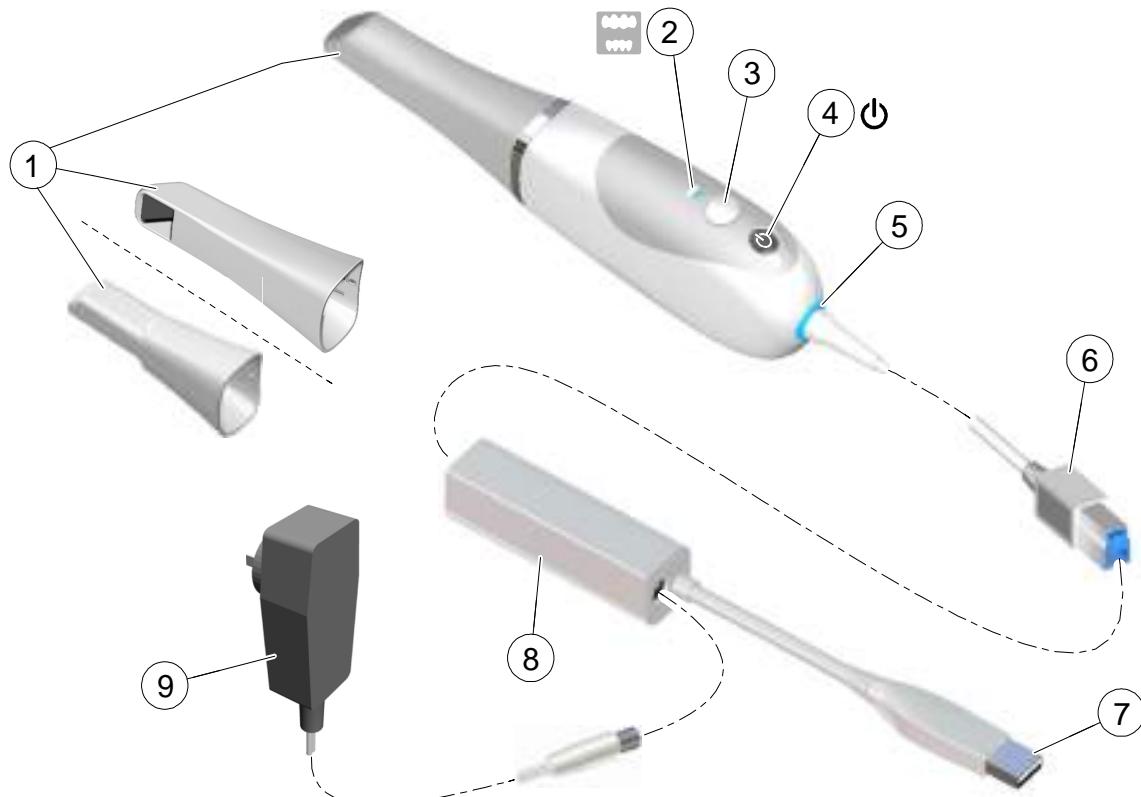
2 Trophy 3DI Pro の概要

Trophy 3DI Pro は以下のモードで 3D 静止画像を取得するよう設計されています：

- 下顎
- 上顎
- 頬側バイト印象

Trophy 3DI Pro の概要

図 1 Trophy 3DI Pro コンポーネントの概要



1 再使用可能なチップ

以下の 3 種類のチップがあります：ノーマルの下向き。横向きの左向き。後ろ向きの下向き。**注記**：後ろ向きのチップを使用すると、届きにくい領域のスキャンがより容易になります。後ろ向きのチップは、四半円スキャン専用に設計されており、全歯列弓スキャン用には使用できません。

取り外し可能なスキャナのチップは最大 20 回オートクレーブできます。20 回使用したら、チップを廃棄します。134°C での保持時間を 4 分以下に制限すると、最大 60 回までオートクレーブできます。詳細は **Trophy 3DI Pro の安全、規制、および技術仕様ユーザーガイド** を参照してください。

2 モードインジケータ

-  下顎スキャンモード
-  上顎スキャンモード
-  頬側バイト印象モード

注記:スキャナが過熱しているとモードインジケータが速く点滅します。

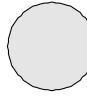
3 モードボタン

ボタンを押すと、異なるモードに切り替わります。

4 電源ボタン

- 1秒間押すと、電源がオンになります。
- 3秒間押すと、電源がオフになります。

電源インジケータ LED :

-  スキャナがアクティブになります。
-  ブライトネスが暗から明へまたは明から暗に緩やかに変化する場合、スキャナは非アクティブ状態、切断状態、またはチップが装着されていない状態です。
-  インジケータが高速で点滅し **過熱** アイコンが **画像取得** インターフェイスに表示される場合、スキャナをホルダーに5～10分間収めます。スキャナは非アクティブになり、冷却されます。
-  電源がオフです。

5 USB 接続インジケータ

-  接続。
-  非接続。

6 スキャナコネクタ

電源ボックスの端にある大きいジャックに差し込みます。

7 USB ケーブル

このケーブルの一端を電源ボックスに配線接続し、他端をコンピュータの USB ポートに接続します。

8 電源ボックス / ケーブル

スキャナを電源アダプタに接続します。

9 電源アダプタ

このアダプタの一端を電源ボックスの小さいジャックに挿入し、他端を電源コンセントに挿入します。

Trophy 3DI Pro ホルダーの概要

ホルダーはデスクトップまたは壁取り付けホルダーとして使用できます。スキヤナを使用していないときは、ホルダーに入れます。

図 2 デスクトップホルダー内のスキヤナ



図 3 壁取り付けホルダー内のスキヤナ





注記：スキャナをホルダーに挿入すると、非アクティブモードになります。Trophy 3DI を再び使用するには、ホルダーから取り出します。



注記：スキャナは5秒間アイドル状態にする（例えば、デスク上に設定した場合）と非アクティブモードになります。再び使用するには、持ち上げます。



注記：画像取得インターフェイスでは、チップを取り外すとチップなしアイコンが表示されます。スキャナを再び使用するには、チップを装着します。



注記：スキャナは1時間以上アイドル状態になると電源がオフになります。

Trophy 3DI Pro USB ケーブルストレージ

スキャナのUSBケーブルの破損を避けるには、ケーブルをゆるく巻き、鋭い曲がりを避けてください。特に、ケーブルがスキャナに接続する付近では注意が必要です。

図4 正しいスキャナケーブルの保存



スキャナのハンドルの周りにケーブルを巻きつけたり、ケーブルを鋭く曲げることはしないでください。

図5 誤ったスキャナケーブルの保存



3 Trophy 3DI Pro ソフトウェアの概要

コンピュータシステムの最低要件

コンピュータシステムの最低要件については、Trophy 3DI Pro の安全、規制、および技術仕様ユーザーガイドを参照してください。



重要：コンピュータのシステム構成が Trophy 3DI Pro ソフトウェアのコンピュータシステム要件に適合しているか必ずチェックしてください。

ソフトウェアの一般概要

Trophy 3DI システムは以下のソフトウェアで動作します。

- ・ イメージングソフトウェア
- ・ 画像取得インターフェイス

イメージングソフトウェア

ケアストリームの Trophy Imaging ソフトウェアは使いやすい作業インターフェイスを備え、すべてのデンタルデジタルシステム用の共通イメージングプラットフォームとして設計・開発されました。

詳細については、次を参照してください：

- ・ Trophy Imaging オンラインヘルプおよび Trophy Imaging クイックユーザーガイド

または

- ・ Trophy 歯列矯正イメージングソフトウェアオンラインヘルプおよび Trophy 歯列矯正イメージング クイックユーザーガイド

または

- ・ Trophy OMS イメージングソフトウェアオンラインヘルプおよび Trophy OMS イメージング クイックユーザーガイド

画像取得インターフェイスの概要

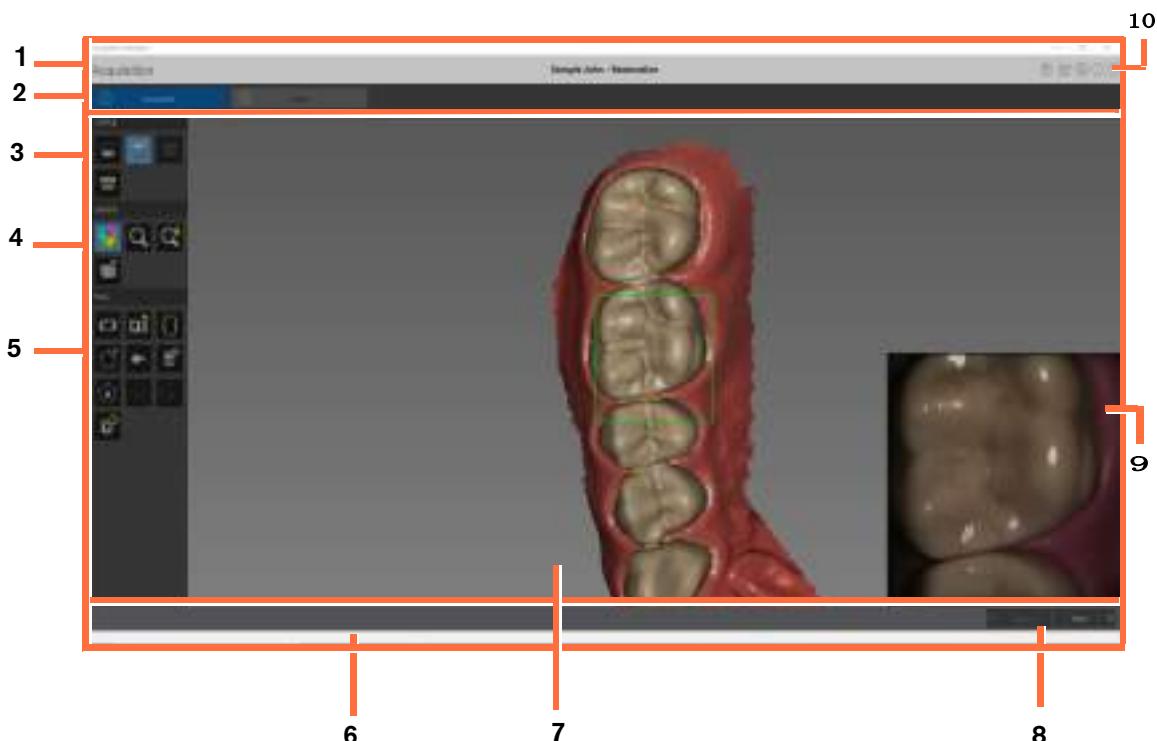
Trophy 3DI Pro 画像取得インターフェイスによって次の 2 つの方法で画像を取得できます。

- 部分歯列弓スキャン：上顎と下顎の両方の支台歯形成領域にあるいくつかの歯、および頬側バイト印象。
- 全歯列弓スキャン：上顎、下顎、および頬側バイト印象。



注記：いくつかの場合、1 つの歯列弓（部分または全）の画像を取得できても、頬側バイト印象を取得できません（例、対合歯列弓に歯がない場合）。しかし、可能であれば、歯列弓と頬側バイト印象の両方の画像を取得することをお勧めします。

図 6 Trophy 3DI Pro 画像取得インターフェイスの概要



1 タイトルバー：表示内容：

- 患者名と画像取得タイプ
- 画像取得インターフェイスを最小にします。
- 画像取得インターフェイスを最大にするか、または元のサイズに戻します。
- ✗ 画像取得インターフェイスを閉じます。

- 2 **画像取得ステップ**：画像取得プロセスの現在のステップを表示します。
- 3 **画像取得カタログツールバー**：画像取得モードを選択できます。
- 4 **全般ツールバー**：3D モデルの表示方法を変更できます。
- 5 **画像ツールバー**：3D 画像を選択して管理できます。
- 6 **進行状況バー**：画像取得プロセスのステータスを示します。
- 7 **3D モデル表示画面**：スキャンにより作成される 3D モデルを表示します。
- 8 **ナビゲーションバー**：画像取得プロセスで前方または後方に移動できます。
- 9 **ビデオプレビュー画面**：患者の歯のスキャンに関するライブビデオが表示されます。
- 10 **設定ツールバー**：これを使用すれば、ヒントの表示、ファイルのエクスポート、基本設定、システム情報およびオンラインヘルプへのアクセスが行えます。

ツールバーの概要

画像取得カタログツールバー

画像取得カタログツールバーによって画像取得モードを選択できます。



下顎ボタン：下顎の 3D 画像を取得します。



上顎ボタン：上顎の 3D 画像を取得します。



頬側バイト印象ボタン：バイトの 3D 画像を取得します。



切り替えボタン：誤って正しくない顎の歯のスキャンを行った場合、上顎を下顎にまたはその逆に画像取得モードを変更します。



下顎ボタン：インプラント画像を取得するとき、インプラント下顎のスキャンボディの 3D 画像を取得します。



上顎ボタン：インプラント画像を取得するとき、インプラント上顎のスキャンボディの 3D 画像を取得します。

全般ツールバー

全般ツールバーを使用すれば、3D モデルの表示方法を変更できます。



トゥルーカラーボタン：患者の硬組織と軟組織について実際の色で 3D モデルを表示します。



ズームフィットボタン：3D モデルを表示領域に最適なサイズに合せます。



フリーズボタン：3D モデルがサイズ変更および回転されないようにします。



高解像度 (HR) ボタン：微調整前に高解像度で 3D モデルを表示します。

注記：高解像度の使用時は、スキャン速度が遅くなり、穴警告機能が利用できません。

画像ツールバー

画像ツールバーによって画像の選択と管理を行えます。



口腔内画像ボタン：2次元の口腔内画像を選択できます。



スキャン領域を表示ボタン：歯列弓ダイアグラムを表示して、モデルの一部である歯を示します。成人または小児アイコンをクリックすると、適切な歯列弓が表示され、上顎と下顎を含むモデル内の歯を選択します。リセットボタンをクリックすると、その選択がクリアされます。



マージンライン描画ボタン：マージンラインツールをツールバーに表示します。このボタンはモデルのリファイン後、修復画像を取得するときに使用できます。



自動マージンライン描画ボタン：モデルで選択した歯の上に自動的にマージンラインを描画します。このボタンはモデルのリファイン後、修復画像を取得するときに使用できます。



手動マージンライン描画ボタン：モデルで選択した歯の上に手動でマージンラインを描画できます。このボタンはモデルのリファイン後、修復画像を取得するときに使用できます。



マージンライン編集ボタン：モデル上のマージンラインを変更できます。このボタンはモデルのリファイン後、修復画像を取得するときに使用できます。



選択済みマージンライン削除ボタン：モデルで選択した歯のマージンラインを削除します。このボタンはモデルのリファイン後、修復画像を取得するときに使用できます。



ライトボタン：環境光をアクティブまたは非アクティブにし、メッシュ細部を表示できるようにします。全般設定ウィンドウの詳細タブで HD 3D の有効化オプションが選択されると、このボタンが有効になります。



フリーカットボタン：フリーフォーム形状を使用して、画像内の不要なデータ（軟組織など）を選択して削除します。



カットボタン：インプラントの周囲の円状領域を選択し、削除します。このボタンはインプラント画像を取得するときに使用できます。



分割ボタン：3D モデルの分割画面ビューを表示します。プリアンドポストスキャン修復画像取得のワークフローでは、支台歯形成前画像取得モデルと支台歯形成後画像取得モデルの両方を表示できます。インプラント画像取得ワークフローでは、スキャンボディありなしの両方のモデルの画像を表示できます。このボタンは修復またはインプラント画像取得を行うときに使用できます。



終了ボタン：3D モデルの分割画面ビューを閉じます。このボタンは修復またはインプラント画像取得を行うときに使用できます。



すべてを削除ボタン：現在のモードのすべてのビューを削除します。



元に戻すボタン：最後の操作をキャンセルします。



リセットボタン：すべての削除を取り消して最初の画像取得に戻ります。



スキャン履歴チェックボタン：このボタンを使用すれば、3D モデルで前後に移動してスキャンをチェックできます。必要に応じて、ミスマッチ / 不要ビューおよび再スキャン領域を取り除けます。



アンダーカットチェックボタン：自動的にアンダーカット計算を行います。計算の挿入軸は現在のスキャンビューに基づきます。メッシュを回転して挿入軸を調整し、**アンダーカットチェック** ボタンをクリックして、マウスを左クリックアンドドラッグしてアンダーカットチェックに含める歯を選択します。このボタンは修復画像取得を行うときに使用できます。



再選択ボタン：アンダーカットチェックに含める歯を再選択します。このボタンは修復画像取得を行うときに使用できます。



再計算ボタン：挿入パスの方向の変更後にアンダーカットを再計算します。このボタンは修復画像取得を行うときに使用できます。



測定ボタン：このボタンを使用すれば、モデル上の選択されたポイント間で測定できるようになります。このボタンは修復画像取得を行うときに使用できます。



測定作成ボタン：このボタンを使用すれば、測定するモデル上の特定のポイントを選択できるようになります。**注記**：最大で 3 つの測定を行えます。このボタンは修復画像取得を行うときに使用できます。



ロックボタン：このボタンを使用すれば、追加のスキャンによって更新されないようにするためにモデル上の領域を選択してロックできるようになります。例えば、この機能を使用してスキャン直後に取り消した歯肉をロックすることができます。そうしないと、スキャン領域が崩壊しておそらく品質が低下するかもしれませんからです。**注記**：最大で 1 回で 6 領域までロックできます。このボタンは修復画像取得を行うときに使用できます。



最後にロックされた領域のロック解除ボタン：選択した最後の領域をロック解除します。このボタンは修復画像取得を行うときに使用できます。



すべてをロック解除ボタン：選択したすべての領域をロック解除します。このボタンは修復画像取得を行うときに使用できます。



咬合圧ボタン：上顎および下顎歯間の計算された咬合度を示すモデル上のカラー範囲を表示します。



四分円スナップショットボタン：モデルの異なるビューを表示している 5 つの 2D 画像のプレビューを表示します。このボタンは歯列矯正画像を取得すると使用できます。



四分円スナップショットOKボタン：このボタンをクリックして、5 つの JPG 画像を患者の画像フォルダにエクスポートします。このボタンは歯列矯正画像を取得すると使用できます。



四分円スナップショットキャンセルボタン：このボタンをクリックして、**四分円スナップショット**。ウィンドウを閉じます。このボタンは歯列矯正画像を取得すると使用できます。



スキャンボディ領域選択ボタン：このボタンを使用すれば、複数のスキャンボディを使用している場合に発生する可能性がある画像のミスマッチを防ぐためにスキャンボディーが取り付けられる（他の領域はすべて青色でハイライト表示されます）モデル内の領域を選択できるようになります。スキャナはハイライト表示されている領域に対しては情報を追加しません。**注記**：一度にスキャンボディを 1 つだけ選択できます。このボタンはインプラント画像を取得するときに使用できます。



選択解除ボタン：スキャンボディ領域の選択を解除します。このボタンはインプレント画像を取得するときに使用できます。

Next >

次へボタン：画像取得ワークフローの次のステップに移動します。

< Back

戻るボタン：画像取得ワークフローの前のステップに移動します。

Done >

完了ボタン：画像取得を完了して、**支台歯形成チェック**ウィンドウを開きます。

設定ツールバー

設定ツールバーによって、ソフトウェアの使用、ファイルのエクスポート、基本設定、システム情報およびオンラインヘルプへのアクセスのためのヒントが表示されます。



ヒントボタン：このボタンを使用すれば、このソフトウェアの特定の機能を使用するためのヒントを表示できるようになります。ある機能を選択すると、ヒントが利用できるようになります。ヒントは少しの間表示されて消えます。ヒントを再度表示するには、ヒントボタンをクリックします。



エクスポートボタン：画像ファイルをエクスポートしたいフォルダーにアクセスできます。後で使用するために取得画像を保存するためのエクスポート機能を使用します。



優先順位設定ボタン：**基本設定**ダイアログボックスにアクセスします。



バージョンボタン：ファームウェアおよびソフトウェアバージョンなどのシステム情報およびスキャナのシリアル番号にアクセスします。



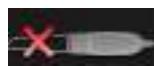
ヘルプボタン：オンラインヘルプにアクセスします。

スキャナステータス アイコン

これらのアイコンにはスキャナの現在のステータスが表示されます。



非アクティブ アイコン：スキャナがホルダー内にあるか、または5秒間のアイドル状態後のスリープモードにあることを示します。



チップなし アイコン：スキャナにチップがないことを示します。



過熱 アイコン：スキャナが過熱していることを示します。このアイコンが表示される場合、5~10分間、スキャナをホルダーに收めます。スキャナは非アクティブになります。冷却されます。



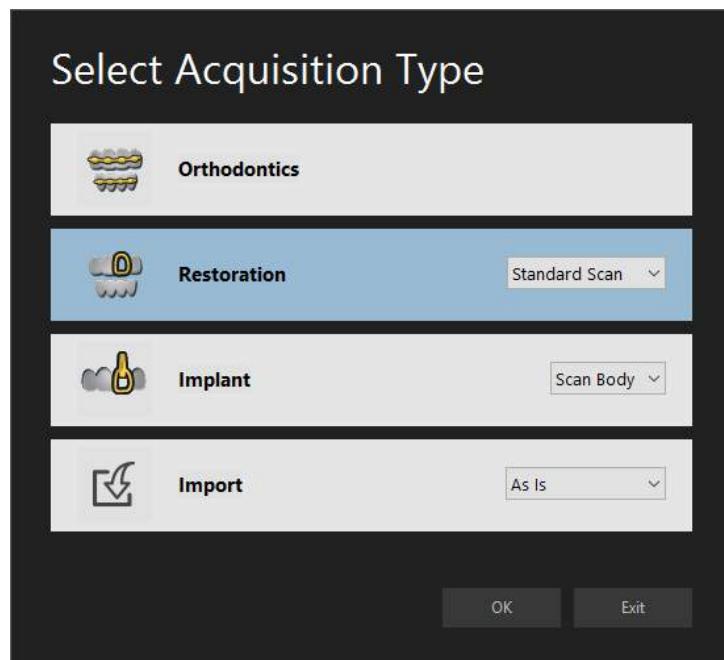
未接続 アイコン：スキャナが接続されていないことを示します。



接続 アイコン：クリックしてスキャナを **画像取得**ソフトウェアに接続します。

注記：接続アイコンは **非接続**アイコン上にカーソルを置くと表示されます。

画像取得タイプの選択のウィンドウ



歯列矯正 ボタン: OK を選択してクリックし、歯列矯正の画像取得を行います。



修復ボタン: OK を選択してクリックし、修復の画像取得を行います。
ドロップダウンボタンをクリックして、標準スキャン または プリアンドポートスキャンワークフローを選択します。



インプラントボタン: 選択して OK をクリックしてインプラントの画像取得を行います。



インポートボタン: OK を選択してクリックし、画像ファイルのインポート先のフォルダにアクセスします。現状通りインポートオプションを使用して、以前に保存した画像取得にアクセスします。ドロップダウンボタンをクリックして、歯列矯正として、修復として、またはインプラントとしてを選択して、選択した画像取得タイプとして以前に保存した画像取得タイプをインポートします。たとえば、歯列矯正としてを選択することで、修復スキャンをインポートして、その画像を歯列矯正ワークフローで使用できます。



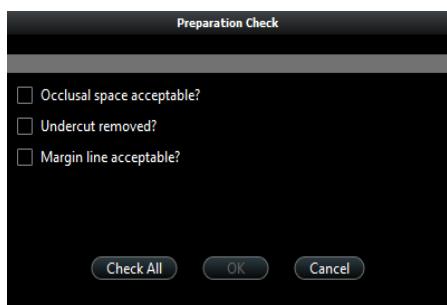
注記: 選択する画像取得タイプまたはフォルダパスは次回に画像取得インターフェイスを開いたときにデフォルトで選択されます。

支台歯形成チェック



注記：選択する画像取得タイプまたはフォルダパスは次回に画像取得インターフェイスを開いたときにデフォルトで選択されます。

モデルのリファイン後に支台歯形成チェック ウィンドウが表示され、きわめて重要な修復物データを確認してからプロセスを続行できます。



修復支台歯形成チェック：バイト印象および支台歯形成のデザインを確認するために、修復 3D モデルでチェックが必要な項目リスト。

次のステップに移行する前に 3D モデルの適切な領域を検査して対応するオプションをリストから選択する必要があります。

以下を確認します：

- ・咬合スペース
- ・アンダーカット
- ・マージンライン

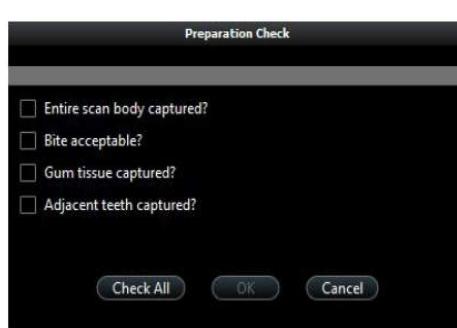


歯列矯正支台歯形成チェック：イメージングソフトウェアに送信する前に、モデルの精度を確認するために、歯列矯正 3D モデルでチェックが必要な項目リスト。

次のステップに移行する前に 3D モデルの適切な領域を検査して対応するオプションをリストから選択する必要があります。

以下を確認します：

- ・画像に穴がない
- ・ギザギザした境界が取り除かれている
- ・不規則な軟組織が取り除かれている



インプラント形成チェック：イメージングソフトウェアに送信する前に、モデルの精度を確認するために、インプラント 3D モデルをチェックする必要がある項目リスト。

次のステップに移行する前に 3D モデルの適切な領域を検査して対応するオプションをリストから選択する必要があります。

以下を確認します：

- ・スキャンボディ全体が表示される
- ・バイト
- ・歯茎組織が正しくキャプチャされる
- ・隣接歯がキャプチャされる

歯列弓表示

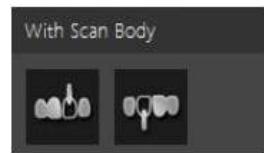
モデルのリファイン後に歯列弓表示セクションが表示され、上顎と下顎を表示 / 非表示にできるようになります。



上：上顎ボタンをクリックすると、上顎が表示 / 非表示にされます。
下：下顎ボタンをクリックすると、下顎が表示 / 非表示にされます。



スキャンボディなし：スキャンボディなしボタンをクリックすると、スキャンボディなしに顎が表示されます。



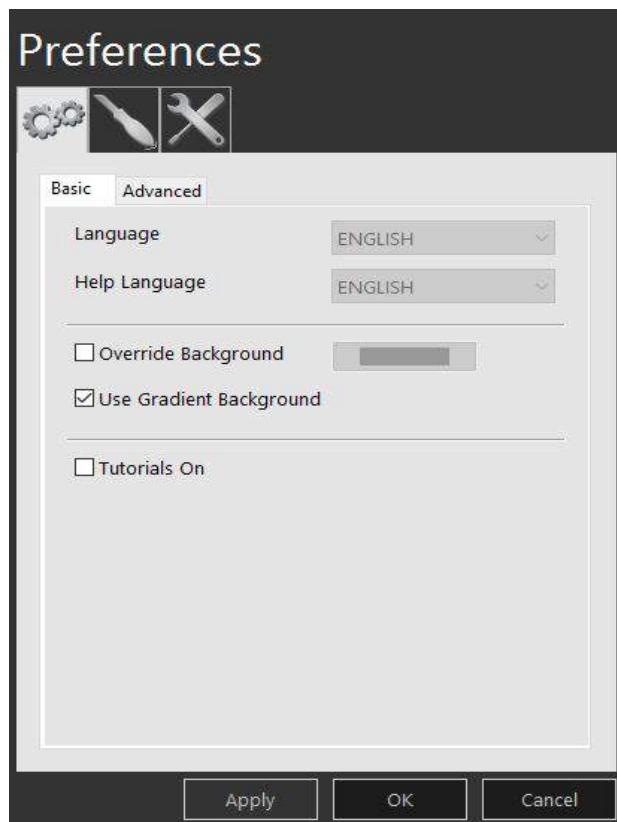
スキャンボディあり：スキャンボディありボタンをクリックすると、スキャンボディありで顎が表示されます。

基本設定ダイアログボックスの概要

基本設定ダイアログボックスで、画像取得インターフェイス設定を選択できます。スキャナをご使用になる前に、基本設定をセットアップすることを推奨します。

基本全般設定

図 7 基本全般設定



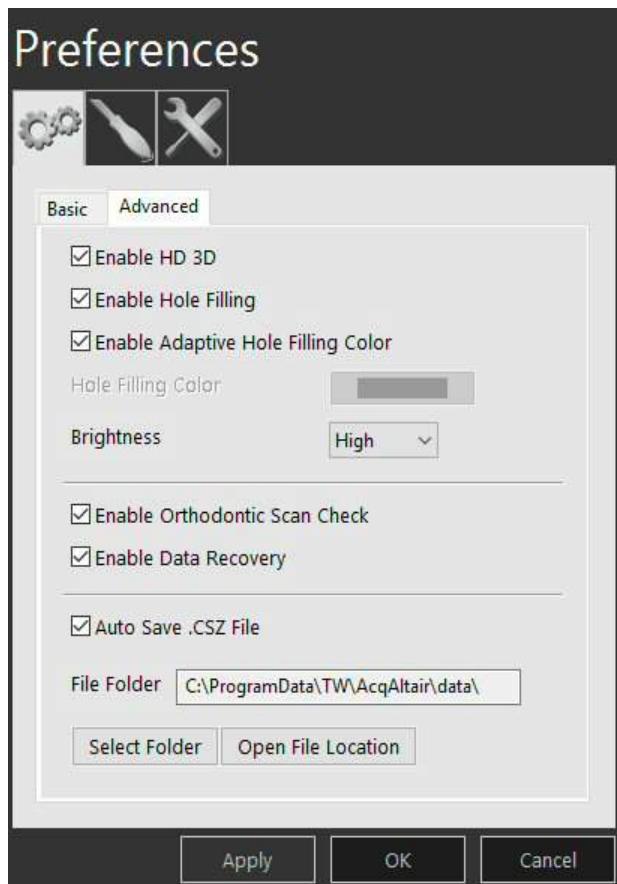
基本全般設定タブを使用すれば、以下のオプションを選択できるようになります：

- **言語**：メニュー言語を選択します。
- **ヘルプ言語**：オンラインヘルプシステムの言語を選択します。

- **バックグラウンドのオーバライド**：好みのバックグラウンドカラーを選択します。
- **グラデーション背景の使用**：カラーグラジエントを選択してバックグラウンドに含めます。
- **チュートリアルがオン**：このオプションを選択して、画像取得ソフトウェアを再起動し、インターフェイスおよびスキャン技術の簡単なチュートリアルを表示します。

詳細全般設定

図 8 詳細全般設定



詳細全般設定タブで以下のオプションを選択できます :

- **HD 3D を有効化** : HD 3D を有効化を選択します。注記 : 高解像度オプションを非選択にすると、リファイン時間を短縮できます。
- **穴塗りつぶしの有効化** : ソフトウェアがリファイン後にモデルで穴を塗りつぶすことができるよう選択します。
- **穴塗りつぶしカラー適応の有効化** : ソフトウェアが隣接している色を使用して穴を塗りつぶすことができるよう選択します。注記 : このオプションが利用できるのは、**HD 3D の有効化**と**穴塗りつぶしの有効化**が選択されている場合のみです。
- **穴塗りつぶしカラー** : リファイン後塗りつぶす穴をハイライトするのに使用するカラーを選択します。
- **ライトネス** : モデルのライトネスレベルを選択します。注記 : このオプションが利用できるのは、**HD 3D の有効化**が選択されている場合のみです。

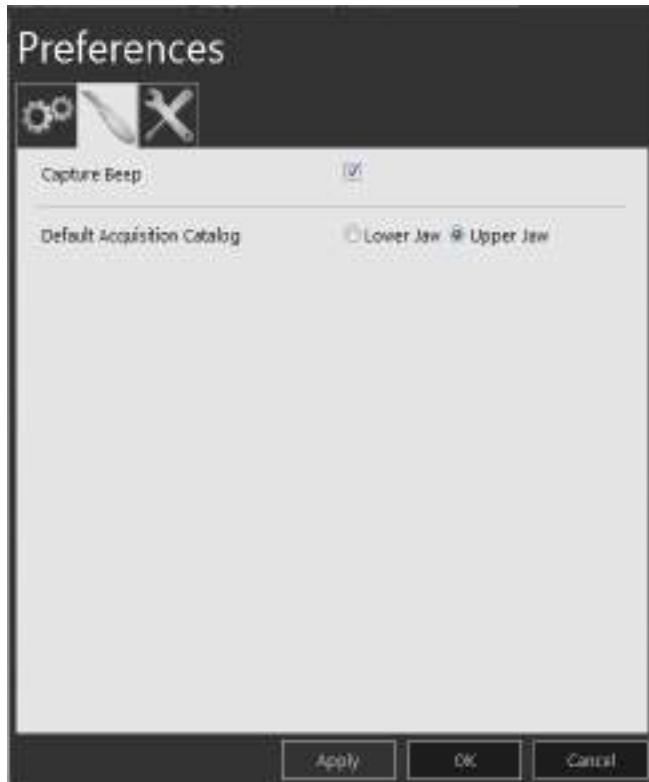
- **歯列矯正スキャンチェックの有効化**：選択して歯列矯正スキャンチェックを有効化します。これにより、画像のリファイン前に全ての歯面と必須の軟組織が画像取得済みであることを確認できるようになります。必要に応じて、チェックステップに進む前に情報が欠落している領域を再スキャンできます。**注記**：この優先順位を選択できるのは歯列矯正画像取得モードのみです。
- **インプラント微調整チェックの有効化**：これを選択してインプラント微調整チェックを有効化します。こうすると、インプラント領域をカットする前に画像の微調整をチェックできるようになります。**注記**：この優先順位を選択できるのはインプラント画像取得モードでのみです。
- **データリカバリの有効化**：このオプションを選択して、予期せぬシャットダウンの場合に、以前のデータを復元するかどうかを尋ねて、ソフトウェアがメッセージを表示できるようにします。はいを選択すると、最後にスキャンした画像が表示されます。
- **.CSZ ファイルの自動保存**：指定フォルダ内でのスキャン用に未加工データのコピーの保存を選択します。

次のオプションを使用します。

- **フォルダの選択**：クリックして .CSZ ファイルを保存するフォルダに移動します。
- **ファイルの場所を開く**：クリックして .CSZ ファイルがあるフォルダを開きます。

スキャナ設定

図 9 スキャナ設定

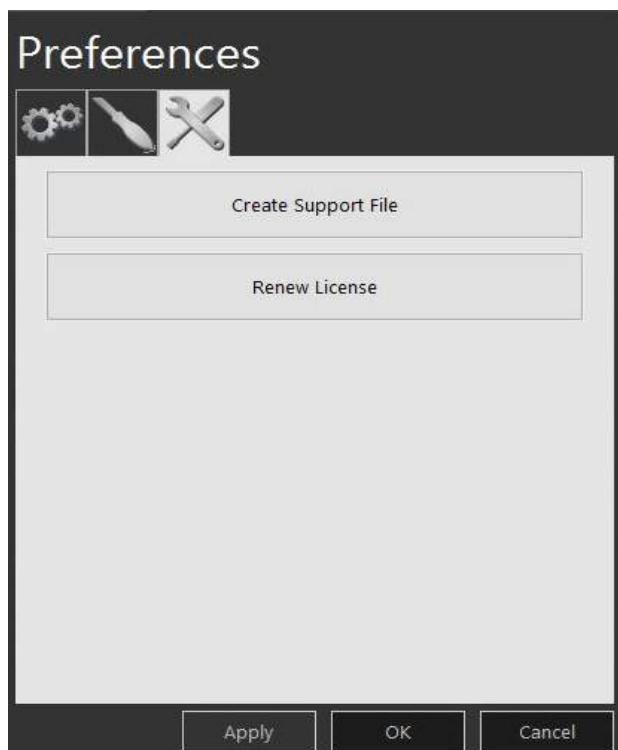


スキャナ設定 ウィンドウで以下のオプションを選択できます：

- **キャプチャビープ音**：選択すると、スキャンを開始および停止するたびにビープ音が有効になります。1回のビープ音はスキャンが進行中であることを示し、2回のビープ音はスキャンが停止して、再度スキャンを開始するために以前にスキャンした領域を再スキャンする必要があることを示します。1回のビープ音は、頬側バイト画像のキャプチャに成功したことも示します。
- **デフォルトの画像取得カタログ**：常に最初にスキャンする顎を選択します。

ツール設定

図 10 ツール設定



ツール設定 ウィンドウで以下のオプションを選択できます。

- **サポートファイルの作成**：クリックすると、サービス情報のログファイルを保存するフォルダを選択できます。
- **ライセンスの更新**：クリックしてソフトウェアライセンスを更新します。ライセンス証内の指示を参照してください。

4 スキヤナをセットアップする

スキヤナをセットアップする

スキヤナをセットアップするには、次のステップを行います。

- 1 イメージングソフトウェアをコンピュータにインストールします。Trophy Imaging ソフトウェア、Trophy 歯列矯正イメージングソフトウェア、または Trophy OMS Imaging ソフトウェアをインストールする場合は、関連するインストールガイドおよびクイックユーザーガイドを参照してください。

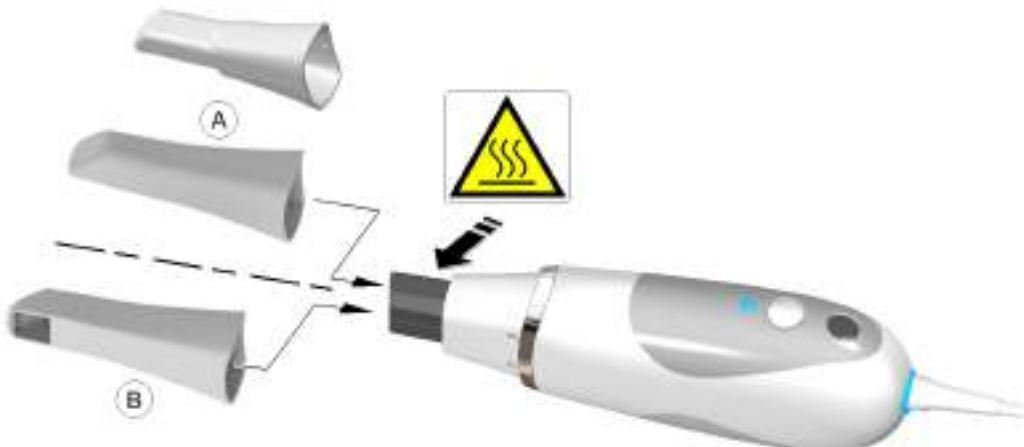


- 2 Trophy 3DI Pro インストールウィザードのフラッシュドライブを USB ドライブに挿入します。自動再生 ウィンドウが表示されます。

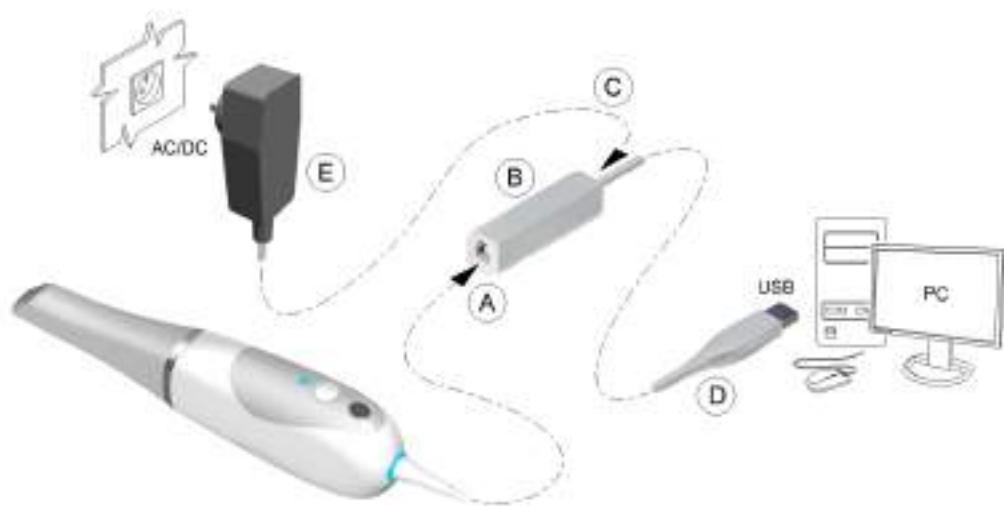


注記 : 自動再生 ウィンドウが自動的に表示されない場合は、Windows Explorer の Trophy 3DI Pro フラッシュドライブに移動し、**wizard.exe** をダブルクリックします。

- 3 Run **wizard.exe** を選択します。自動実行 ウィンドウが表示されます。
- 4 ドロップダウンリストから言語を選択し、インストールを実行をクリックします。インストール ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 5 画面上の説明に従ってインストールを完了します。
- 6 チップの 1 つをスキヤナーの端部にしっかりとスライドさせます。



- 7 電源ボックス (B) の端の大きいジャックにスキャナコネクタ (A) に挿入し、DC 電源 (C) を電源ボックスの小さいジャックに差し込みます。USB ケーブル (D) をコンピュータに接続し、電源アダプタ (E) をコンセントの挿入します。



- 8 電源ボタンを 1 秒押すと、スキャナの電源がオンになります。電源インジケータが橙色に変化することを確認します。



- 9 USB 接続インジケータが青色になるまで待ちます。



注記：画像取得インターフェイスが開きスキャナの画像取得準備が整うと、電源インジケータが点滅を停止し、青色に点灯します。

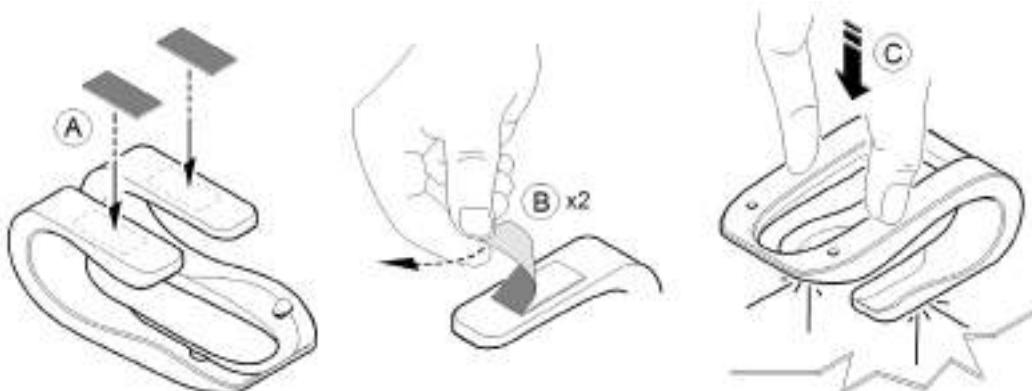
デスクトップホルダーを使用する

ホルダーはデスクトップまたは壁取り付けホルダーとして機能できます。

デスクトップホルダーの取付け

ホルダーをデスクトップホルダーとして使用するには、以下のステップに従います：

- 1 アクセスしやすい清潔な場所を選びます。
- 2 ホルダーを固定する表面をクリーニングします。
- 3 ホルダーのくぼみに粘着テープを貼ります (A)。
- 4 粘着テープの保護部を剥がします (B)。
- 5 ホルダーのテープを貼った側を清潔な表面に置き (C)、数回しっかりと押しつけて正しく粘着します。最大粘着力を得るには 2 時間かかります。



重要：最初の 2 時間はホルダーに負荷をかけないでください。



重要：粘着テープは環境やその他の要因によって粘着力がなくなる場合があります。しっかりと接着しているかどうか、定期的にチェックしてください。

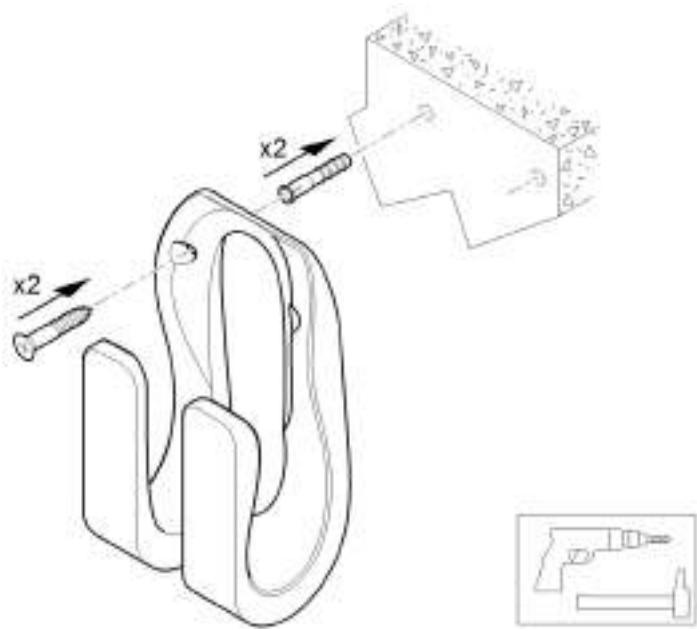


重要：ケアストリームヘルス社は粘着テープの緩みによるスキャナーの落下に関連した事故や損傷の責任を負いません。

壁取り付けホルダーを取り付ける

ホルダーを壁取り付けホルダーとして使用するには、以下のステップに従います：

- 1 アクセスしやすい場所を選びます。
- 2 ホルダーの適切な穴にネジを挿入し、頑丈な壁面に取り付けます。



重要：ホルダーが正しく取り付けられない場合、ホルダーが壁から落下し、スキャナーに損傷を与える危険性があります。

5 使いにあたって

イメージングソフトウェアの使用

Trophy Imaging ソフトウェアを使用するには、このソフトウェアに同梱される **Trophy Imaging** クイックユーザーガイドおよびオンラインヘルプを参照してください。

Trophy 歯列矯正イメージング ソフトウェアを使用するには、このソフトウェアに同梱されている **Trophy 歯列矯正イメージング** クイックユーザーガイドおよびオンラインヘルプを参照してください。

Trophy OMS Imaging ソフトウェアを使用するには、このソフトウェアに同梱されている **Trophy OMS Imaging** クイックユーザーガイドおよびオンラインヘルプを参照してください。

画像取得インターフェイスにアクセスする

画像取得インターフェイスへは、**Trophy Imaging** ソフトウェア、**Trophy 歯列矯正イメージング** ソフトウェア、**Trophy OMS Imaging** ソフトウェア内または診療管理ソフトウェア内からアクセスできます。

イメージングソフトウェアを使用して画像取得インターフェイスにアクセスする

画像取得インターフェイスに、**Trophy Imaging** ソフトウェア、**Trophy 歯列矯正イメージング** ソフトウェア、**Trophy OMS Imaging** ソフトウェアからアクセスするには、以下のステップに従います：

- 1 デスクトップで、 (ケアストリームの **Trophy Imaging** ソフトウェア、**Trophy 歯列矯正イメージング** ソフトウェア、または **Trophy OMS Imaging** ソフトウェア) をダブルクリックします。
- 2 患者記録を検索するか作成します。
- 3 患者記録をダブルクリックしてイメージングウィンドウまたはタブにアクセスします。
- 4 イメージングウィンドウまたはタブで、 をクリックして、画像取得インターフェイスを開きます。
- 5 優先順位設定を選択します。

診療管理ソフトウェアから画像取得インターフェイスにアクセスする

画像取得インターフェイスに診療管理ソフトウェア内部からアクセスするには、以下のステップに従います：

- 1 診療管理ソフトウェアを開きます。
- 2 患者記録を検索し、それを開きます。
- 3 イメージングソフトウェアを開きます。
- 4  をクリックして、画像取得インターフェイスを開きます。
- 5 優先順位設定を選択します。

基本設定をセットアップする

スキャナを使用する前に基本設定をセットアップします。基本設定をセットアップするには、以下のステップに従います：

- 1 画像取得インターフェイスで  をクリックします。**基本設定**ダイアログボックスが表示されます。
- 2  をクリックして、全般設定を行います。
- 3  をクリックしてスキャナ設定を行います。
- 4  をクリックして、ツール設定を行います。

これで 3D 画像の取得を開始することができます。

チュートリアルの表示

画像取得インターフェイスおよびスキャン技術に習熟するために、いくつかの簡単なチュートリアルをご覧いただけます。これらのチュートリアルはソフトウェアを開いた最初に表示されます。チュートリアルを表示した後で、**チュートリアルの終了**をクリックすると、チュートリアルはそれ以後表示されません。**基本全般設定**タブでチュートリアルオプションを選択するといつでもチュートリアルを再表示できます。

チュートリアルを有効にするには、以下の手順に従ってください：

- 1 画像取得インターフェイスで  をクリックします。**基本全般設定**タブが表示されます。
- 2 **チュートリアル**をクリックします。
- 3 **適用**をクリックし、**OK**をクリックし、**画像取得**インターフェイスを閉じます。
- 4 チュートリアルを表示するには、**画像取得**を再び開きます。

ツールおよびチップ

以下のツールおよびチップを使用すると、高品質の画像取得に役立ちます。

- **キャプチャビープ音**：キャプチャビープ音の機能を有効にすると、スキャナでは画像取得の開始時にビープ音が 1 回鳴り、スキャンが正しく行われなかつたために画像の取得を停止するとビープ音が 2 回鳴ります。スキャンを続けるには、スキャナでビープ音が 1 回鳴るまでその前にスキャンした領域に戻りスキャンを再開します。1 回のビープ音は、頬側バイト画像のキャプチャに成功したことも示します。

歯の支台歯形成

- 歯を十分に乾燥させてから画像取得を開始します。
- 画像取得プロセスの間は必要に応じて歯を再乾燥させます。

スキャナの位置

- 曇り止め機能を有効にするために、チップをスキャナに装着し、スキャナがウォームアップするまで約 3 分待ってから、画像取得を開始します。
- スキャナのチップを歯面に置くと、スキャナが安定します。
- スキャナを起動するには、最初の 3D 画像が表示されるまで、スキャナを保持し、歯列弓に沿って移動します。



重要なスキャン手順 – 修復画像取得

一度に 1 つの面をスキャンする

- 最初の咬合面のスキャンでは、支台歯形成領域から顎の周囲の歯をスキャンします。
- 次の舌側面のスキャンでは、支台歯形成領域から顎の周囲の歯をスキャンします。
- 頬側面のスキャンでは、支台歯形成領域から顎の周囲の歯をスキャンします。
- 最後に、頬側バイト印象の画像を取得します。

個別に各歯をスキャンする

- 一度に 1 つの歯をスキャンし、咬合/舌側/頬側、頬側/咬合/舌側、または舌側/咬合/頬側のスキャンパスの順に行います。
- 歯全体をスキャンすると、次の歯に移動し、支台歯形成領域の歯と顎の周囲の歯をすべてスキャンするまでスキャンプロセスを繰り返します。
- 最後に、頬側バイト印象の画像を取得します。



重要なスキャン手順 – 歯列矯正画像取得

一度に1つの面をスキャンする

- 咬合面を最初に、次に頬の歯をスキャンします。
- 次に、歯の舌側面と軟組織領域をスキャンします。舌のスキャンには、必ず、数ミリの歯肉組織が含まれるようにします。
- 歯、口蓋、軟組織領域の頬側面をスキャンします。頬側のスキャンには、必ず、数ミリの歯肉組織が含まれるようにします。
- 最後に、頬側バイト印象の画像を取得します。

個別に各歯をスキャンする

- 一度に1つの歯をスキャンします。咬合/舌側/頬側/頬側/咬合/舌側、または舌側/咬合/頬側のスキャンパスの順にです。口蓋と軟組織領域も含まれるようにします。舌側のスキャンと頬側のスキャンには、必ず、数ミリの歯肉組織が含まれるようにします。
- 1つの歯全体と周囲の領域をスキャンしたら、次の歯に移動し、すべての歯、口蓋、および軟組織領域のスキャンが完了するまでスキャンを繰り返します。舌側のスキャンと頬側のスキャンには、必ず、数ミリの歯肉組織が含まれるようにします。
- 最後に、頬側バイト印象の画像を取得します。



重要なスキャン手順 – インプラント画像取得

一度に1つの面をスキャンする

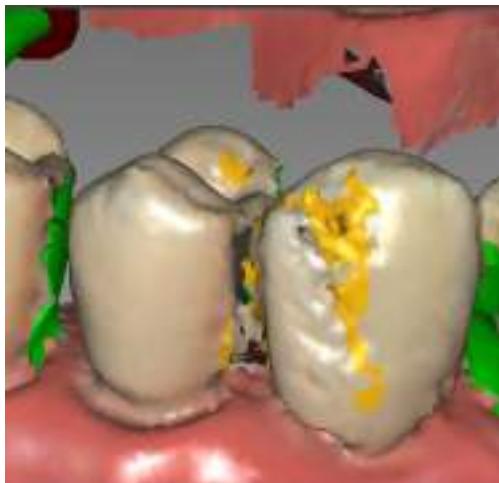
- 最初の咬合面のスキャンでは、インプラント領域から頬の周囲の歯をスキャンします。
- 次の舌側面のスキャンでは、インプラント領域から頬の周囲の歯をスキャンします。
- 頬側面のスキャンでは、インプラント領域から頬の周囲の歯をスキャンします。
- 最後に、頬側バイト印象の画像を取得します。

個別に各歯をスキャンする

- 一度に1つの歯をスキャンし、咬合/舌側/頬側/頬側/咬合/舌側、または舌側/咬合/頬側のスキャンパスの順に行います。
- 歯全体をスキャンすると、次の歯に移動し、インプラント領域の歯と頬の周囲の歯をすべてスキャンするまでスキャンプロセスを繰り返します。
- 最後に、頬側バイト印象の画像を取得します。

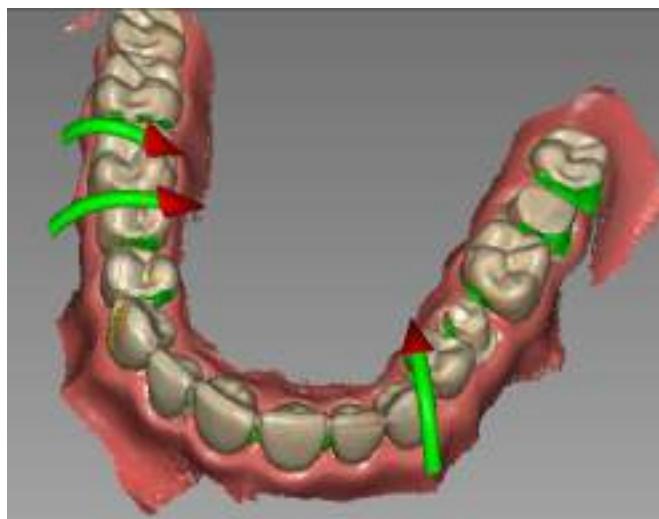
金属、クラウン、穴またはギャップをスキャンする

- 金属アマルガムとクラウンをスキャンする場合、歯を十分に乾燥させてからスキャンします。
- 光散乱を減少させるには治療室のライトを患者から離すよう調整します。
- 修復領域付近のスキャン画像に穴が表示される場合、その穴が塗りつぶされるまでその領域を再スキャンします。修復領域から離れた穴にはほとんど関係ありません。穴の表示を良くするには、 をクリックしてトゥルーカラーをオフにします。次に、カーソルを3D画像に合わせてクリックし続けると、モデルが回転します。マウスホイールを使用して3Dモデルを拡大します。
- 3Dモデル上で黄色く示されている部分は、画像接続エラーを引き起こす可能性のあるギャップを示します。



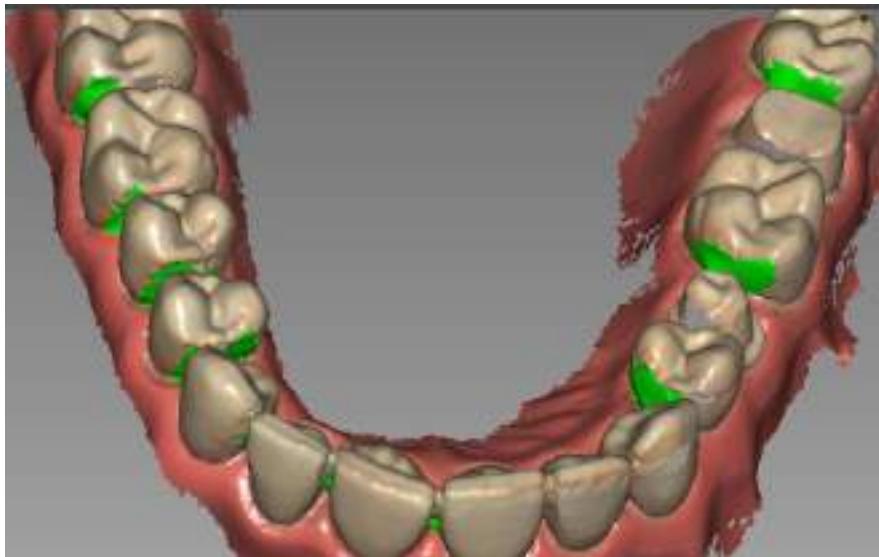
黄色が消えるまでその領域のスキャンを継続します。

- 赤色の矢印が付いた緑色の線は特に切歯上の画像のステッヂエラーの原因になる、頬側面、舌側面、および咬合面間の弱い接続を示します。



矢印が消えるまでその領域のスキャンを継続します。矢印は欠落しているデータをキャプチャするために使用する必要があるスキャンパスを示します。

- 画像取得中に高解像度モードの使用をしていない場合、3D モデルの緑色が画像の既存の穴をハイライトします。



緑色が消えるまでハイライトされた領域を再スキャンします。

軟組織のアーチファクト、不要ビュー、およびミスマッチを取り除く

- 画像取得中に画像内に軟組織アーチファクトを検出した場合は、 をクリックし、軟組織の周囲のいくつかの点を左クリックし、その軟組織の周囲にラインを描画します。軟組織を削除するにはダブルクリックします。その領域を再スキャンして穴の完全な画像を取得します。
- スキャン履歴チェック機能を使用しても、軟組織のアーチファクト、ミスマッチ、および不要ビューを取り除くことができ、スキャンの部分を不要なビューまたはミスマッチが発生した場所以前に戻すことができます。この後、その領域を再スキャンできます。
 をクリックします。スライダをクリックして左に移動しスキャンの部分を取り除きます。スキャンから不要なビューを取り除いたら、OK をクリックして、画像取得ウィンドウに戻ります。

スキャナを準備する

再使用可能チップがスキャナの本体に取り付けられ、患者の衛生シールドになります。常にスキャナの本体を消毒し、使用するたびにチップの洗浄と滅菌を行います。



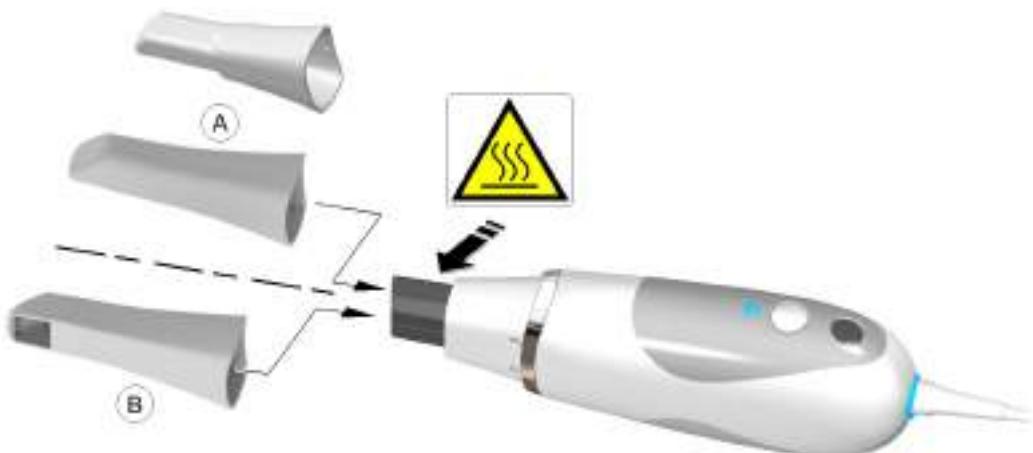
重要 : スキャナのチップは製造元からの納品時点では未消毒です。最初に使用する前にチップを消毒する必要があります。



重要 : 取り外し可能なスキャナのチップは最大 20 回オートクレーブできます。20 回使用したら、チップを廃棄します。134°C への曝露時間を 4 分以下に制限すると、最大 60 回までオートクレーブできます。詳細は Trophy 3DI Pro の安全、規制、および技術仕様ユーザーガイド を参照してください。

スキャナを準備するには、次の手順を行います。

- 1 湿らせた糸くずの出ない布またはレンズ用ティッシュでスキャナのベースにあるレンズウインドウを拭いて、清浄になったことを確認します。
- 2 図示するようにレンズを下向き (A) または、横向き、左向き (B) にして、スキャナ上にチップをスライドして装着します。

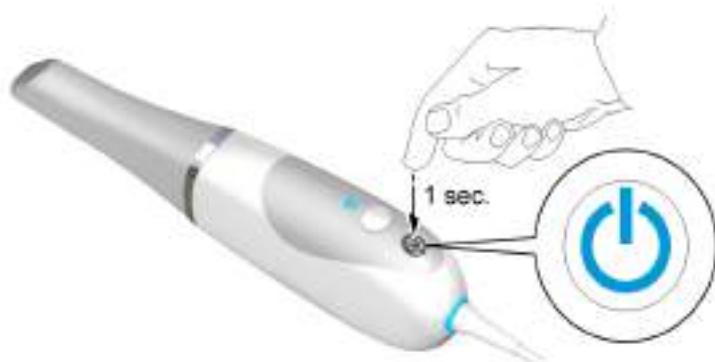


警告 : スキャナの電源がオンになると、スキャナのベースが加熱されます。スキャナのベースにある熱くなっている素子に触れないでください。



重要 : 届きにくい領域や四分円領域スキャン専用には後ろ向きチップを使用してください。全歯列弓をスキャンする際は、ノーマルチップまたは横向きチップをご使用ください。

3 電源ボタンを1秒間押すと、スキャナの電源がオンになります。



4 スキャナがウォームアップするまで約3分待つと、チップの曇り止め機能が有効になります。

6 修復用に 3D モデルの画像を取得する

標準スキャン修復ワークフローを使用して部分歯列弓または全歯列弓をスキャンできます。いずれかのスキャンタイプで、上顎、下顎、および頬側バイト印象の画像を取得してください。ソフトウェアはこれらの画像を組み合わせて 3D モデルを作成します。

3D モデルを取得するには、以下の手順に従います。

- 上顎および下顎をスキャンします。
- 頬側バイト印象をスキャンします。
- 画像をリファインします。
- 支台歯形成チェックを完了し、画像をエクスポートします。



注記 : いくつかの場合、1 つの歯列弓（部分または全）の画像を取得できても、頬側バイト印象を取得できません（例、対合歯列弓に歯がない場合）。しかし、可能であれば、歯列弓と頬側バイト印象の両方の画像を取得することをお勧めします。

別の修復物スキャンワークフロー - プリおよびポストスキャン - も使用できます。プリおよびポストスキャンワークフローで歯の新しいスキャンを行い、歯の支台歯形成および別の支台歯形成のスキャンができます。プリおよびポストワークフローによって先に取得したスキャンを支台歯形成領域の新規スキャンと組み合わせることができます。プリおよびポストスキャンワークフローを使用する場合、出力 DCM ファイルには 4 つのメッシュファイル - 2 つのファイルには無支台形成歯、2 つのファイルには支台形成歯 - が含まれます。修復物を設計する場合は、基準として無支台形成歯のファイルを貴院またはラボで使用できます。詳細は、ページ 50 の「**プリおよびポストスキャンワークフローを使用して修復用の 3D モデルの画像取得を行う**」を参照してください。

標準のスキャンワークフローを使用して修復用の 3D モデルの画像取得を行う

上顎および下顎の歯をスキャンする

自動画像取得を使用して画像を取得するには、以下のステップに従います：

1 歯を十分に乾燥させてから画像取得を開始します。

2 画像取得インターフェイスにアクセスするには、イメージングソフトウェアの  をクリックします。

3 画像取得タイプの選択ウィンドウの  ボタンでドロップダウンボタンをクリックして

Standard Scan ▾ を選択し、OK をクリックします。

- 4 画像取得インターフェイスで、上顎画像取得モードを選択します。



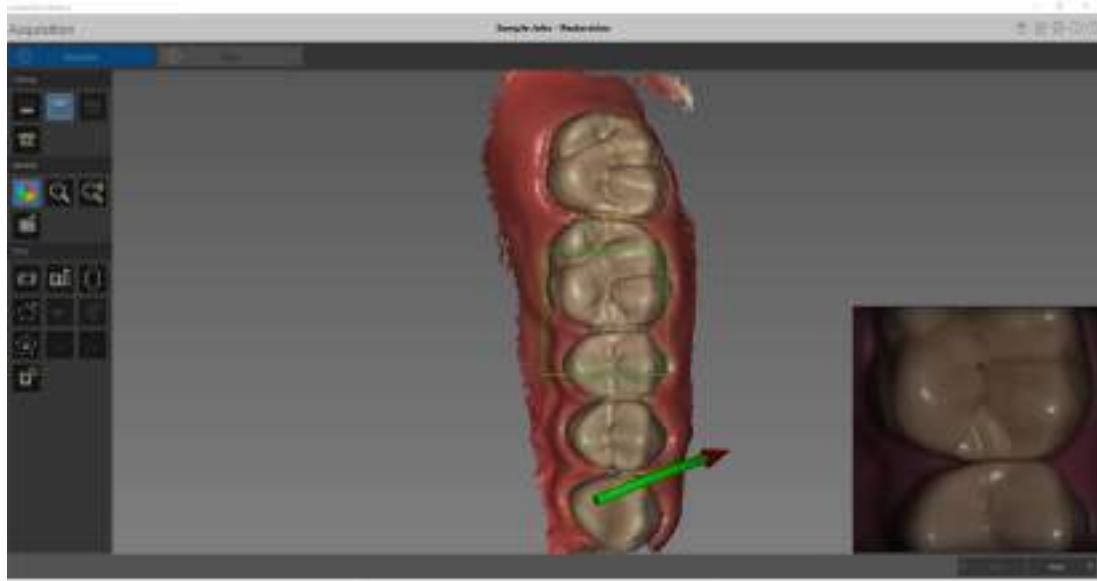
または

スキャナで、モードボタンを 1 秒間押して画像取得モードを選択します。モードインジケータ LED が緑色に点灯します。



- 5 齒の咬合面に対して 90 度の角度でスキャナを保持します。チップを歯面に置くと、スキャナが安定します。ライブのビデオ画像が ビデオプレビュー画面に表示され、画像取得が開始されます。画像が自動的に取得され、3D モデル表示画面に転送されます。

下の画像は、上顎のいくつかの画像取得を示しています。



重要 : 赤い矢印が付いた緑の線は特に切歯上の画像のステッヂエラーの原因になる、頬側面、舌側面、および咬合面間の弱い接続を示します。
矢印が消えるまで領域をスキャンします。

- 6 咬合面に沿ってスキャナチップをゆっくりと動かし、支台歯形成領域にある残りの歯をスキャンします。
- 7 咬合面のスキャンが完了すると、支台歯形成領域の歯の舌側面をスキャンします。
- 8 舌側面のスキャンが完了すると、支台歯形成領域の頬側面をスキャンします。



重要：画像取得プロセスの間は必要に応じて歯を再乾燥させます。

下例は、咬合面、舌側面および頬側面のスキャンが完了した場合の上顎の 3D モデルを表示しています。



重要：支台歯形成領域のスキャン画像に穴が表示される場合、その穴が塗りつぶされるまでその領域を再スキャンします。マウスホイールを使用して詳細表示のために支台歯形成領域を拡大します。

必要な場合、スキャン領域の一部を調べて追加のスキャンで更新されるのを避けます。例：この機能を使用して、スキャン領域が壊れ品質低化があるのでスキャン後直ちに退縮歯肉をロックできます。



-  をクリックして領域のまわりのいくつかのポイントでマウスをクリックします。

- マウスをダブルクリックします。選択した領域が 青色に変り、スキャンされる場合、スキヤナは情報をロックされた（青色）領域に追加しません。



- これらのステップを繰り返して追加の領域（最大 6 まで）をロックできます。

-  をクリックして最後に選択した領域をアンロックします。
-  をクリックして選択したすべての領域をアンロックします。

- 上顎をスキャンが完了すると、下顎のスキャンを開始できます。 をクリックし、下顎の修復領域の歯がスキャンされるまでステップ 5 ~ 8 を繰り返します。

下例は、咬合面、舌側面、頬側面のスキャンが完了した場合の下顎の 3D モデルを示しています。



10 穴に関して 3D モデルを目視点検します。修復領域付近に穴がある場合、その穴が塗りつぶされるまでその領域を再スキャンします。

画像取得中に高解像度モードの使用をしていない場合、3D モデルの緑色が画像の既存の穴をハイライトします。



緑色が消えるまでハイライトされた領域を再スキャンします。

11 3D モデルで満足な結果が得られた場合、頬側バイト印象の画像取得を続行します。



重要：上顎および下顎の両方から歯の画像を取得する場合、頬側バイト印象の画像も取得する必要があります。

頬側バイト印象をスキャンする

自動画像取得を使用して頬側バイト印象の画像を取得するには、以下のステップに従います：



1 をクリックします。

2 患者にバイトさせます。

3 支台歯形成領域の頬側面に対して 90 度の角度でスキャナを配置し、上下の歯がビデオプレビュー画面の中央に揃うような位置に整列します。チップを歯面に置くと、スキャナの安定に役立ちます。

4 スキャナをわずかに上下に移動してバイト印象の画像取得を開始します。スキャナ設定ウィンドウでキャプチャー音オプションを有効にした場合、シングル ビープはキャプチャが成功したことを示しています。

下例は頬側バイト印象を示しています。



ドット がウィンドウ下部に表示され、キャプチャに成功したことを示します。成功したバイト画像には、上歯列弓および下歯列弓の両方が含まれます。



ヒント：顎の頬側画像を取得した後、必ずスキャナと共に対合歯列弓の方へ移動します。

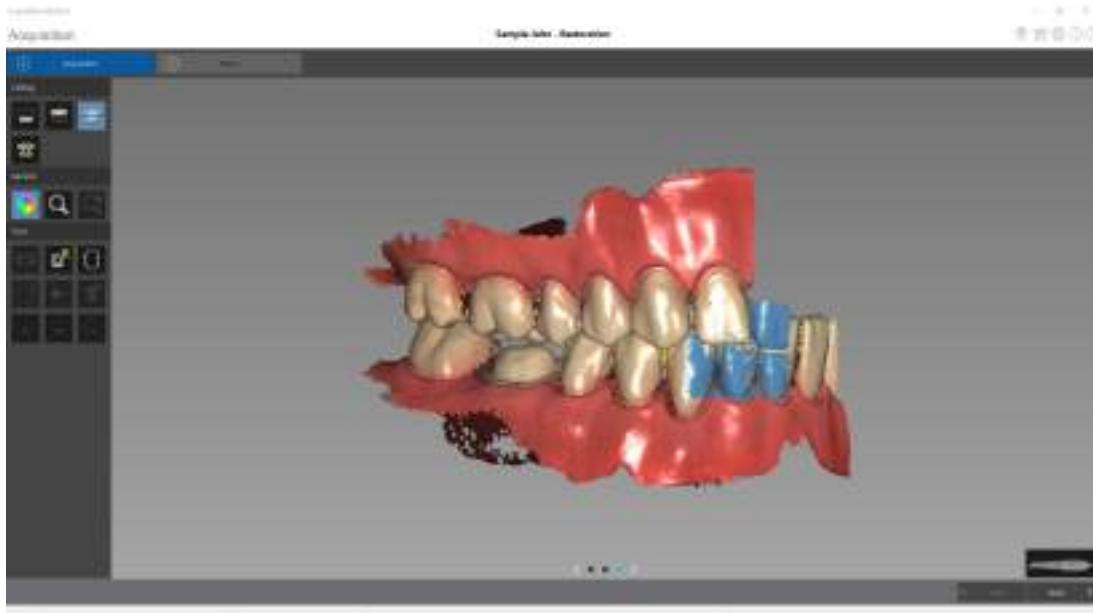
画像取得 インターフェイスに両方の歯列弓が表示されると、バイト画像は成功であり、追加のバイト画像を取得でき、バイトの精度を上げられます。



重要：部分歯列弓の場合は少なくとも次の 3 枚の頬側バイト画像を取得。1 枚は支台歯形成の上、1 枚は支台歯形成に近心、1 枚は支台歯形成に遠位。全歯列弓の場合は少なくとも次の 4 枚の頬側バイト画像を取得してください。臼歯で口の各側に 1 枚、犬歯で口の各側に 1 枚。

- 5 支台歯形成領域の片側のいずれか、最低 2 枚以上の頬側バイト画像を取得します。全歯列弓では、最大 6 枚のバイト画像を取得できます。
- 6 バイトを印象すると、モデルを回転してビューをズームし、バイトが正確でバイトのミスマッチ領域がないことを確認します。ドットをクリックすると、画像取得したバイトが表示されます。

下例は、いくつかの頬側バイト印象を示します。



- 7  をクリックします。歯列弓ダイアグラムが表示されます。



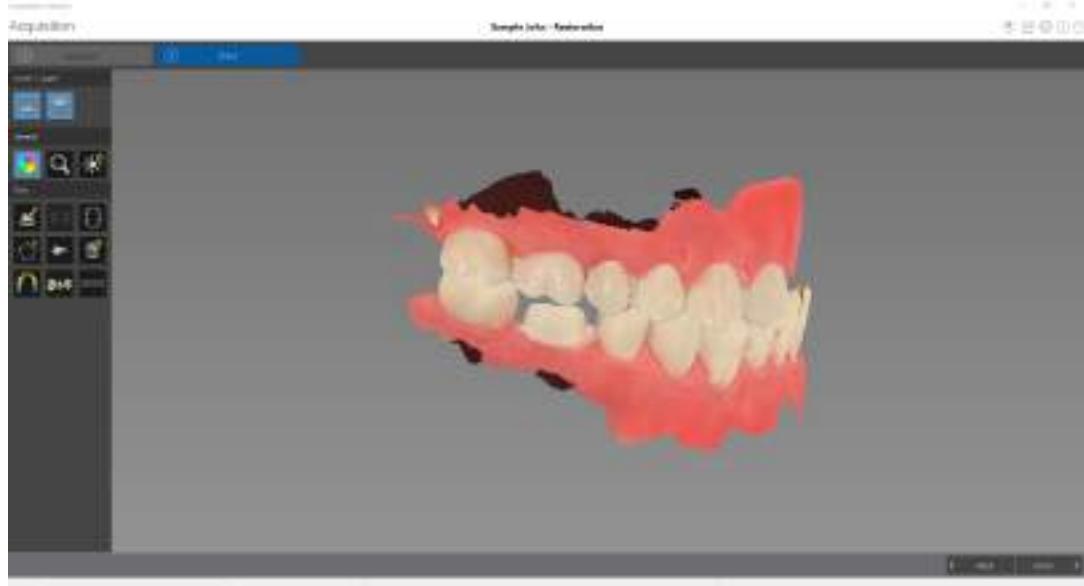
- 8 成人または小児アイコンをクリックして適切な歯列弓を表示します。
- 9 3D モデル用に画像取得した歯列弓の歯（上顎と下顎の歯を含む）を選択します。
- 10 スキャン領域の歯の選択を終えたら、チェックステップに進みます。

チェック

チェックステップで、3D 画像をさらに処理し、精度を最高にできます。いくつかのツールを使用して 3D モデルを調べアンダーカット、咬合、および歯のポイント間の距離を確認します。

3D モデルをリファインし、さらに調べるには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックして画像をリファインします。



- 2 以下の方法で、リファインされた 3D モデルを操作します：

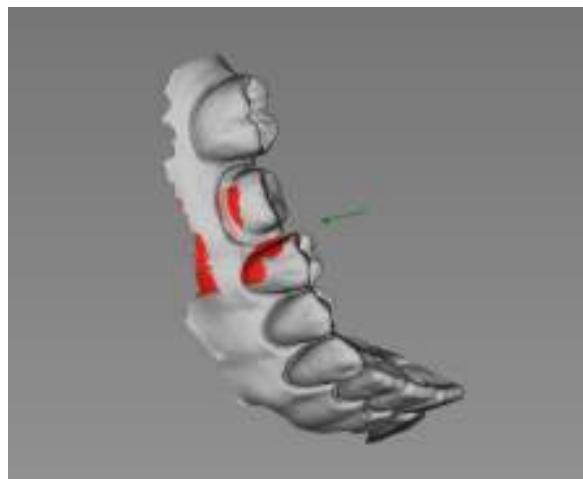
- 3D モデルをウィンドウに移動するには、右クリックし続けます。
- 3D モデルをクリックし続けると、回転します。
- マウスにスクロールホイールがある場合、ホイールを使用して 3D モデルを拡大または縮小します。
-  をクリックして環境光をオンにします。



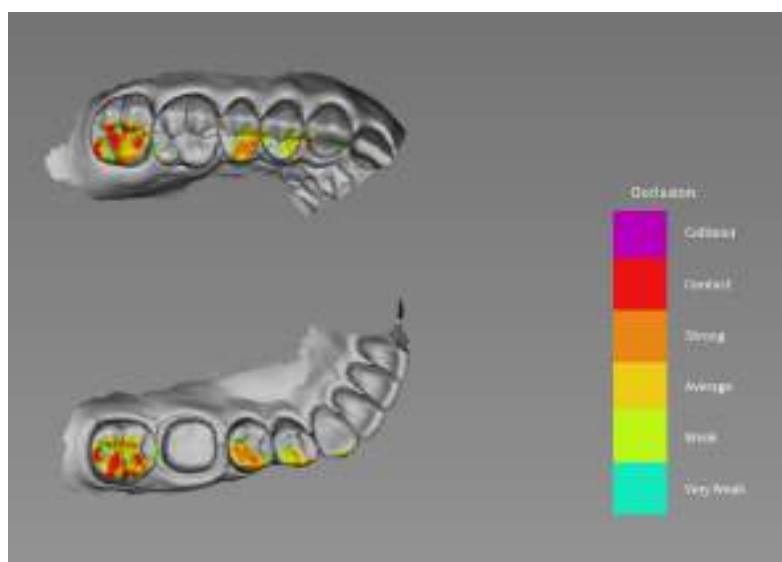
ヒント：光がオンの場合、影が表示され、3D 効果が強化され、メッシュが見やすくなります。光がオフの場合、影は表示されず、メッシュはより明るくなり、カラーと細部が見やすくなります。

-  をクリックして、モデルを最適なビューに拡大縮小します。
-  または  をクリックして上顎または下顎を非表示にします。再びボタンをクリックすると、顎のビューが復元されます。
-  をクリックして、画像の過剰軟組織を選択して削除します。

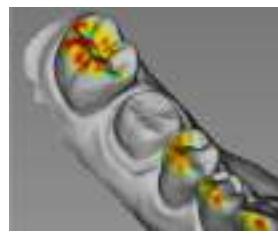
- メッシュを回転して挿入軸を調整し、 をクリックしてアンダーカットを表示します。
- マウスを左クリックおよびドラッグしてアンダーカットチェックに含まれる歯を選択します。アンダーカットが表示されます。



-  をクリックして異なる領域を選択します。
-  をクリックして挿入パスディレクションを変更した後アンダーカットを再計算します。
-  をクリックしてアンダーカットを閉じてチェックプロセスを続行します。
-  をクリックしてメッシュに色範囲として表示される咬合圧を表示します。



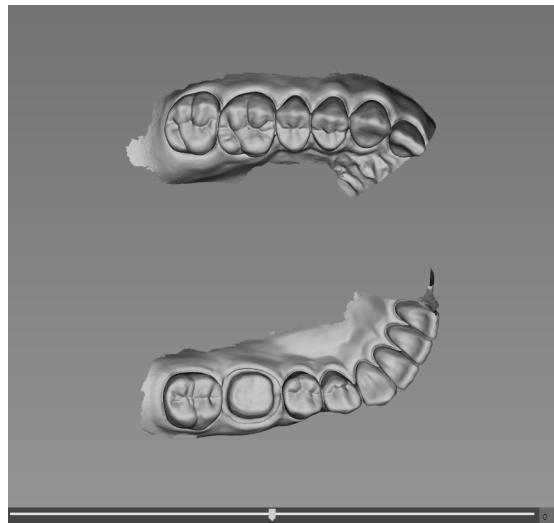
- モデル上をズームインして



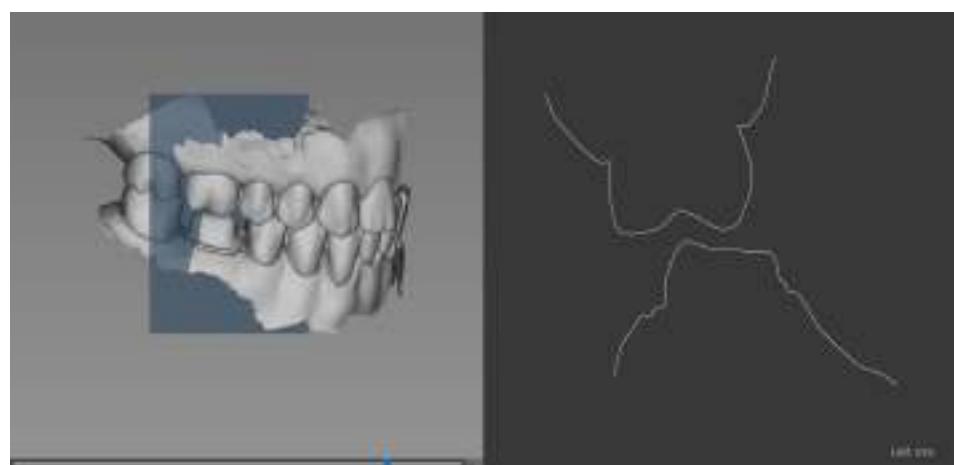
咬合がどのようにモデルで

計算されるかをはっきり表示します。

- をクリックして咬合圧ツールを閉じてチェックプロセスを続行します。
- をクリックして 3D モデル上の選択ポイント間の測定を行います。



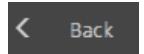
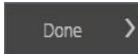
- 歯の上部をクリックして、スライダーを移動してカット面を回転します。

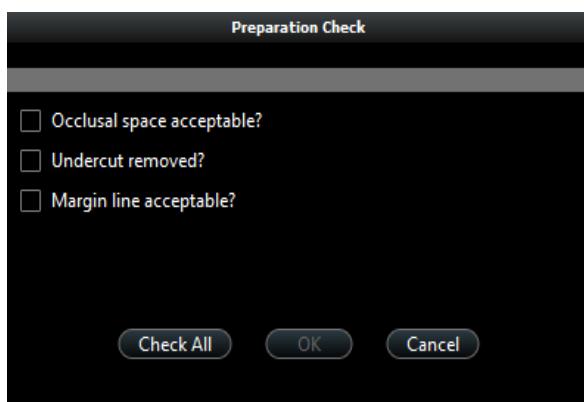


- 測定ツールセクションで  をクリックして、右パネルのレンダリング上で 2 つのポイントを選択して測定を表示します。このプロセスを繰り返して最大 3 測定を一度におこないます。



- Esc を押して測定ツールをリセットします。
-  をクリックして測定ツールを閉じてチェックプロセスを続行します。

- 支台歯形成領域に穴がある場合、 をクリックして欠損データのある歯を再スキャンします。
- 3D モデルで満足な結果が得られるまで、ステップ 1 ~ 3 を繰り返します。
- 3D モデルをデンタルラボにエクスポートする場合、3D モデルにマージンラインリファレンスを描画できます。[「マージンラインを描画する。」](#)を参照してください
-  をクリックします。支台歯形成チェックウィンドウが表示されます。



7 3D モデルの咬合スペースを調べて以下のいずれかを実行します。

- 咬合スペースが許容できる場合、**支台歯形成チェック**ウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- 咬合スペースが許容できない場合、**キャンセル**をクリックします。[Back] をクリックして影響された歯を再スキャンします。

8 3D モデルのアンダーカットを調べて以下のいずれかを実行します。

- アンダーカットが許容できる場合、**支台歯形成チェック**ウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- アンダーカットが許容できない場合、**キャンセル**をクリックします。[Back] をクリックします。支台歯形成の必要な調整を行い、支台歯形成領域および周囲の歯を再スキャンします。

9 3D モデルのマージンラインを調べて以下のいずれかを実行します。

- マージンラインが受け入れできる場合、**支台歯形成チェック**ウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- マージンラインが許容できない場合、**キャンセル**をクリックします。[Back] をクリックして影響された歯を再スキャンします。

10 3D モデルに満足したら、[OK] をクリックし、3D モデルをイメージングソフトウェアに送信します。



重要 : 3D モデルを表示するには、デスクトップにインストールされている Trophy Mesh Viewer を使用します。メッシュビューアの使用法については、Trophy Mesh Viewer インターフェイスの ? ボタンをクリックしてください。DCM ファイルをラボに送信している場合、ラボに以下のリンクから Trophy Mesh Viewer をダウンロードするように求めます：
<http://sas-origin.onstreammedia.com/origin/carestreamhealthinc/CSMeshViewer/CSMeshViewer.zip>

マージンラインを描画する

3D モデルをデンタルラボにエクスポートする場合、ソフトウェアが 3D モデルにマージンラインリファレンスを自動的に描画するようにもできますし、手動でマージンラインを描画することもできます。



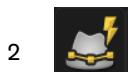
重要 : 自動マージンライン機能はクラウンについてのみ使用できます。
インレーまたはアンレーが含まれる場合は手動でマージンラインを描画する必要があります。

自動的にマージンラインを描画する

自動的にマージンラインを描画するには、以下のステップに従います :

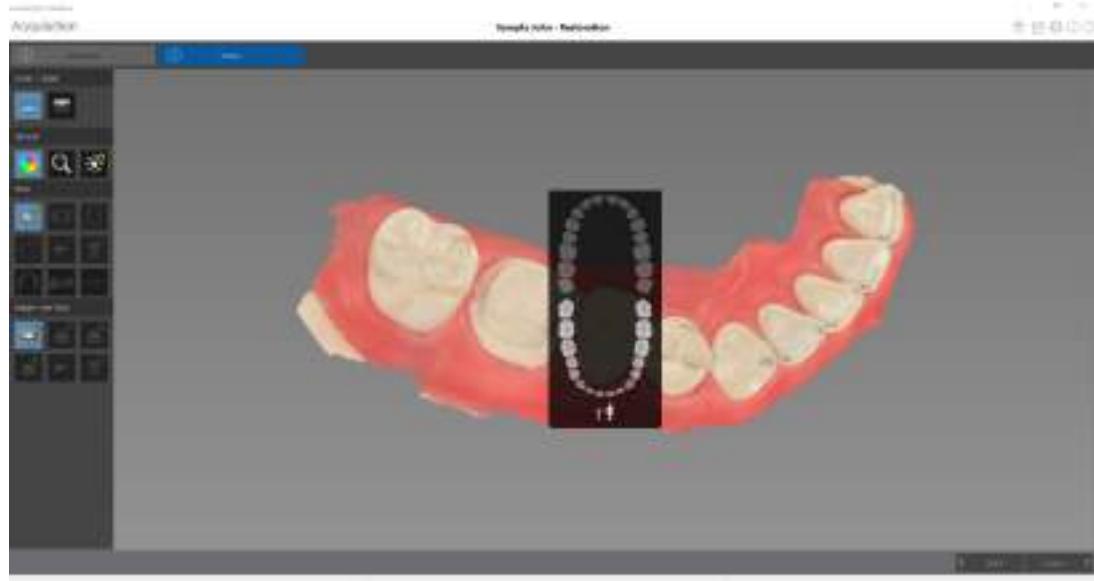


1 をクリックします。マージンラインツールがツールバーに表示されます。



2 をクリックします。

3 支台歯形成領域をクリックします。歯式番号選択歯列弓ダイアグラムが表示されます。



4 歯式番号選択歯列弓ダイアグラムの対応する歯を選択します。



5 3D モデルのマージンラインを調べて以下のいずれかを実行します。

- マージンラインを編集するには、マージンラインをクリックして選択します。をクリックします。変更したいマージンラインのセクションを再描画し、そのセクションが既存のマージンラインと接続していることを確認します。
- マージンラインを削除するには、そのマージンラインを選択し、をクリックします。

6 画像取得インターフェイスの外側のマージンラインリファレンスを表示するには、デスクトップにインストールされている **Trophy Mesh Viewer** を使用します。

マージンラインを手動で描画する

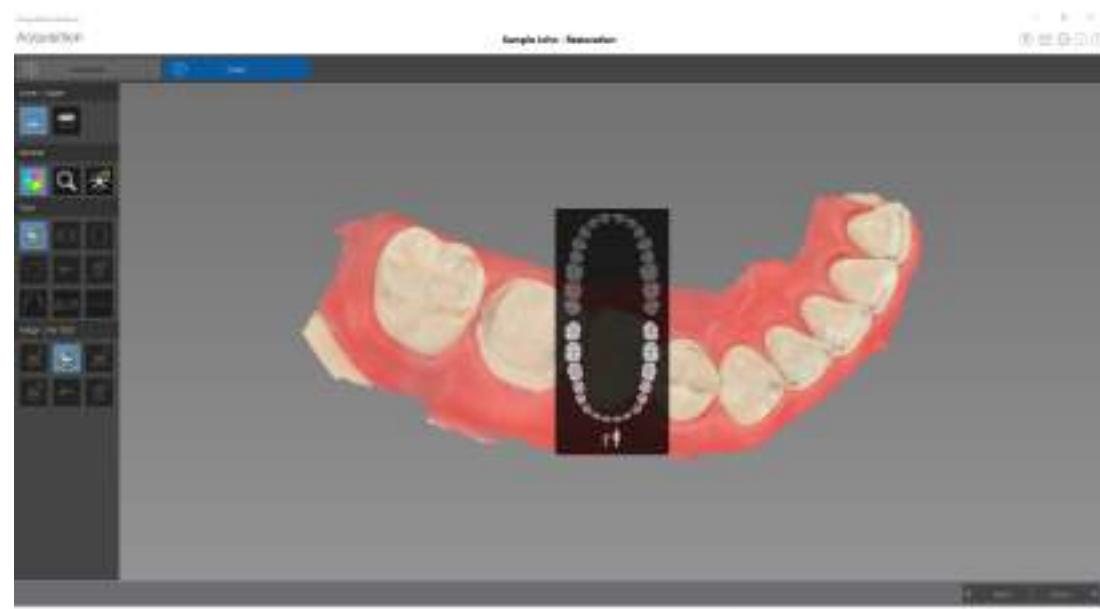
インレーまたはアンレーが含まれる場合は手動でマージンラインを描画する必要があります。

マージンラインを手動で描画するには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックします。マージンラインツールがツールバーに表示されます。



- 2  をクリックします。歯式番号選択歯列弓ダイアグラムが表示されます。



- 3 歯式番号選択歯列弓ダイアグラムの対応する歯を選択します。

4 クリックしてドラッグし、支台歯形成の周囲にマージンラインを描画します。



5 3D モデルのマージンラインを調べて以下のいずれかを実行します。

- マージンラインを編集するには、マージンラインをクリックして選択します。をクリックします。変更したいマージンラインのセクションを再描画し、そのセクションが既存のマージンラインと接続していることを確認します。
- マージンラインを削除するには、マージンラインをクリックして選択します。をクリックします。

6 画像取得インターフェイスの外側のマージンラインリファレンスを表示するには、デスクトップにインストールされている **Trophy Mesh Viewer** を使用します。

2D 画像を選択する

2D 画像を 3D モデルから選択して、3D モデルとともにデンタルラボに送信することができます。



注記：2D 画像の選択機能は画像取得ステップでのみ使用可能です。

2D 画像を選択するには、以下のステップに従います：

- 1 をクリックします。
- 2 3D モデルを操作して表示したい位置にします。
- 3 2D 画像にしたい 3D モデルの領域をクリックします。画像はビュータブに表示されます。



- 4 ビュータブの画像の右上隅のチェックマークをクリックして画像を保存ビュータブに移動します。
- 5 2D 画像の選択を完了したら、 をクリックして 画像取得インターフェイスに戻ります。

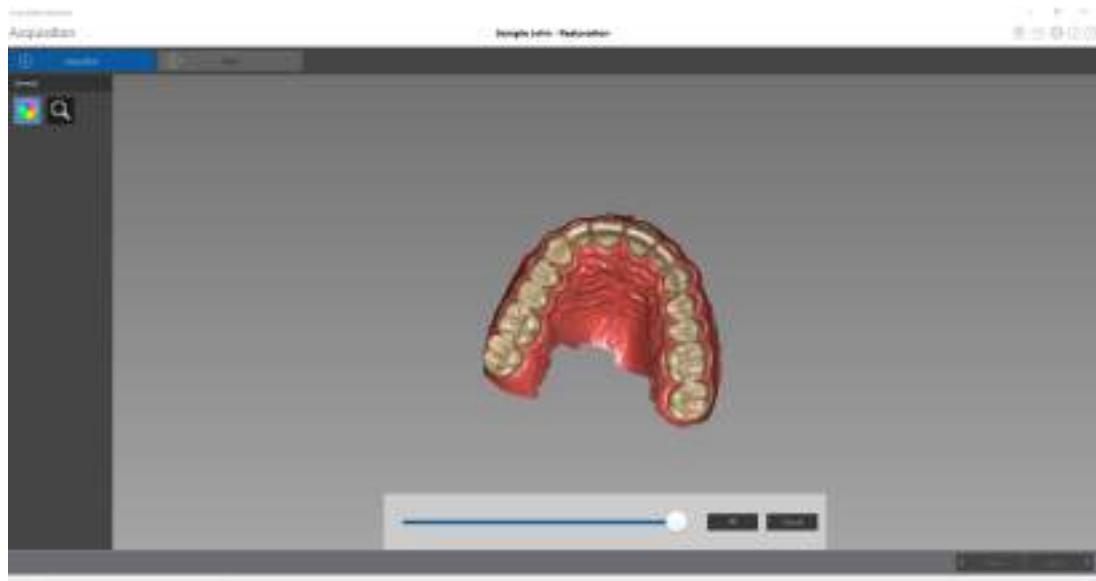
スキャン履歴チェックを使用してスキャンをレビューし不要なビューを除去する

スキャン履歴チェック機能は 3D モデルで前後に移動してスキャンをチェックすることを可能にします。ミスマッチまたは不要なビューを含むスキャン領域があり、 ツールを使用してこ

れらの領域を除去できない場合、スキャナ履歴チェック機能を使用してミスマッチが発生した前の場所にスキャン部分を戻すことができます。この後、その領域を再スキャンできます。

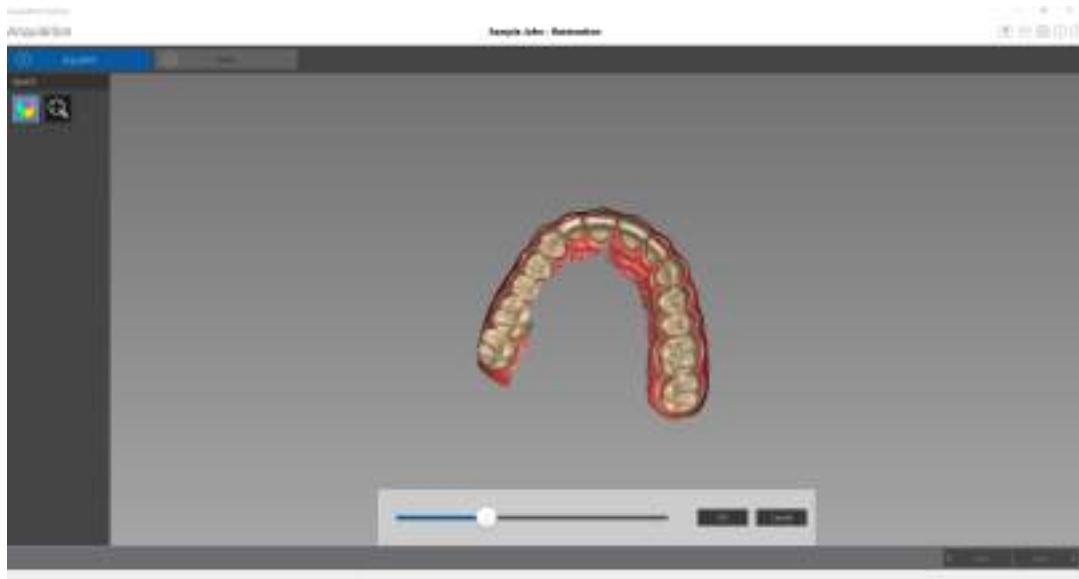
スキャン履歴チェック機能を使用するには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックします。スキャン履歴チェックビューが表示されます。



- 2 3D モデルを操作して表示したい位置にします。

- 3 スライダをクリックして左に移動しスキャンの部分を取り除きます。スライダを右に戻して移動すると、取り除く部分が変わります。



- 4 スキャンから不要なビューを取り除いたら、OK をクリックして、画像取得ウィンドウに戻ります。



注記 : スキャン履歴チェック機能を使用して取り除いたビューは元に戻せません。

- 5 何も変更しないで、画像取得ウィンドウに戻るには、キャンセルをクリックします。

プリおよびポストスキャンワークフローを使用して修復用の 3D モデルの画像取得を行う

診療でスキャナをどのように使用するかおよびワークフロー設定により、代替のスキャンワークフロー - プリ & ポストスキャンを使用できます。このワークフローには 2 つのオプションがあります：

- プリおよびポストスキャンワークフローで歯の新しいスキャンを行い、歯の支台歯形成および別の支台歯形成のスキャンができます。
- プリおよびポストワークフローによって先に取得したスキャンを支台歯形成の新規スキャンと組み合わせることができます。

いずれかのオプションで画像取得を完了すると、出力 DCM ファイルには 4 つのメッシュファイル - 2 つのファイルは無支台歯、2 つのファイルは支台歯 - が含まれます。貴院またはラボではこれらのファイルを使用して、元の歯により似た歯にする修復を行うことができます。

この例はプリおよびポストワークフローによって先に取得したスキャンを支台歯形成の新規スキャンと組み合わせる方法を説明します。以下の手順に従います：

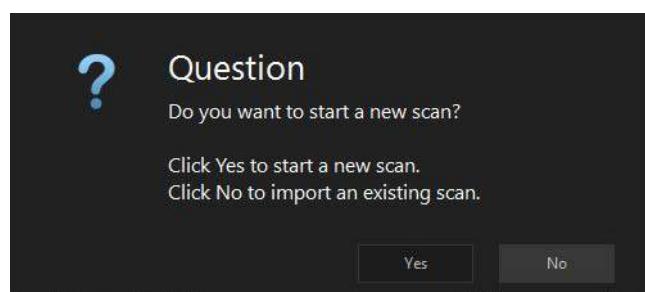
- 支台歯形成前に取得したスキャンをインポートします。
- 支台歯形成した歯をカットします。
- 支台歯形成領域を再スキャンします。
- 画像をリファインします。
- 支台歯形成チェックを完了し、画像をエクスポートします。

前のスキャンをインポートする

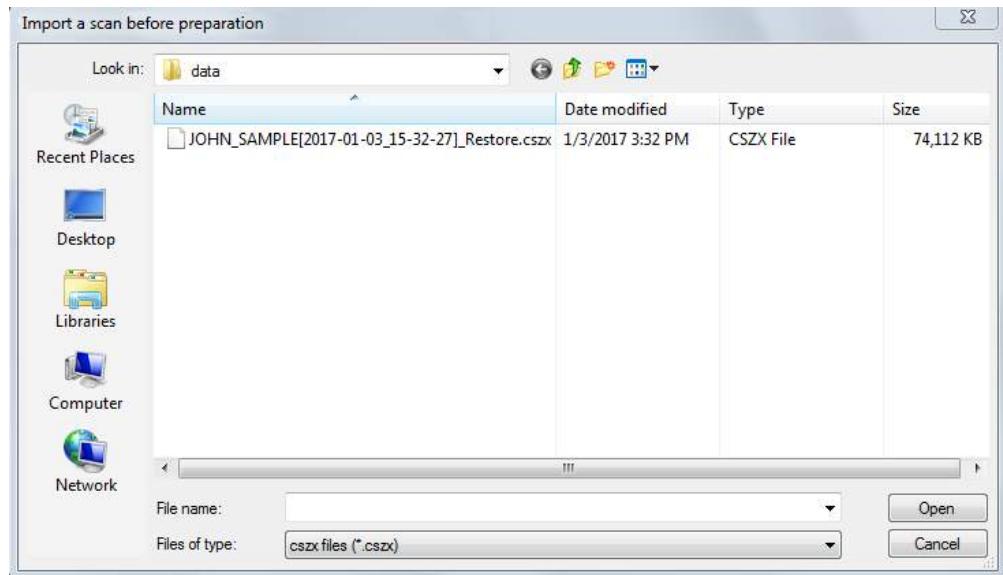
1 歯を十分に乾燥させてから画像取得を開始します。

2 画像取得インターフェイスにアクセスするには、イメージングソフトウェアの  をクリックします。

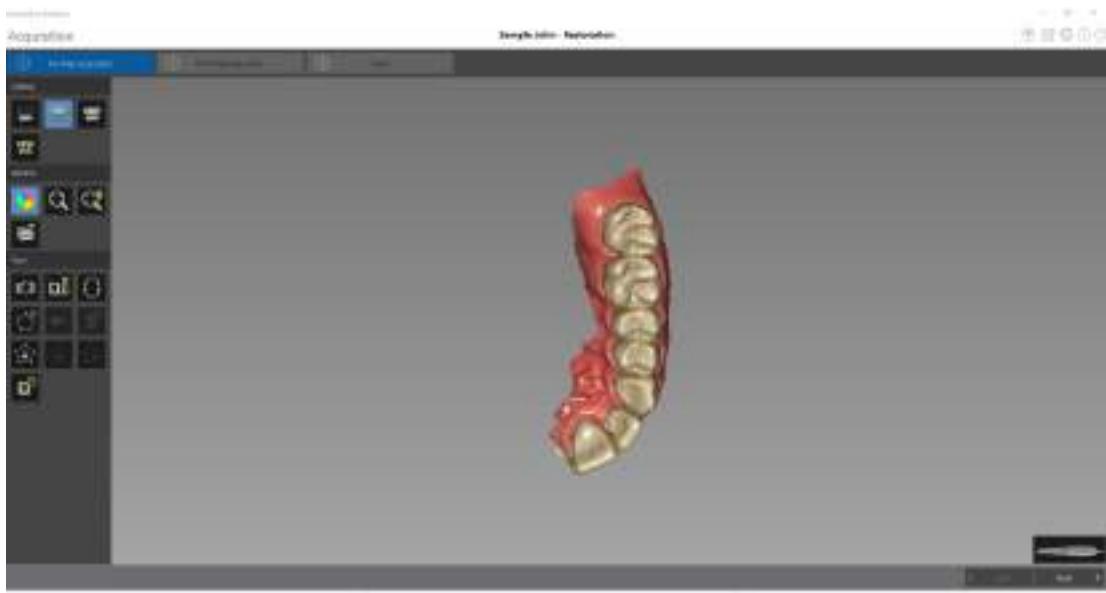
3 画像取得タイプの選択ウィンドウの  ボタンでドロップダウンボタンをクリックして **Pre & Post Scan** を選択し、OK をクリックします。ウィンドウが表示され、新規スキャンを開始するか求めます。



- 4 いいえをクリックして既存のスキャンを使用します。支台歯形成前にスキャンのインポートのウィンドウが表示されます。



- 5 インポートしたい .CSZ ファイルを選択し、開くをクリックします。3 D モデルが支台歯形成前の画像取得タブに表示されます。

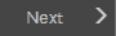


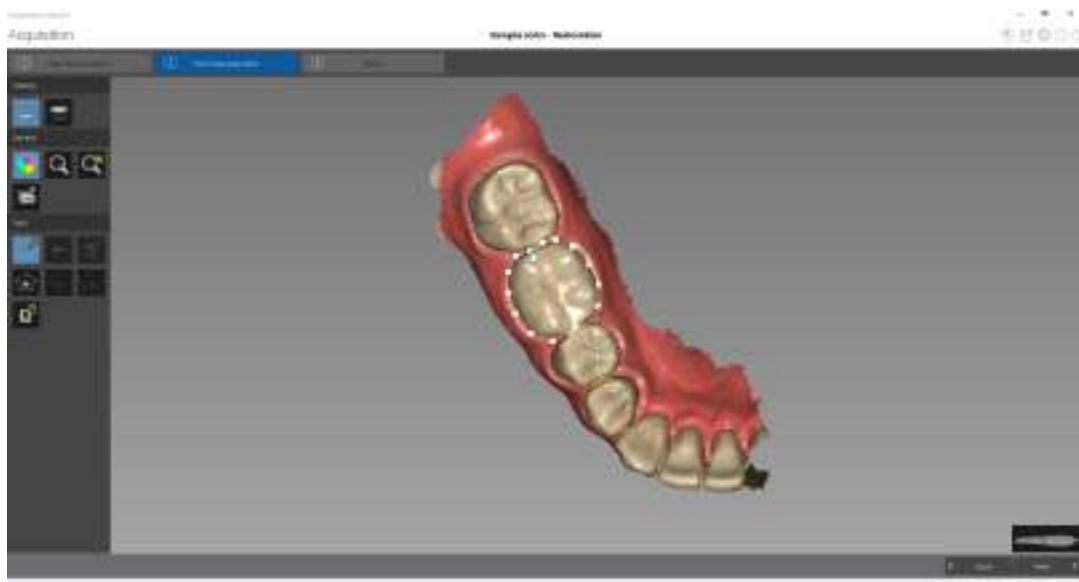
- 6  をクリックします。歯列弓ダイアグラムが表示されます。



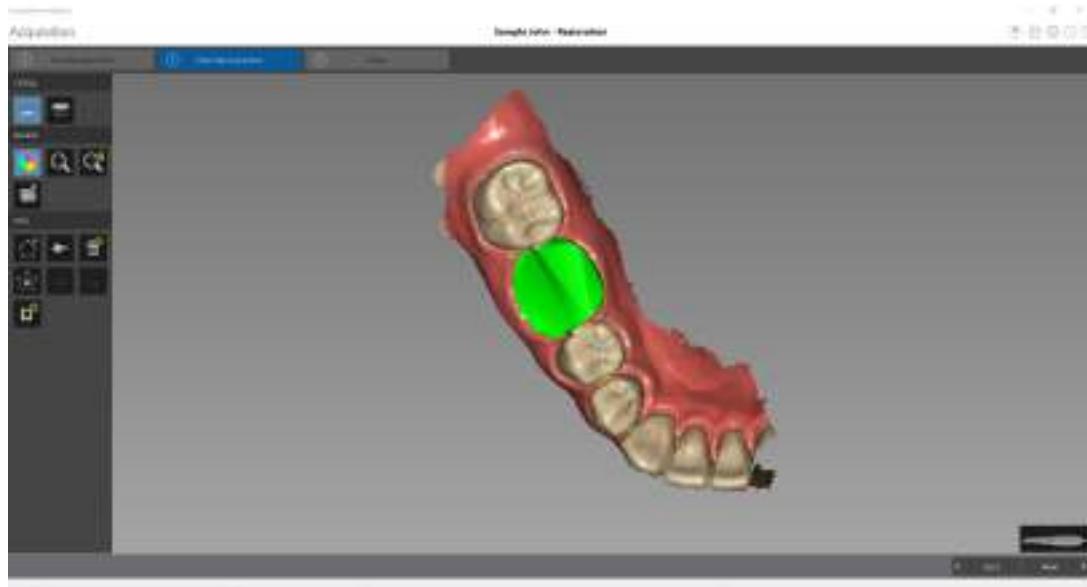
- 7 成人または小児アイコンをクリックして適切な歯列弓を表示します。
8 3D モデル用に画像取得した歯列弓の歯（上顎と下顎の歯を含む）を選択します。
9 スキャン領域で歯の選択が完了したら、**支台歯形成後の画像取得**ステップに進み支台歯形成歯をカットして支台歯形成領域を画像取得します。

支台歯形成された歯をカットする、および支台歯形成領域を画像取得する

- 1  をクリックします。3D モデルが**支台歯形成後の画像取得**タブに表示されます。
- 2 支台歯形成する歯が明瞭に表示できるようにモデルの位置を調整し、 をクリックします。支台歯形成する歯の周囲のいくつかのポイントでマウスをクリックし、歯を囲む十分に大きい円を作成します。

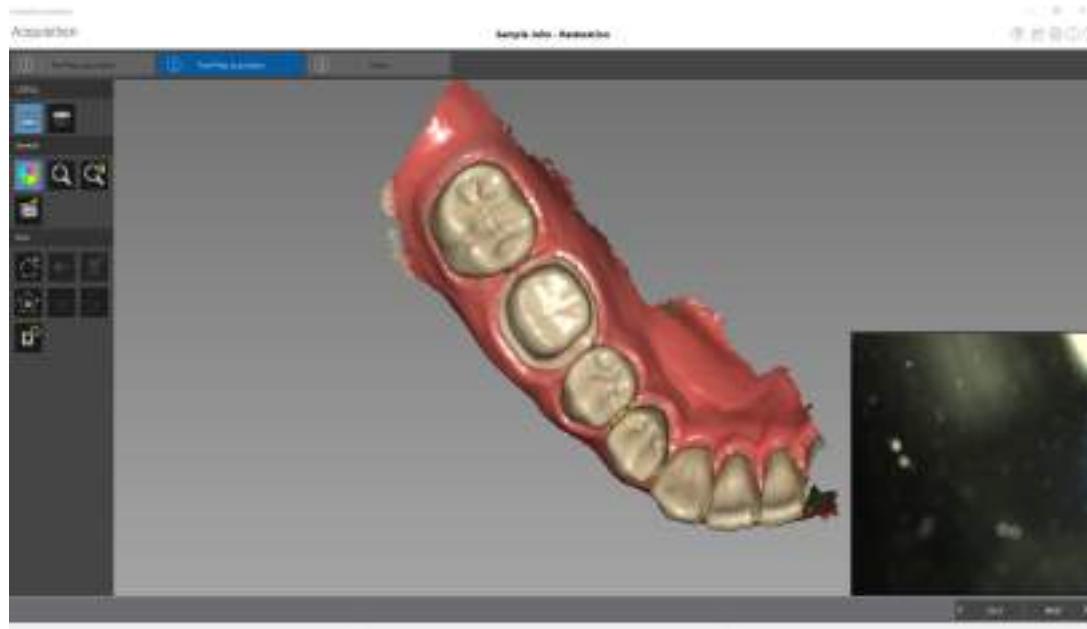


- 3 マウスをダブルクリックします。



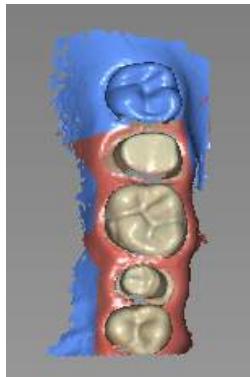
注記：画像から除去し過ぎた場合は、 をクリックして画像を復元し、カットプロセスを繰り返します。

- 4 支台歯形成領域を含む領域が中心になるように顎を再スキャンします。ページ 31 の「上顎および下顎の歯をスキャンする」に説明した画像取得のステップを繰り返します。



必要な場合、スキャン領域の一部を調べて追加のスキャンで更新されるのを避けます。例：この機能を使用して、スキャン領域が壊れ品質低化があるのでスキャン後直ちに退縮歯肉をロックできます。

-  をクリックして領域のまわりのいくつかのポイントでマウスをクリックします。
- マウスをダブルクリックします。選択した領域が 青色に変り、スキャンされる場合、スキヤナは情報をロックされた（青色）領域に追加しません。



- これらのステップを繰り返して追加の領域（最大 6 まで）をロックできます。
-  をクリックして最後に選択した領域をアンロックします。
-  をクリックして選択したすべての領域をアンロックします。

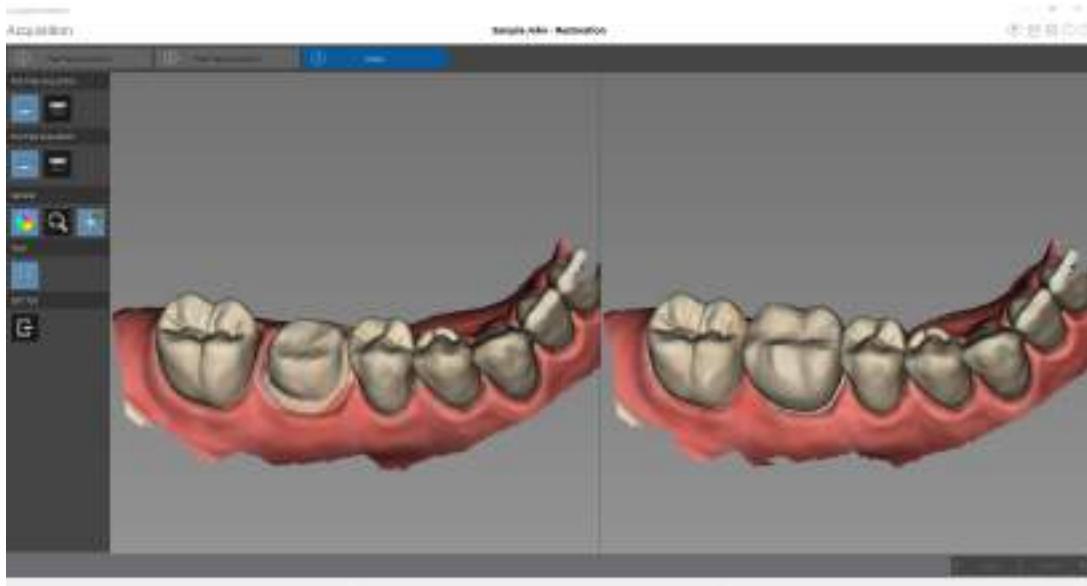
5 支台歯形成された歯を上手くスキャンしてその画像に満足する場合、チェックステップを続行します。

チェック

チェックステップで、3D 画像をさらに処理し、精度を最高にできます。

3D モデルをリファインし、さらに調べるには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックして画像をリファインします。モデルが分割画面ビューに表示されます。



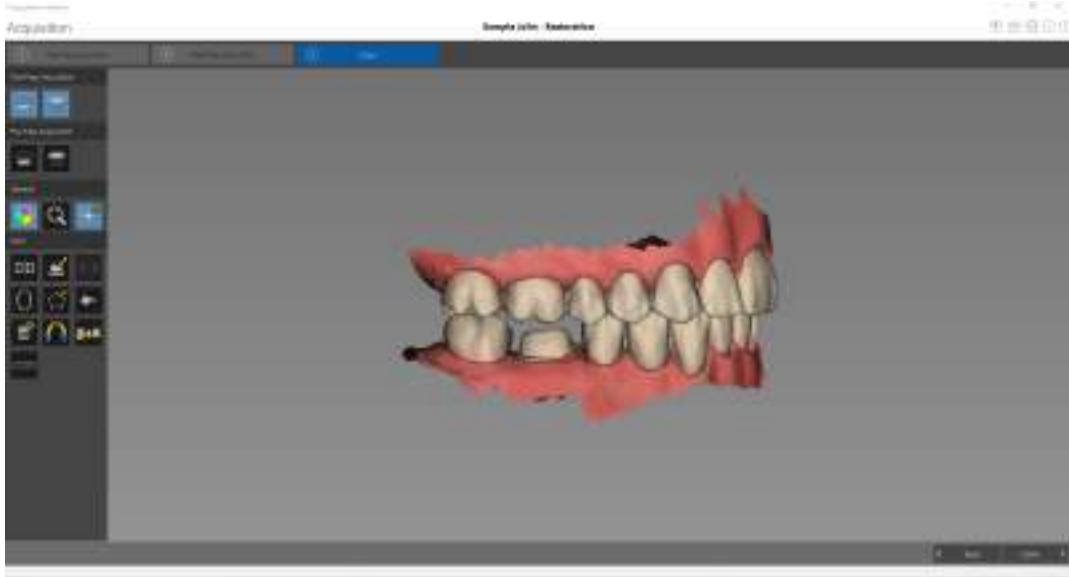
- 2 次の方法を使用して分割画面ビューで両方の画像を同時に操作します：

- 3D モデルをウィンドウに移動するには、右クリックし続けます。
- 3D モデルをクリックし続けると、回転します。
- マウスにスクロールホイールがある場合、ホイールを使用して 3D モデルを拡大または縮小します。
-  をクリックして環境光をオンにします。

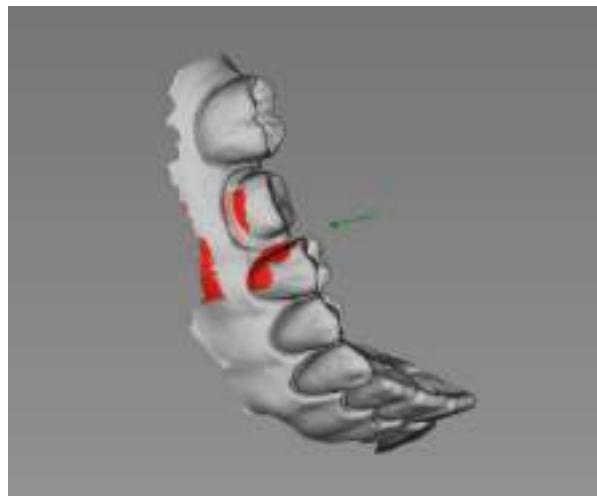


ヒント：光がオンの場合、影が表示され、3D 効果が強化され、メッシュが見やすくなります。光がオフの場合、影は表示されず、メッシュはより明るくなり、カラーと細部が見やすくなります。

-  をクリックして、モデルを最適なビューに拡大縮小します。
-  または  をクリックして上顎または下顎を非表示にします。再びボタンをクリックすると、顎のビューが復元されます。
-  または  をクリックして分割画面を終了します。これで 3D モデルを修正できるようになります。分割画面ビューの画像は修正できません。

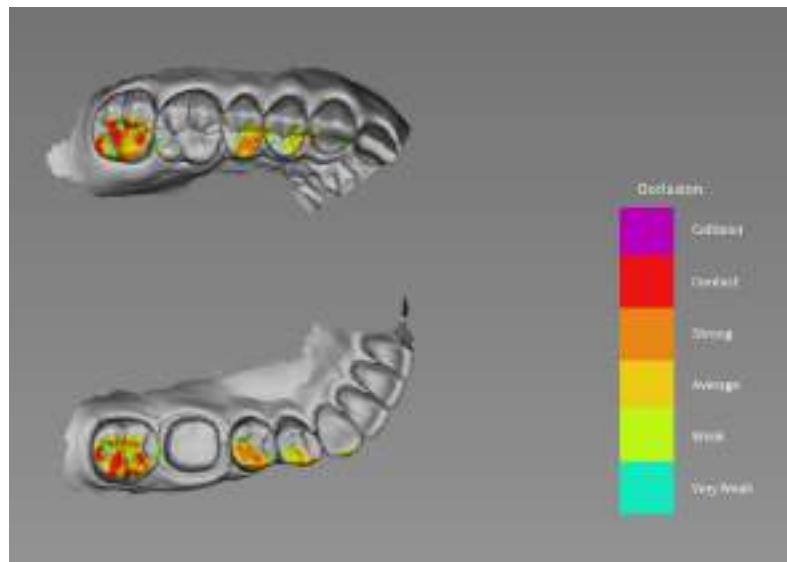


- をクリックして、画像の過剰軟組織を選択して削除します。
- メッシュを回転して挿入軸を調整し、 をクリックしてアンダーカットを表示します。
- マウスを左クリックおよびドラッグしてアンダーカットチェックに含まれる歯を選択します。アンダーカットが表示されます。

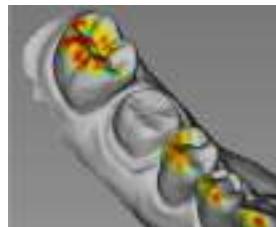


- をクリックして異なる領域を選択します。
- をクリックして挿入パスディレクションを変更した後アンダーカットを再計算します。
- をクリックして、インストールプロセスを続けます。

-  をクリックしてメッシュに色範囲として表示される咬合圧を表示します。



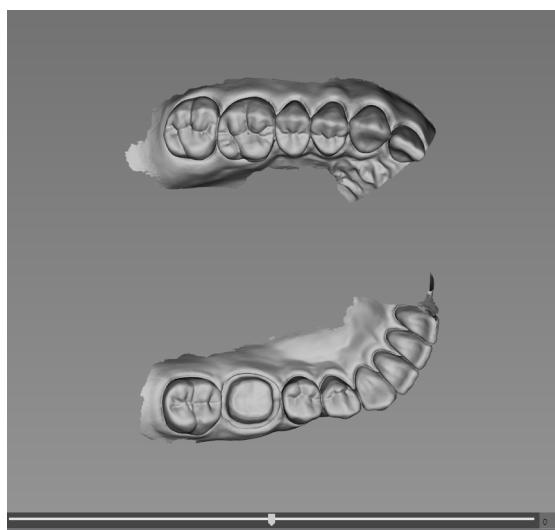
- モデル上をズームインして



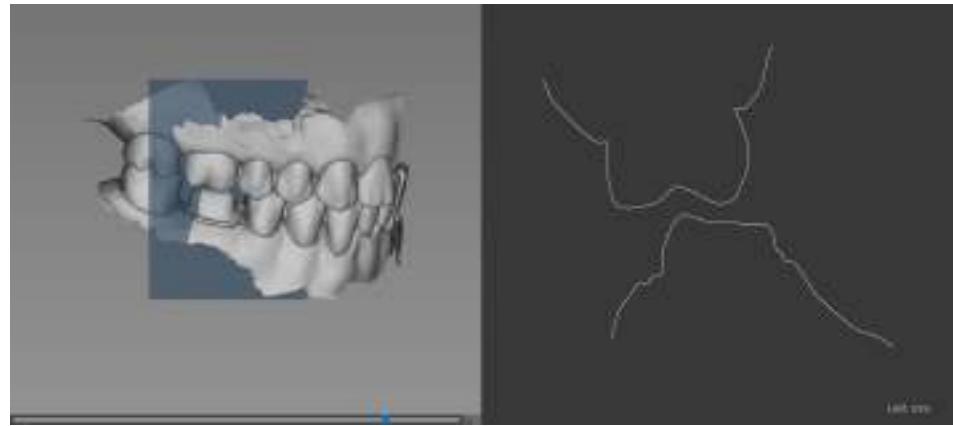
咬合がどのようにモデルで

計算されるかをはっきり表示します。

-  をクリックして咬合圧ツールを閉じてチェックプロセスを続行します。
-  をクリックして 3D モデル上の選択ポイント間の測定を行います。



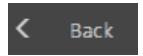
- 歯の上部をクリックして、スライダーを移動してカット面を回転します。



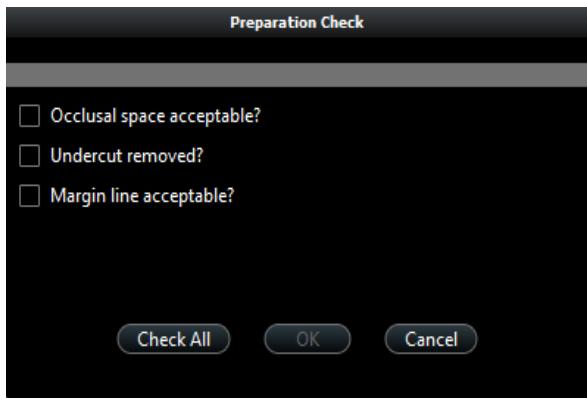
- 測定ツールセクションで  をクリックして、右パネルのレンダリング上で 2つのポイントを選択して測定を表示します。このプロセスを繰り返して最大 3 测定を一度におこないます。



- Esc を押して測定ツールをリセットします。
-  をクリックして測定ツールを閉じてチェックプロセスを続行します。

- 支台歯形成領域に穴がある場合、 をクリックして欠損データのある歯を再スキャンします。
- 3D モデルで満足な結果が得られるまで、ステップ 1 ~ 3 を繰り返します。
- 3D モデルをデンタルラボにエクスポートする場合、3D モデルにマージンラインリファレンスを描画できます。「マージンラインを描画する。」を参照してください

6 Done > をクリックします。支台歯形成チェックウィンドウが表示されます。



7 3D モデルの咬合スペースを調べて以下のいずれかを実行します。

- 咬合スペースが許容できる場合、支台歯形成チェックウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- 咬合スペースが許容できない場合、キャンセルをクリックします。 < Back をクリックして影響された歯を再スキャンします。

8 3D モデルのアンダーカットを調べて以下のいずれかを実行します。

- アンダーカットが許容できる場合、支台歯形成チェックウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- アンダーカットが許容できない場合、キャンセルをクリックします。 < Back をクリックします。支台歯形成の必要な調整を行い、支台歯形成領域および周囲の歯を再スキャンします。

9 3D モデルのマージンラインを調べて以下のいずれかを実行します。

- マージンラインが受け入れできる場合、支台歯形成チェック ウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- マージンラインが許容できない場合、キャンセルをクリックします。 < Back をクリックして影響された歯を再スキャンします。

10 3D モデルに満足したら、OK をクリックし、3D モデルをイメージングソフトウェアに送信します。



重要 : 3D モデルを表示するには、デスクトップにインストールされている Trophy Mesh Viewer を使用します。メッシュビューアの使用法については、Trophy Mesh Viewer インターフェイスの ? ボタンをクリックしてください。DCM ファイルをラボに送信している場合、ラボに以下のリンクから Trophy Mesh Viewer をダウンロードするように求めます：
<http://sas-origin.onstreammedia.com/origin/carestreamhealthinc/CSMeshViewer/CSMeshViewer.zip>

マージンラインを描画する

3D モデルをデンタルラボにエクスポートする場合、ソフトウェアが 3D モデルにマージンラインリファレンスを自動的に描画するようにもできますし、手動でマージンラインを描画することもできます。



重要：自動マージンライン機能はクラウンについてのみ使用できます。インレーまたはアンレーが含まれる場合は手動でマージンラインを描画する必要があります。

自動的にマージンラインを描画する

自動的にマージンラインを描画するには、以下のステップに従います：

- 1 をクリックします。マージンラインツールがツールバーに表示されます。



- 2 をクリックします。

3 支台歯形成領域をクリックします。歯式番号選択歯列弓ダイアグラムが表示されます。



4 歯式番号選択歯列弓ダイアグラムの対応する歯を選択します。



5 3D モデルのマージンラインを調べて以下のいずれかを実行します。

- マージンラインを編集するには、マージンラインをクリックして選択します。  をクリックします。変更したいマージンラインのセクションを再描画し、そのセクションが既存のマージンラインと接続していることを確認します。
- マージンラインを削除するには、そのマージンラインを選択し、  をクリックします。

6 画像取得インターフェイスの外側のマージンラインリファレンスを表示するには、デスクトップにインストールされている **Trophy Mesh Viewer** を使用します。

マージンラインを手動で描画する

インレーまたはアンレーが含まれる場合は手動でマージンラインを描画する必要があります。

マージンラインを手動で描画するには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックします。マージンラインツールがツールバーに表示されます。

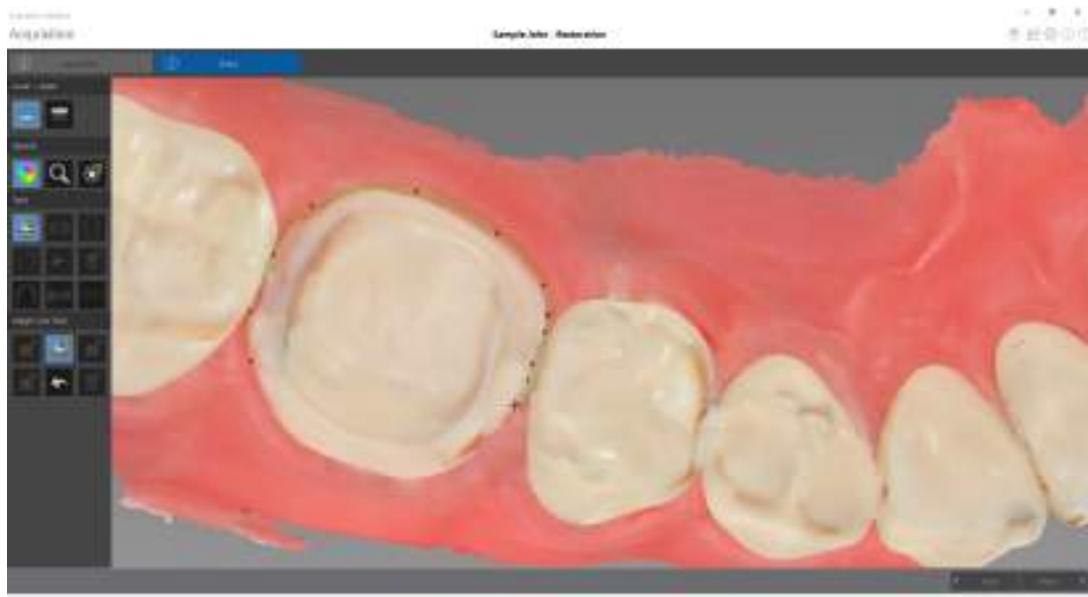


- 2  をクリックします。歯式番号選択歯列弓ダイアグラムが表示されます。



- 3 歯式番号選択歯列弓ダイアグラムの対応する歯を選択します。

4 クリックしてドラッグし、支台歯形成の周囲にマージンラインを描画します。



5 3D モデルのマージンラインを調べて以下のいずれかを実行します。

- マージンラインを編集するには、マージンラインをクリックして選択します。  をクリックします。変更したいマージンラインのセクションを再描画し、そのセクションが既存のマージンラインと接続していることを確認します。
 - マージンラインを削除するには、マージンラインをクリックして選択します。  をクリックします。
- 6 画像取得インターフェイスの外側のマージンラインリファレンスを表示するには、デスクトップにインストールされている **Trophy Mesh Viewer** を使用します。

2D 画像を選択する

2D 画像を 3D モデルから選択して、3D モデルとともにデンタルラボに送信することができます。



注記：2D 画像の選択機能は画像取得ステップでのみ使用可能です。

2D 画像を選択するには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックします。
- 2 3D モデルを操作して表示したい位置にします。
- 3 2D 画像にしたい 3D モデルの領域をクリックします。画像は ピュー タブに表示されます。



- 4 ピュータブの画像の右上隅のチェックマークをクリックして画像を保存ビュー タブに移動します。
- 5 2D 画像の選択を完了したら、 をクリックして画像取得インターフェイスに戻ります。

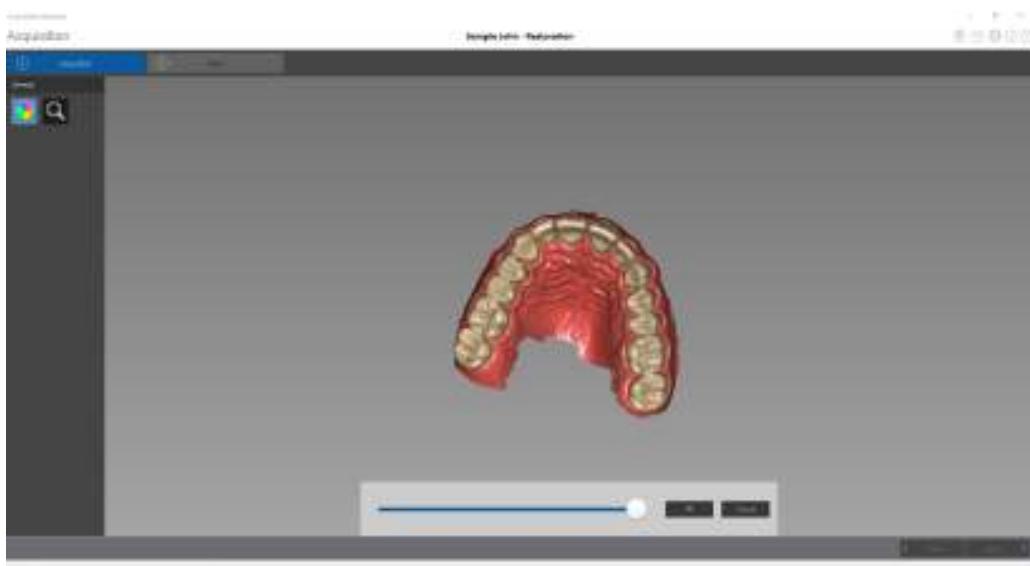
スキャン履歴チェックを使用してスキャンをレビューし不要なビューを除去する

スキャン履歴チェック機能は 3D モデルで前後に移動してスキャンをチェックすることを可能にします。ミスマッチまたは不要なビューを含むスキャン領域があり、 ツールを使用してこ

れらの領域を除去できない場合、スキャナ履歴チェック機能を使用してミスマッチが発生した前の場所にスキャン部分を戻すことができます。この後、その領域を再スキャンできます。

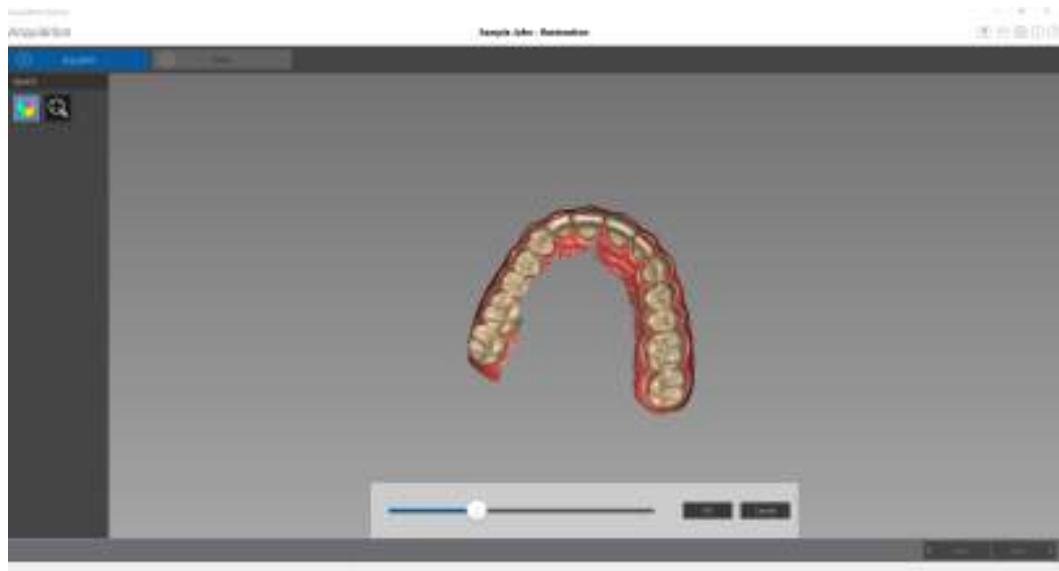
スキャン履歴チェック機能を使用するには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックします。スキャン履歴チェックビューが表示されます。



- 2 3D モデルを操作して表示したい位置にします。

- 3 スライダをクリックして左に移動しスキャンの部分を取り除きます。スライダを右に戻して移動すると、取り除く部分が変わります。



- 4 スキャンから不要なビューを取り除いたら、OKをクリックして、画像取得ウィンドウに戻ります。



注記：スキャン履歴チェック機能を使用して取り除いたビューは元に戻せません。

- 5 何も変更しないで、画像取得ウィンドウに戻るには、キャンセルをクリックします。

7

歯列矯正用に 3D モデルの画像を取得する

Trophy 3DI Pro を使用して完全な歯列弓をスキャンし 3D モデルを作成できます。次に、このモデルを Trophy Model ソフトウェアにエクスポートできます。このソフトウェアでは、電子モデルを使用して基本距離測定ができます。このため、印象材を取り、ストーンモデルで作業し、またはストーンモデルを保管する必要はありません。上顎、下顎、頬側バイト印象の画像を取得してください。このソフトウェアはこれらの画像を組み合わせて 3D モデルを作成します。

歯列矯正用 3D モデルを取得するには、以下の手順に従います。

- 上顎および下顎をスキャンします。
- 頬側バイト印象をスキャンします。
- 画像をリファインします。
- 支台歯形成チェックを完了し、画像をエクスポートします。



注記 : いくつかの場合、1 つの歯列弓（部分または全）の画像を取得できても、頬側バイト印象を取得できません（例、対合歯列弓に歯がない場合）。しかし、可能であれば、歯列弓と頬側バイト印象の両方の画像を取得することをお勧めします。

上顎および下顎の歯をスキャンする

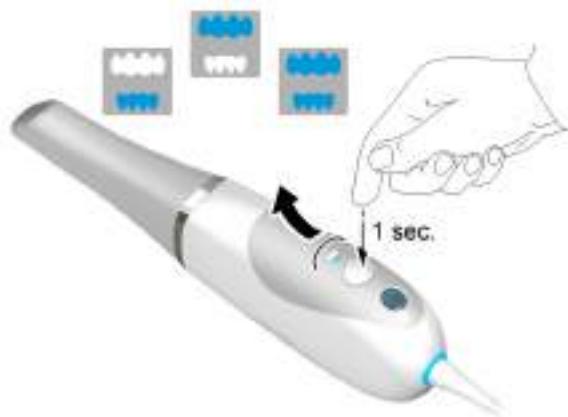
自動画像取得を使用して画像を取得するには、以下のステップに従います：

- 歯を十分に乾燥させてから画像取得を開始します。
- 画像取得インターフェイスにアクセスするには、イメージングソフトウェアの をクリックします。
- 画像取得タイプの選択ウィンドウでを選択して OK をクリックします。
- 画像取得インターフェイスで、上顎画像取得モードを選択します。



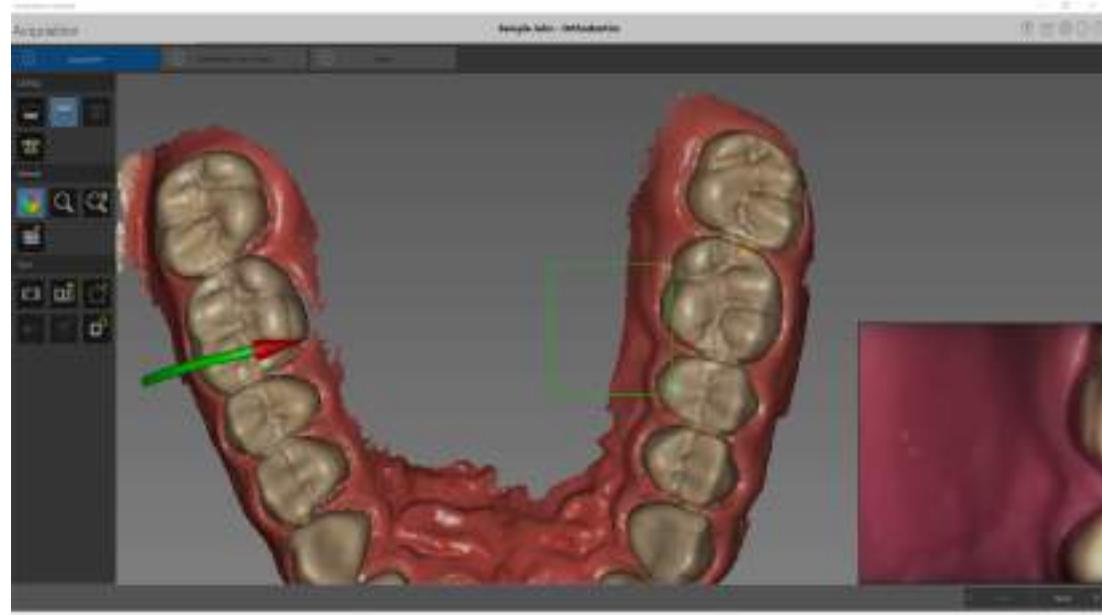
または

Trophy 3DI Pro で、モードボタンを 1 秒間押して画像取得モードを選択します。モードインジケータ LED が緑色に点灯します。



- 5 歯の咬合面に対して 90 度の角度で Trophy 3DI Pro を保持します。チップを歯面に置くと、Trophy 3DI Pro が安定します。ライブのビデオ画像がビデオプレビュー画面に表示され、画像取得が開始されます。画像が自動的に取得され、3D モデル表示画面に転送されます。

下の画像は、上顎のいくつかの画像取得を示しています。



重要 : 赤い矢印が付いた緑の線は特に切歯上の画像のステッヂエラーの原因になる、頬側面、舌側面、および咬合面間の弱い接続を示します。矢印が消えるまで領域をスキャンします。

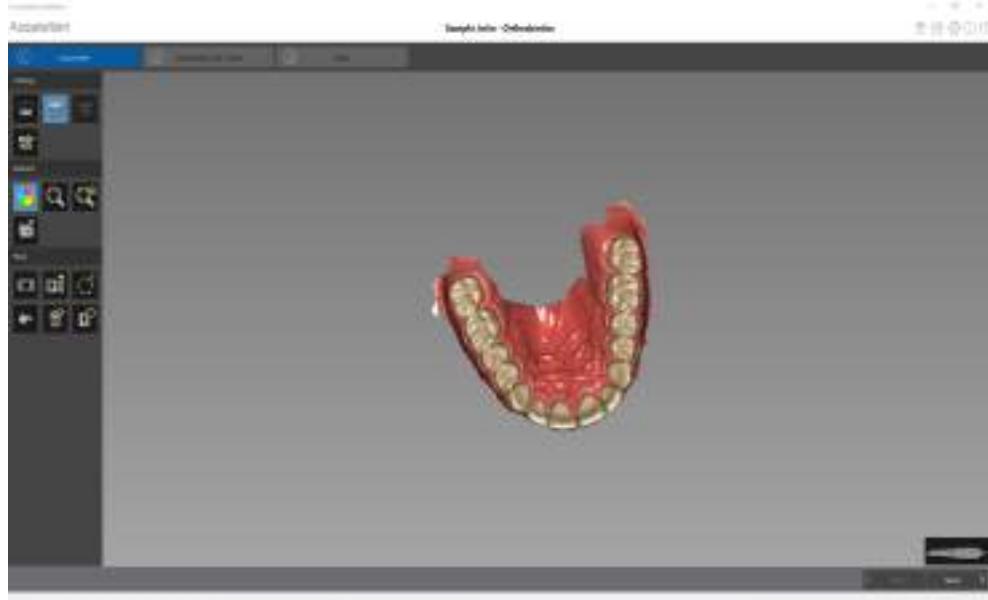
- 6 咬合面のスキャンが完了したら、歯の舌側面をスキャンします。歯の舌側面に対して 45 度の角度で Trophy 3DI Pro を保持します。舌のスキャンには、必ず、数ミリの歯肉組織が含まれるようにします。

- 7 舌側面のスキャンが完了したら、歯の頬側面をスキャンします。歯の頬側面に対して 45 度の角度で Trophy 3DI Pro を保持します。頬側のスキャンには、必ず、数ミリの歯肉組織が含まれるようにします。



重要 : 画像取得プロセスの間は必要に応じて歯を再乾燥させます。

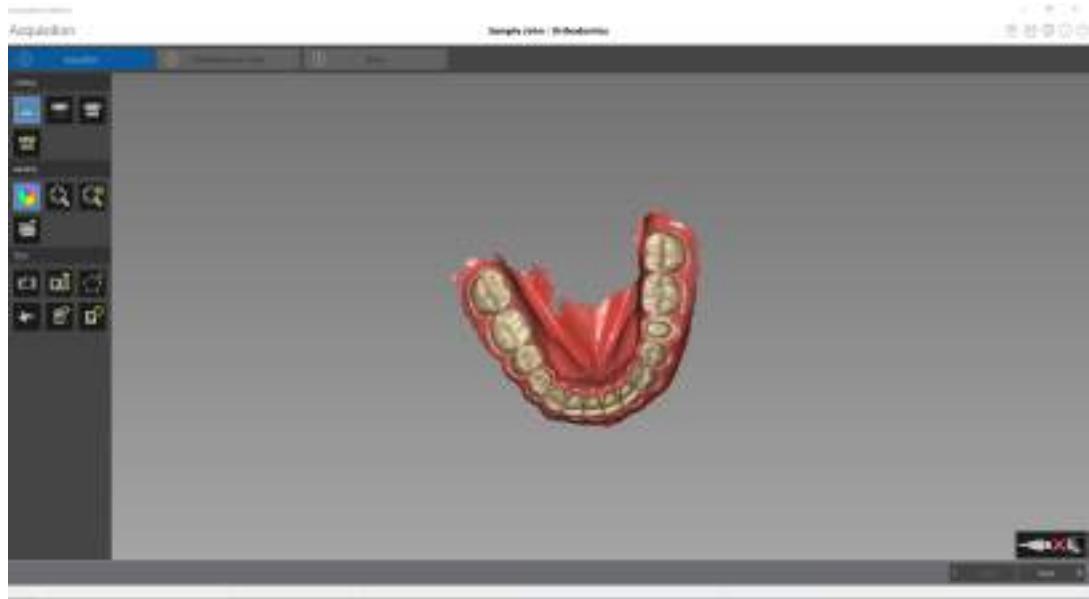
下例は、咬合面、舌側面、頬側面、そして十分な口蓋のスキャンが完了した場合の上顎の 3D モデルを表示しています。



重要 : スキャンした画像に穴がある場合、その穴が完全に塗りつぶされるまでその領域を再スキャンします。マウスのホイールを使用して詳細表示のために画像をズームインします。

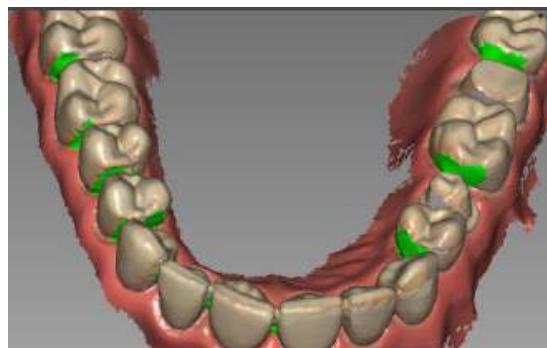
- 8 上顎をスキャンが完了すると、下顎のスキャンを開始できます。
- をクリックし、下顎の歯をスキャンできるまでステップ 5 ~ 7 を繰り返します。

下の例は、柔組織を含めて、咬合面、舌側面、頬側面のスキャンが完了した場合の下顎の3Dモデルを示しています。



- 9 穴に関して3Dモデルを目視点検します。穴がある場合は、その穴が完全に塗りつぶされるまでその領域を再スキャンします。

画像取得中に高解像度モードの使用をしていない場合、3Dモデルの緑色が画像の既存の穴をハイライトします。



緑色が消えるまでハイライトされた領域を再スキャンします。

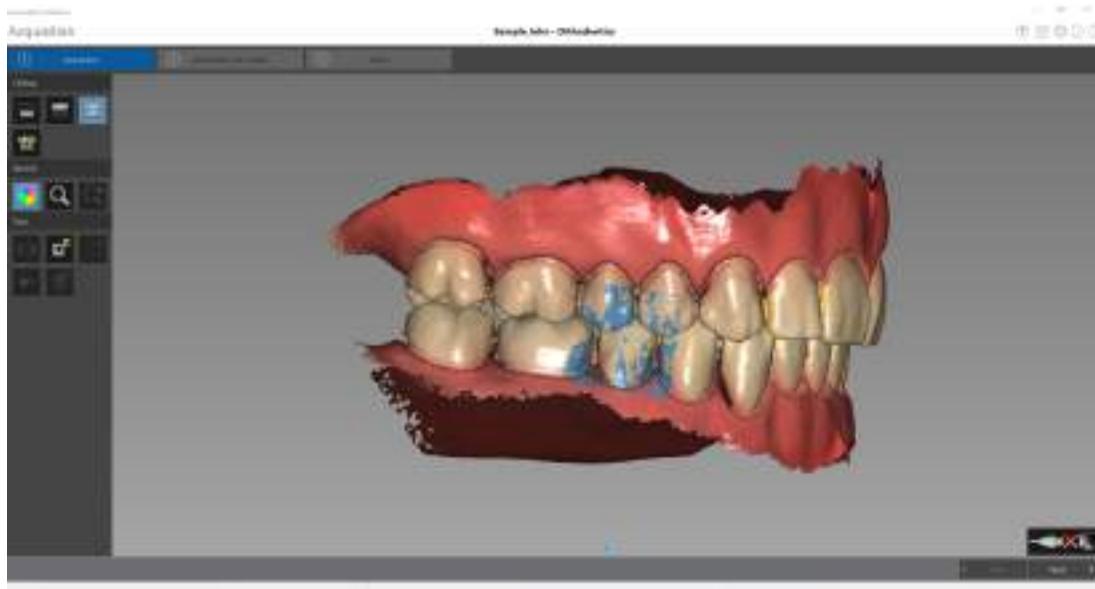
- 10 3Dモデルで満足な結果が得られた場合、頬側バイト印象の画像取得を続行します。

頬側バイト印象をスキャンする

自動画像取得を使用して頬側バイト印象の画像を取得するには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックします。
- 2 患者にバイトさせます。
- 3 齒の頬側面に対して 90 度の角度で Trophy 3DI Pro を配置し、上下の歯がビデオプレビュー画面の中央に揃う位置に整列します。チップを歯面に置くと、Trophy 3DI Pro が安定しやすくなります。
- 4 Trophy 3DI Pro をわずかに上下に移動してバイト印象の画像取得をトリガーします。スキャナ設定ウィンドウでキャプチャーオプションを有効にした場合、シングル ビープはキャプチャが成功したことを示しています。

下例は頬側バイト印象を示しています。



ドット  がウィンドウ下部に表示され、キャプチャに成功したことを示します。成功したバイト画像には、上歯列弓および下歯列弓の両方が含まれます。



ヒント：顎の頬側画像を取得した後、必ず Trophy 3DI Pro を反対側の歯列弓に向けて移動します。

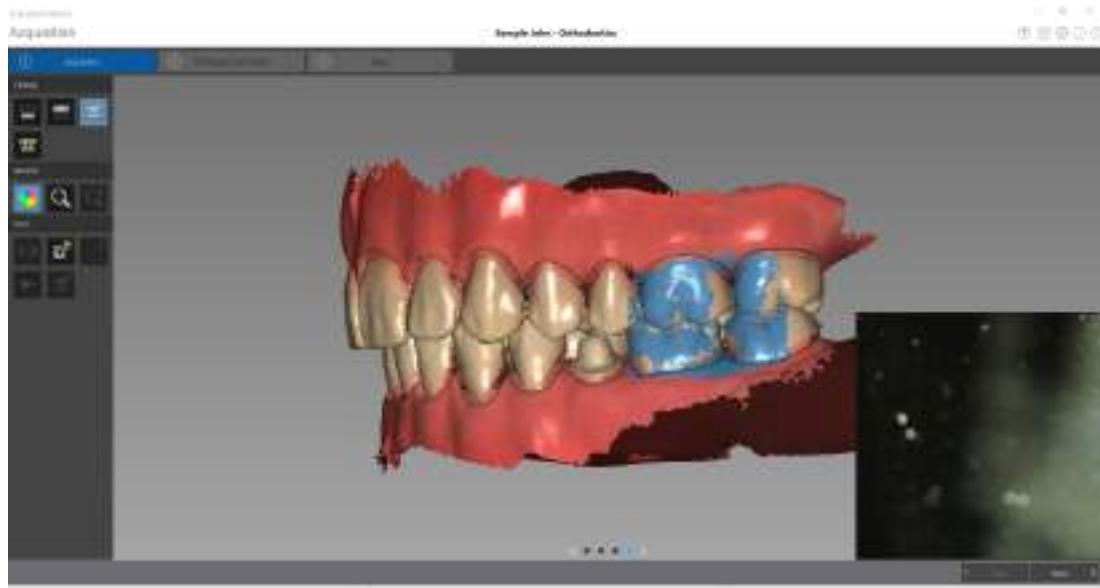
画像取得 インターフェイスに両方の歯列弓が表示されると、バイト画像は成功であり、追加のバイト画像を取得でき、バイトの精度を上げられます。



重要：全歯列弓の場合は少なくとも次の 4 枚の頬側バイト画像を取得してください。臼歯で口の各側に 1 枚、犬歯で口の各側に 1 枚。

- 5 追加の頬側バイト画像をいくつか取得します。全歯列弓では、最大 6 枚のバイト画像を取得できます。
- 6 バイトを印象すると、モデルを回転してビューをズームし、バイトが正確でバイトのミスマッチ領域がないことを確認します。ドットをクリックすると、画像取得したバイトが表示されます。

下例は、いくつかの頬側バイト印象を示します。



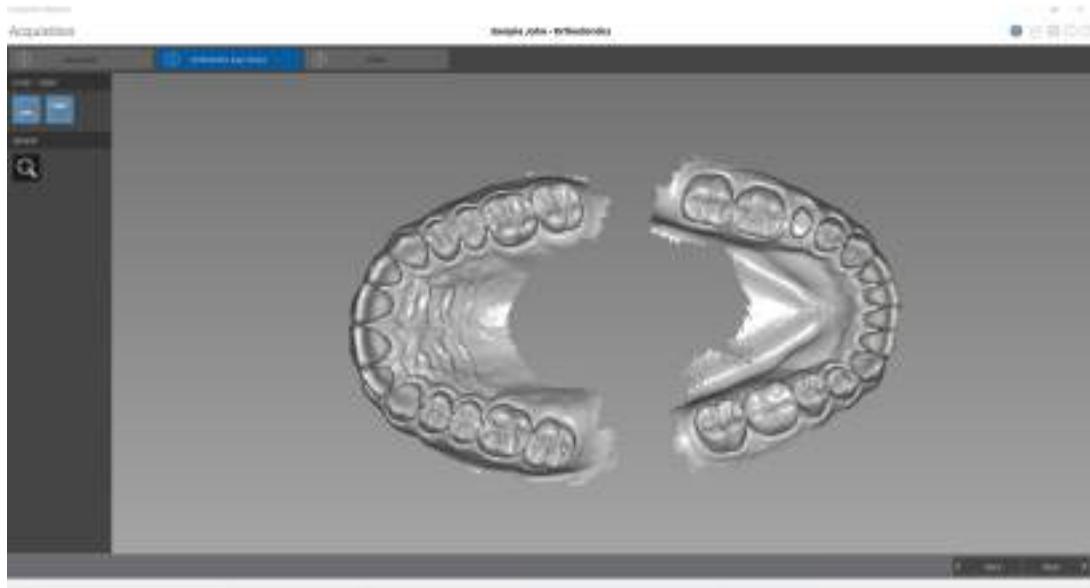
- 7 頬側バイト印象の画像取得を完了した時、- **全般設定** ウィンドウの**詳細**タブで**歯列矯正スキャン**チェックの**有効**を選択 – または**チェックステップ**を選択した場合、歯列矯正スキャンチェックに進みます。

歯列矯正スキャンチェック

歯列矯正スキャンチェック ステップですべての歯の表面が正しくスキャンされていることを確認でき十分な軟組織が取得されたことを確実にできます。

歯列矯正スキャンチェックを行うには、次の手順に従ってください：

- 1  をクリックします。歯列矯正スキャンチェックタブが表示されます。

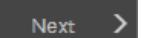


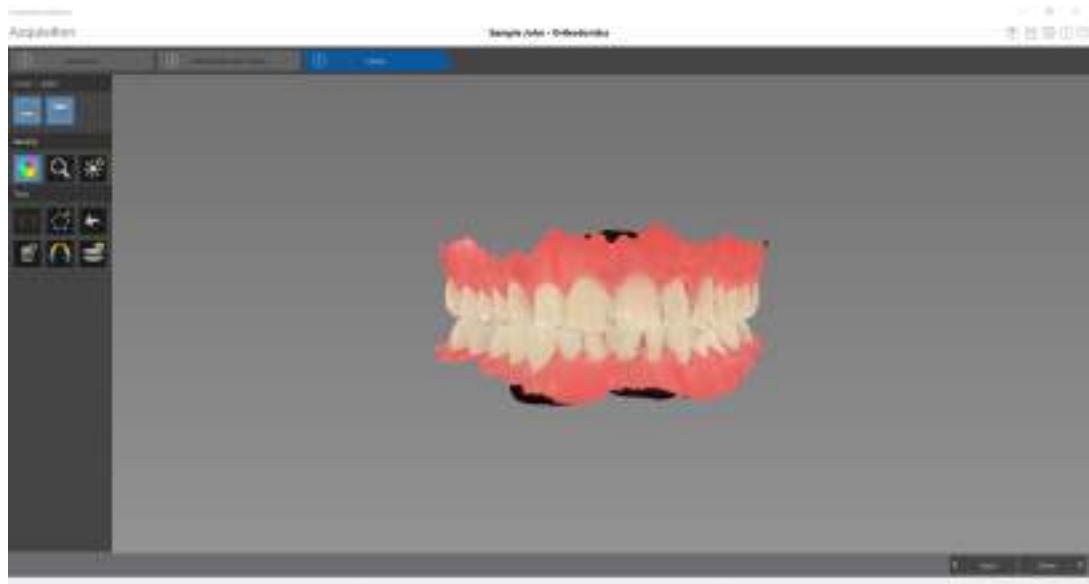
- 2  をクリックして、モデルを最適なビューに拡大縮小します。モデルを調べてすべての歯の表面および十分な軟組織が取得されたことを確実にします。
- 3 画像に穴がある場合または画像に欠損情報がある場合  をクリックして欠損データのある歯を再スキャンします。
- 4 モデルの完了の確認が完了した場合、チェックステップに進みます。

チェック

チェックステップで、3D 画像をさらに処理し、精度を最高にできます。

3D モデルをリファインし、さらに調べるには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックして画像をリファインします。



- 2 以下の方法で、リファインされた 3D モデルを操作します：

- 3D モデルをウィンドウに移動するには、右クリックし続けます。
- 3D モデルをクリックし続けると、回転します。
- マウスにスクロールホイールがある場合、ホイールを使用して 3D モデルを拡大または縮小します。
-  をクリックして環境光をオンにします。



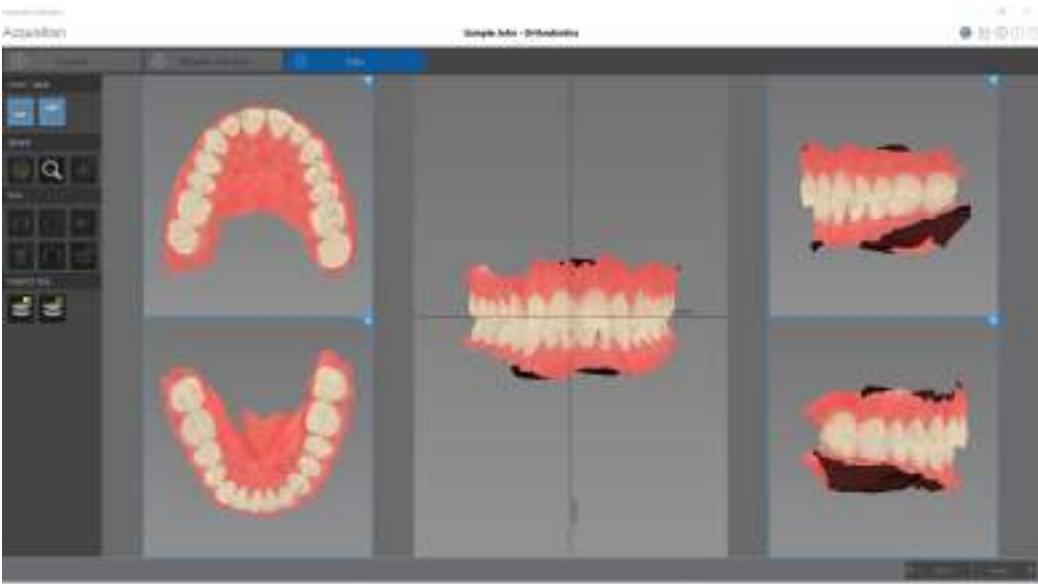
ヒント：光がオンの場合、影が表示され、3D 効果が強化され、メッシュが見やすくなります。光がオフの場合、影は表示されず、メッシュはより明るくなり、カラーと細部が見やすくなります。

-  をクリックして、モデルを最適なビューに拡大縮小します。

-  または  をクリックして上顎または下顎を非表示にします。再びボタンをクリックすると、顎のビューが復元されます。

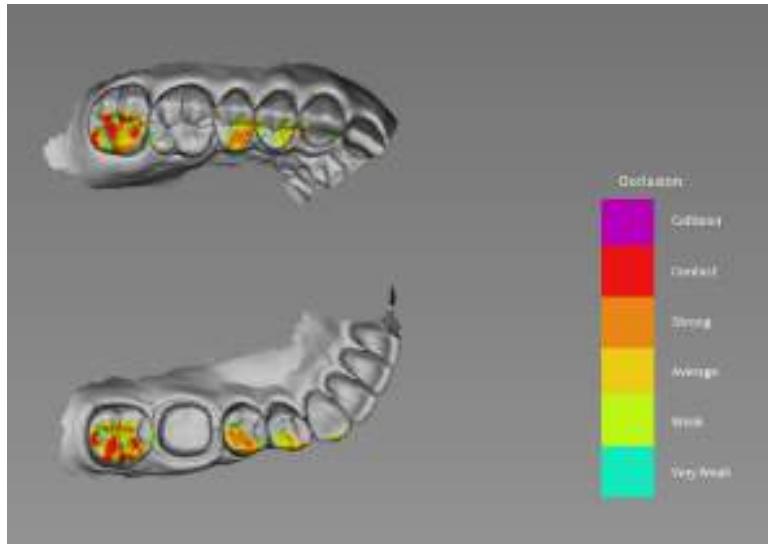


-  をクリックして、画像の過剰軟組織を選択して削除します。
-  をクリックしてモデルの複数ビューを表示する四分円スナップショットウィンドウを開きます。

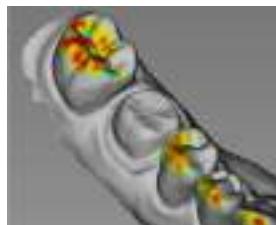


- 中央画像を右クリックし保持して上下または左右に移動します。
-  をクリックして個別 JPG 画像を患者のイメージングフォルダにエクスポートします。特別なビューをエクスポートしたくない場合、画像の上右隅の  をクリックして選択解除します。

-  をクリックして、四分円スナップショットウィンドウを閉じます。
-  をクリックしてメッシュに色範囲として表示される咬合圧を表示します。



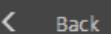
- モデル上をズームインして



咬合がどのようにモデルで

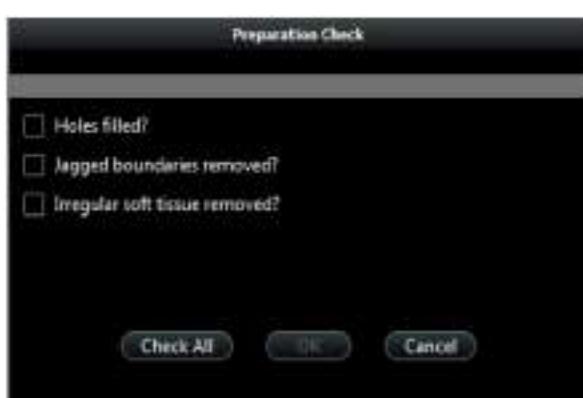
計算されるかをはっきり表示します。

-  をクリックして、インストールプロセスを続けます。

3 画像に穴がある場合、 をクリックして欠損データのある歯を再スキャンします。

4 3D モデルで満足な結果が得られるまで、ステップ 1 ~ 3 を繰り返します。

5  をクリックします。支台歯形成チェックウィンドウが表示されます。



6 3D モデルに穴があるか調べ、以下の 1 つを行います :

- 画像に穴がない場合は、**支台歯形成チェック** ウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- 充填する必要がある穴があれば、**キャンセル** をクリックします。  **Back** をクリックして影響された歯を再スキャンします。

7 3D モデルにギザギザした境界があるか調べ、以下の 1 つを行います :

- 画像にギザギザした境界がない場合は、**支台歯形成チェック** ウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- 画像にギザギザした境界がある場合は、 ツールを使用してこれらの境界を取り除きます。

8 3D モデルに不規則な軟組織があるか調べ、以下の 1 つを行います :

- 画像に不規則な軟組織がない場合は、**支台歯形成チェック** ウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- 不規則な軟組織がある場合は、 ツールを使用して、不規則な軟組織を取り除きます。

9 3D モデルに満足したら、 をクリックし、3D モデルをイメージングソフトウェアに送信します。



重要 : 3D モデルを表示するには、デスクトップにインストールされている Trophy Mesh Viewer を使用します。メッシュビューアの使用法については、Trophy Mesh Viewer インターフェイスの ? ボタンをクリックしてください。DCM ファイルをラボに送信している場合、ラボに以下のリンクから Trophy Mesh Viewer をダウンロードするように求めます :

<http://sas-origin.onstreammedia.com/origin/carestreamhealthinc/CSMeshViewer/CSMeshViewer.zip>

2D 画像を選択する

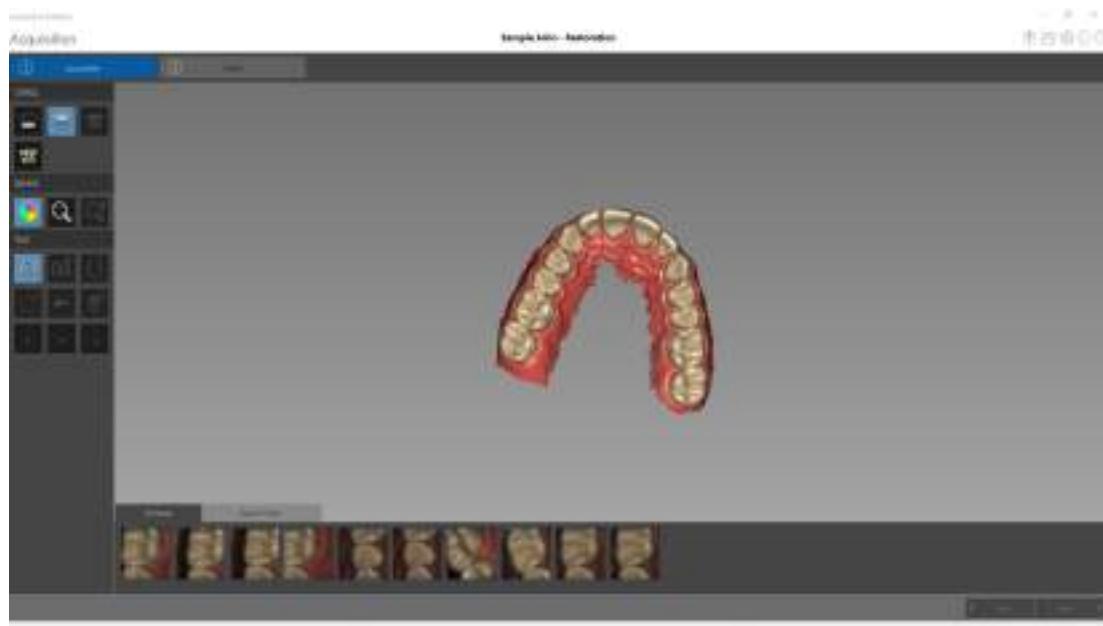
2D 画像を 3D モデルから選択して、3D モデルとともにデンタルラボに送信することができます。



注記：2D 画像の選択機能は画像取得ステップでのみ使用可能です。

2D 画像を選択するには、以下のステップに従います：

- 1 をクリックします。
- 2 3D モデルを操作して表示したい位置にします。
- 3 2D 画像にしたい 3D モデルの領域をクリックします。画像はビュータブに表示されます。



- 4 ビュータブの画像の右上隅のチェックマークをクリックして画像を保存ビュータブに移動します。
- 5 2D 画像の選択を完了したら、 をクリックして画像取得インターフェイスに戻ります。

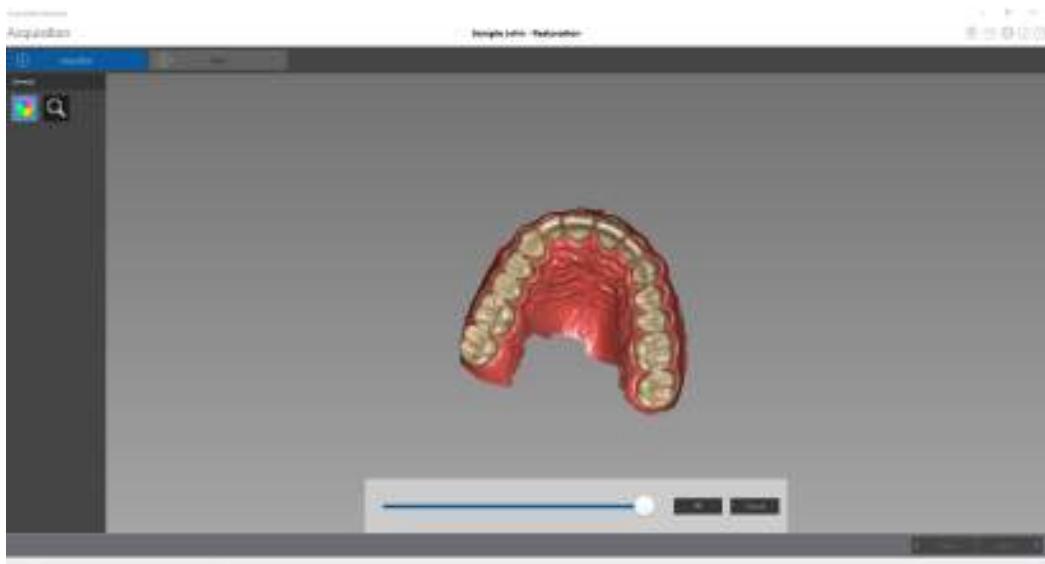
スキャン履歴チェックを使用してスキャンをレビューし不要なビューを除去する

スキャン履歴チェック機能は 3D モデルで前後に移動してスキャンをチェックすることを可能にします。ミスマッチまたは不要なビューを含むスキャン領域があり、ツールを使用してこ

れらの領域を除去できない場合、スキャナ履歴チェック機能を使用してミスマッチが発生した前の場所にスキャン部分を戻すことができます。この後、その領域を再スキャンできます。

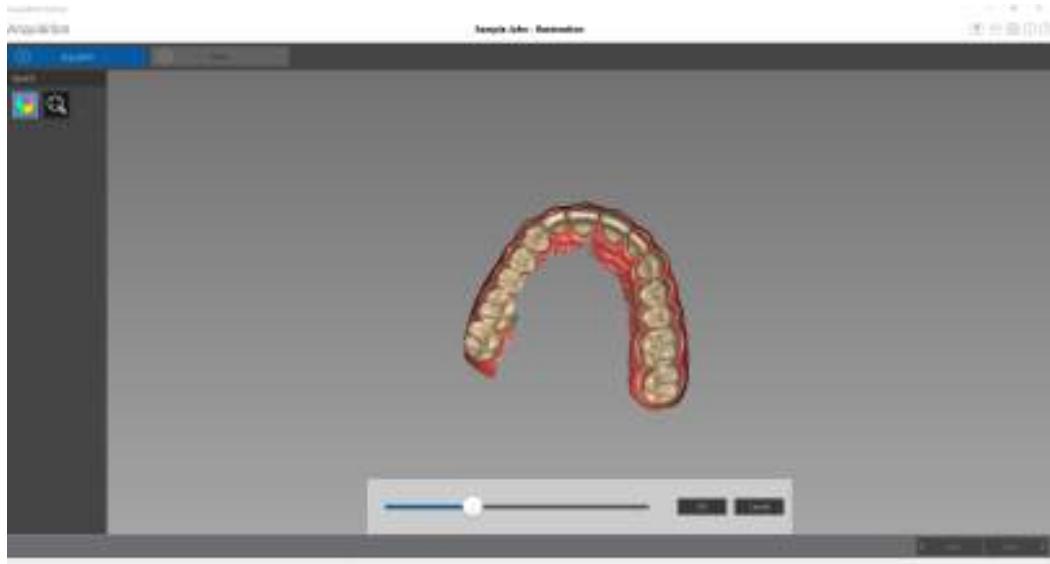
スキャン履歴チェック機能を使用するには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックします。スキャン履歴チェックビューが表示されます。



- 2 3D モデルを操作して表示したい位置にします。

- 3 スライダをクリックして左に移動しスキャンの部分を取り除きます。スライダを右に戻して移動すると、取り除く部分が変わります。



- 4 スキャンから不要なビューを取り除いたら、OK をクリックして、**画像取得**ウィンドウに戻ります。



注記：スキャン履歴チェック機能を使用して取り除いたビューは元に戻せません。

- 5 何も変更しないで、**画像取得**ウィンドウに戻るには、**キャンセル**をクリックします。

8

インプラント用に 3D モデルの画像を取得する

スキャナを使用して、アバットメントまたはインプラントを含む完全な歯列弓または部分的な歯列弓を画像取得し、3D モデルを作成できます。既存のアバットメントを使用して全または部分歯列弓の画像取得を行う場合は、標準のスキャン修復画像取得 ワークフローを使用します。インプラントを含む全または部分歯列弓の画像取得を行う場合は、スキャンボディインプラント画像取得ワークフローを使用します。スキャンボディインプラント画像取得ワークフローで、ソフトウェアは画像を複製するので、インプラント領域をカットできます。所定の位置にあるスキャンボディで顎を再スキャンすると 2 つの 3D モデルを作成できます。1 つはスキャンボディを含むもの、1 つはスキャンボディを含まないものです。次に、これらのモデルをラボラトリーに送信します。ラボラトリーはカスタムアバットメントを作成します。

インプラント用 3D モデルを取得するには、以下の手順に従います：

- 上顎および下顎をスキャンします。
- 頬側バイト印象をスキャンします。
- カットツールを使用してインプラント領域をカットします。
- スキャンボディを取り付け、スキャンボディと一緒に顎を再スキャンします。
- 画像をリファインします。
- 支台歯形成チェックを完了し、画像をエクスポートします。



注記：いくつかの場合、1 つの歯列弓（部分または全）の画像を取得できても、頬側バイト印象を取得できません（例、対合歯列弓に歯がない場合）。しかし、可能であれば、歯列弓と頬側バイト印象の両方の画像を取得することをお勧めします。

上顎および下顎の歯をスキャンする

自動画像取得を使用して画像を取得するには、以下のステップに従います：

1 歯を十分に乾燥させてから画像取得を開始します。

2 画像取得インターフェイスにアクセスするには、イメージングソフトウェアの  をクリックします。

3 画像取得タイプの選択ウィンドウで  をクリックし、OKをクリックします。

4 画像取得インターフェイスで、上顎画像取得モードを選択します。



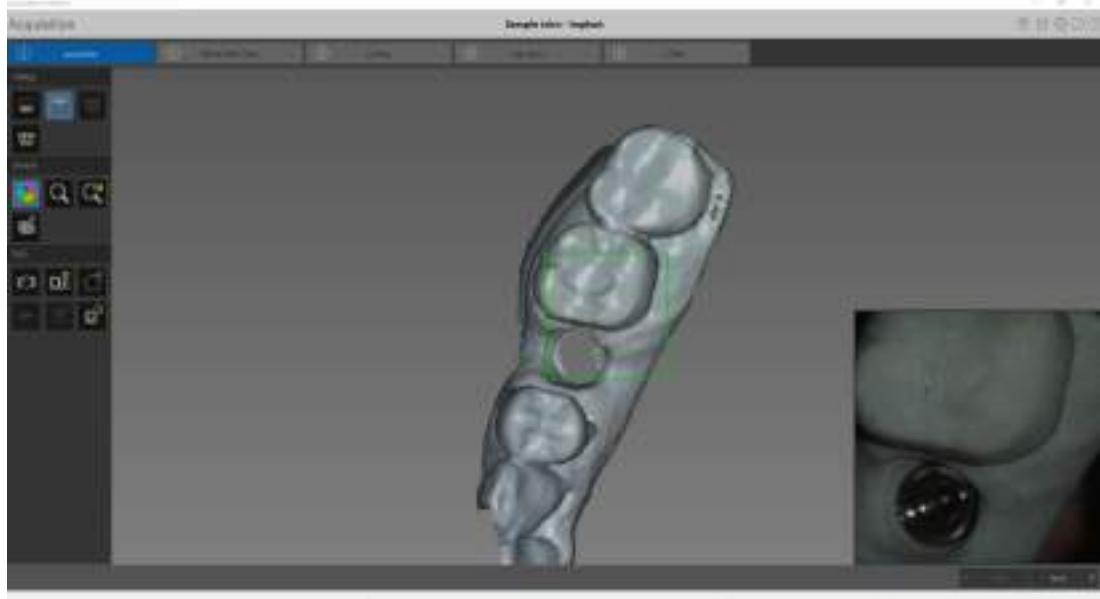
または

スキャナで、モードボタンを 1 秒間押して画像取得モードを選択します。モードインジケータ LED が緑色に点灯します。



5 インプラント領域の咬合面に対して 90 度の角度でスキャナを保持します。チップを歯面に置くと、スキャナが安定します。ライブのビデオ画像が ビデオプレビュー画面に表示され、画像取得が開始されます。画像が自動的に取得され、3D モデル表示画面に転送されます。

以下の画像は、上顎のいくつかの画像取得を示しています。

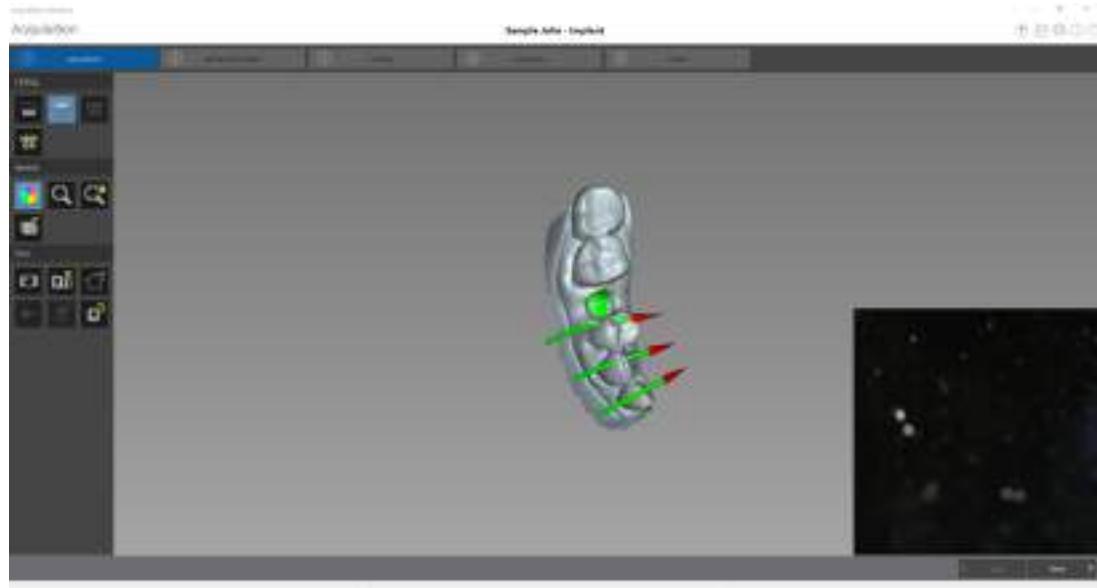


- 6 咬合面に沿ってスキャナ チップをゆっくりと動かし、インプラント領域にある残りの歯をスキャンします。
- 7 咬合面のスキャンが完了したら、インプラント領域の歯の舌側面をスキャンします。歯の舌側面に対して 45 度の角度でスキャナを保持します。
- 8 舌側面のスキャンが完了したら、インプラント領域の頬側面をスキャンします。歯の頬側面に対して 45 度の角度でスキャナを保持します。



重要 : 画像取得プロセスの間は必要に応じて歯を再乾燥させます。

下例は、咬合面、舌側面および頬側面のスキャンが完了した場合の上顎の3Dモデルを表示しています。



重要：赤い矢印が付いた緑の線は特に切歯上の画像のステッヂエラーの原因になる、頬側面、舌側面、および咬合面間の弱い接続を示します。矢印が消えるまで領域をスキャンします。



重要：インプラント領域のスキャン画像に穴が表示される場合は、その穴が塗りつぶされるまでその領域を再スキャンします。詳細を表示するには、マウスホイールを使用してインプラント領域を拡大します。

9 上顎のスキャンが終わると：

必要であれば、上顎のみについて作業を継続できます。  をクリックします。反対側の顎の画像を取得していないことを述べ、それでも作業を継続するか問い合わせるメッセージが表示されます。はいをクリックします。 [ページ 88 の「カットツールを使用してインプラント領域をカットする」](#)にリストされたステップを継続します。

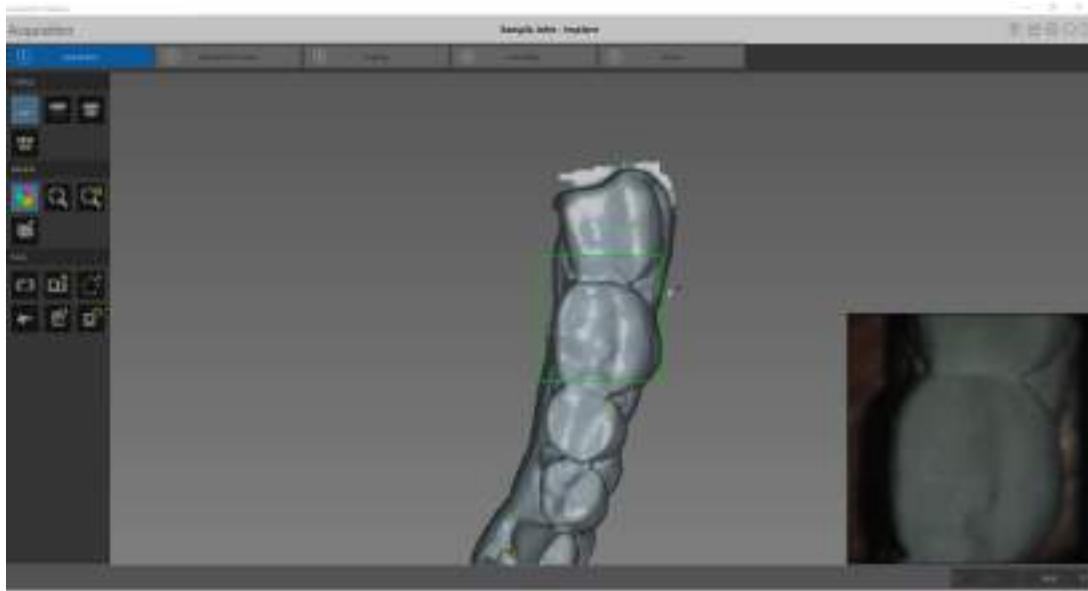


注記：基本設定ウィンドウで リファインチェックの有効化オプションを選択した場合、ソフトウェアが画像をリファインした後で、カットステップを実行することになります。

または

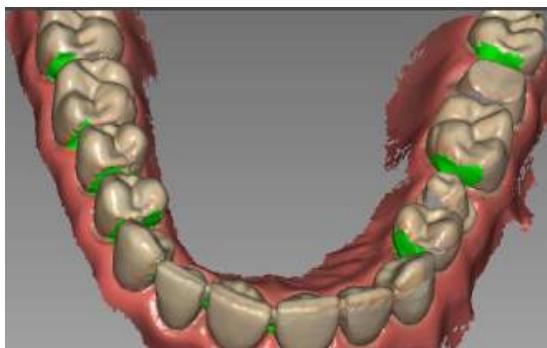
最初に下顎のスキャンを開始できます。  をクリックし、下顎の歯をスキャンできるまでステップ 5 ~ 8 を繰り返します。

下例は、咬合面、舌側面、頬側面のスキャンが完了した場合の下顎の3Dモデルを示しています。



- 10 穴に関して3Dモデルを目視点検します。インプラント領域の付近に穴がある場合は、その穴が塗りつぶされるまでその領域を再スキャンします。

画像取得中に高解像度モードの使用をしていない場合、3Dモデルの緑色が画像の既存の穴を



ハイライトします。

緑色が消えるまでハイライトされた領域を再スキャンします。

- 11 3Dモデルで満足な結果が得られた場合、頬側バイト印象の画像取得を続行します。



重要：上顎および下顎の両方から歯の画像を取得する場合、頬側バイト印象の画像も取得する必要があります。

頬側バイト印象をスキャンする

自動画像取得を使用して頬側バイト印象の画像を取得するには、以下のステップに従います：



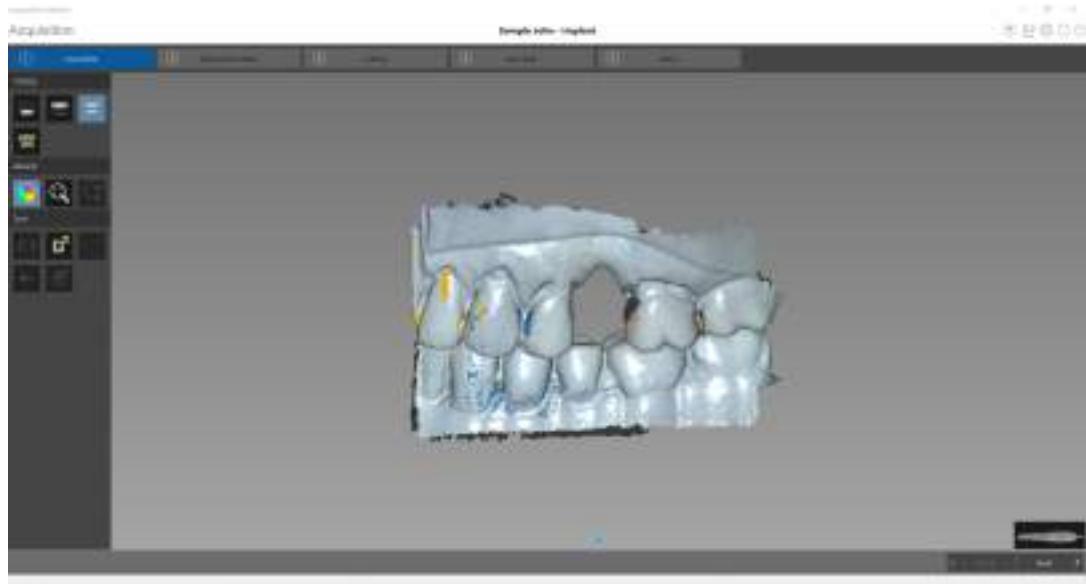
1 をクリックします。

2 患者にバイトさせます。

3 インプラント領域の頬側面に対して 90 度の角度でスキャナを配置し、上下の歯がビデオプレビュー画面の中央に揃うような位置に整列します。チップを歯面に置くと、スキャナの安定に役立ちます。

4 スキャナをわずかに上下に移動してバイト印象の画像取得を開始します。スキャナ設定ウィンドウでキャプチャー音オプションを有効にした場合、シングル ビープはキャプチャが成功したことを示しています。

下例は頬側バイト印象を示しています。



ドット がウィンドウ下部に表示され、キャプチャに成功したことを示します。成功したバイト画像には、上歯列弓および下歯列弓の両方が含まれます。



ヒント：顎の頬側画像を取得した後、必ずスキャナと共に対合歯列弓の方へ移動します。

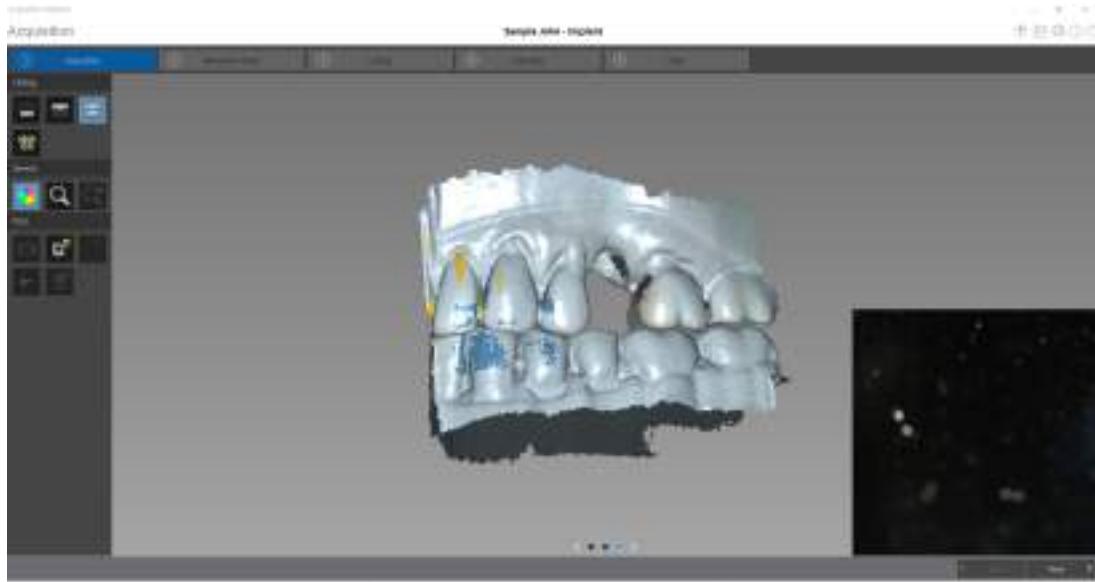
画像取得インターフェイスに両方の歯列弓が表示されると、バイト画像は成功であり、追加のバイト画像を取得でき、バイトの精度を上げられます。



重要：部分歯列弓の場合は少なくとも次の3枚の頬側バイト画像を取得。1枚は支台歯形成の上、1枚は支台歯形成に近心、1枚は支台歯形成に遠位。全歯列弓の場合は少なくとも次の4枚の頬側バイト画像を取得してください。臼歯で口の各側に1枚、犬歯で口の各側に1枚。

- 5 頬側バイト画像を少なくともさらに2枚は取得します。インプラント領域のどちらかの側について1枚ずつです。全歯列弓では、最大6枚のバイト画像を取得できます。
- 6 バイトを印象すると、モデルを回転してビューをズームし、バイトが正確でバイトのミスマッチ領域がないことを確認します。ドットをクリックすると、画像取得したバイトが表示されます。

次の例では、いくつかの頬側バイト印象を示します。

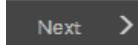


- 7 頬側バイト印象の画像取得が完了したら、フリーカットツールおよびカットツールを使用してインプラント領域のカットを進めます。

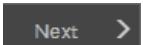
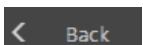
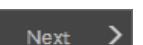
カットツールを使用してインプラント領域をカットする

フリーカットツールおよびカットツールを使用して、インプラントを含む画像セクションを除去できるので、そのセクションをスキャンボディ画像と置き換えできます。

3D 画像からインプラント領域をカットするには以下のステップに従います：

1  をクリックします。

注記：基本設定ウィンドウで **リファインチェックの有効化オプション**を選択した場合、ソフトウェアが画像をリファインした後で、カットステップを実行することになります。

- リファインされた画像が満足できるものである場合は、 をクリックし、カットプロセスを継続します。
- リファインされた画像が満足できないものである場合は、 をクリックし、穴が塗つぶされるまで、領域を再スキャンします。次いで、 をクリックし、カットプロセスを継続します。

2 次のいずれかを実行します：

-  をクリックします。インプラント領域の中心でマウスをクリックおよびドラッグし、緊急プロファイルおよび使用したスキャンボディを取り囲む十分に大きい円を描画します。



重要：円がスキャンボディの直径を十分に含むことを確認します。そうしないとスキャンボディの情報の一部が画像のリファイン後に失われことがあります。



- マウスボタンを解放します。



注記：画像から除去し過ぎた場合は、 をクリックして画像を復元し、カットプロセスを繰り返します。

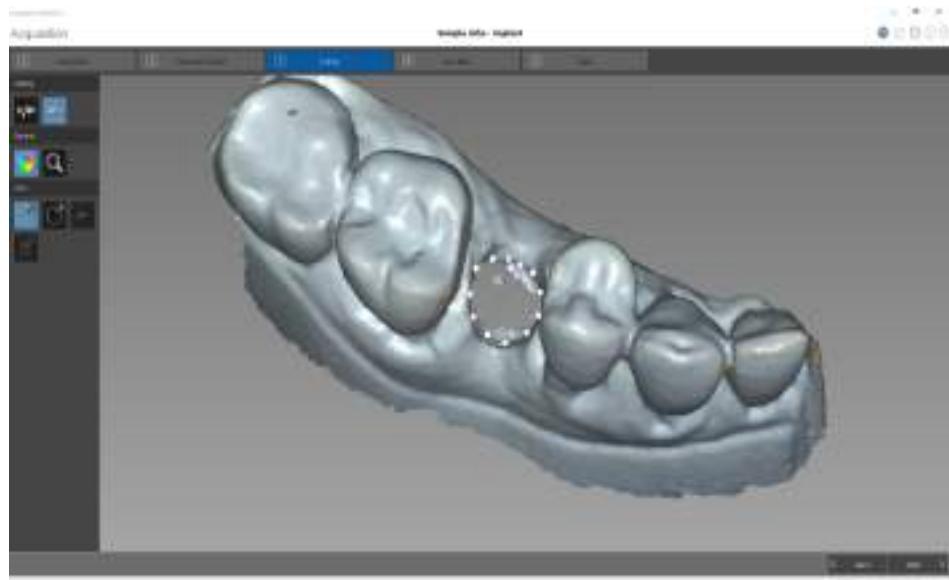
または



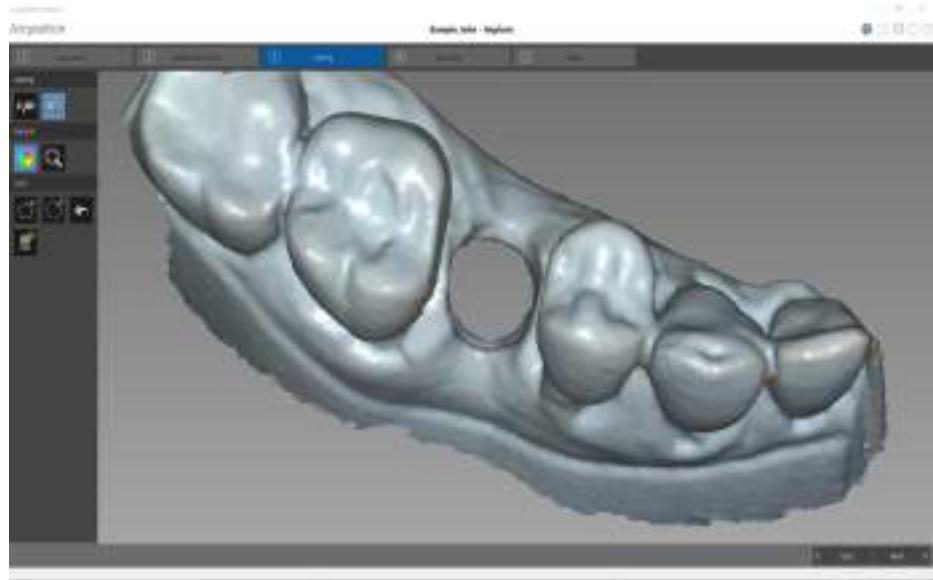
-  をクリックします。インプラントの周囲のいくつかのポイントでマウスをクリックし、緊急プロファイルおよび使用したスキャンボディの周囲を囲む十分に大きい円を作成します。



重要：円がスキャンボディの直径を十分に含むことを確認します。
そうしないとスキャンボディの情報の一部が画像のリファイン後に失われることがあります。



- マウスをダブルクリックします。



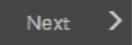
注記：画像から除去し過ぎた場合は、 をクリックして画像を復元し、カットプロセスを繰り返します。

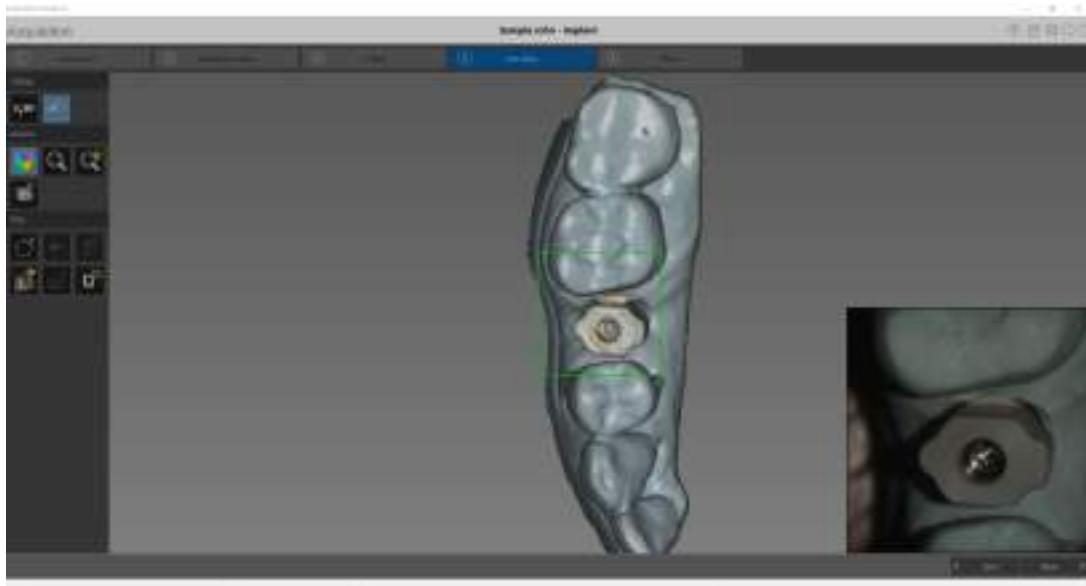
- 3 インプラント領域のカットが完了したら、スキャンボディの画像取得を続けます。

インプラント顎の上のスキャンボディ画像を取得する

スキャンボディを取り付けた後、顎をスキャンし、スキャンボディを3D画像に組み入れます。顎にいくつかのスキャンボディがある場合、[ページ 92 の「インプラント顎の上の複数のスキャンボディ画像を取得する」](#)を参照してください。

所定位置にあるスキャンボディで顎の画像を取得するには以下のステップに従います：

- 1  Next > をクリックします。
- 2 スキャンボディを取り付けます。
- 3 顎を再スキャンします。スキャンボディを含む領域が中心になるようにします。[ページ 82 の「上顎および下顎の歯をスキャンする」](#)に説明した画像取得のステップを繰り返します。



- 4 スキャンボディの画像取得が完了した場合、チェックステップに進みます。

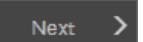


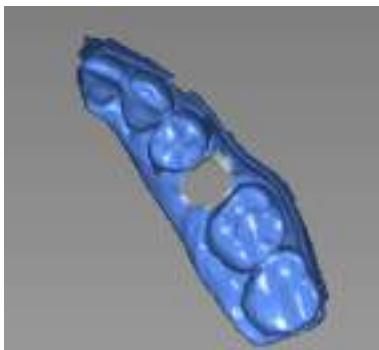
注記：スキャンボディのまわりに過剰な軟組織がある場合、 をクリックして削除した後次のステップに進みます。

インプラント顎の上の複数のスキャンボディ画像を取得する

インプラント顎の上の複数のスキャンボディがある場合、スキャンボディ領域選択ツールを使用して考えられる画像の不一致を避けます。スキャンボディ領域選択ツールでスキャンボディが配置される顎の領域のみを選択しスキャンでき、スキャナは他の領域に情報を追加しません。一度にスキャンボディを1つだけ選択できます。

スキャンボディ領域選択ツールを使用して複数のスキャンボディの画像取得するには、以下のステップに従います：

- 1  Next > をクリックします。
- 2  をクリックして、スキャンボディ領域の場所の周りのいくつかのポイント上でマウスをクリックして円を形成します。
- 3 マウスをダブルクリックします。選択した領域を除く顎のすべての領域は青色でハイライトされ、スキャンされた場合、追加情報は青い領域に追加されます。



- 4 最初のスキャンボディを取り付け、スキャンボディを含む領域を再スキャンします。
- 5  をクリックしてハイライトされた領域を選択解除し、最初のスキャンボディをアンインストールします。
- 6  をクリックして、次のスキャンボディ領域の場所の周りのいくつかのポイント上でマウスをクリックして円を形成します。
- 7 マウスをダブルクリックします。
- 8 次のスキャンボディを取り付け、スキャンボディを含む領域を再スキャンします。
- 9  をクリックしてハイライトされた領域を選択解除し、スキャンボディをアンインストールします。
- 10 各残りのスキャンボディに対して上記ステップを繰り返します。

11 スキャンボディの画像取得が完了した場合、チェックステップに進みます。

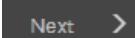


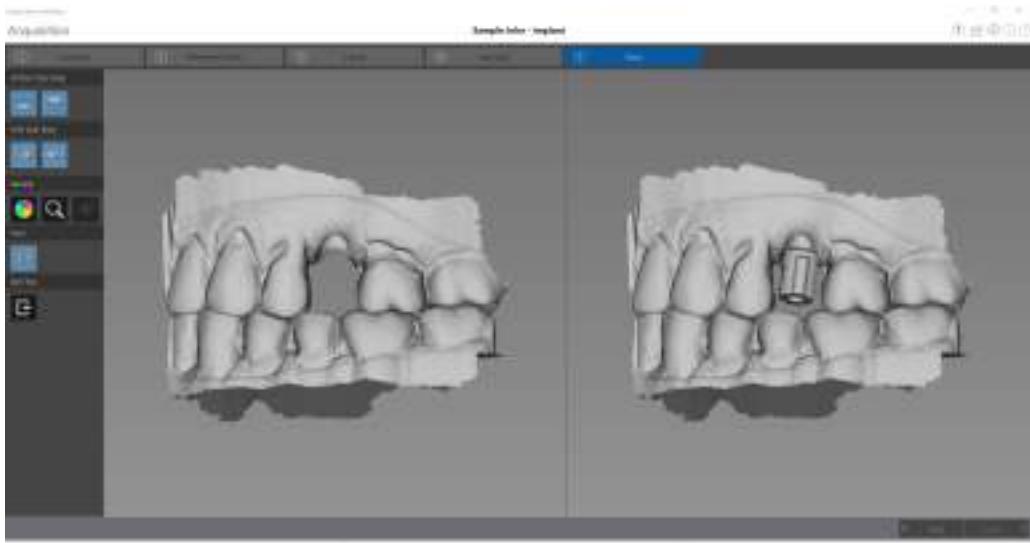
注記：スキャンボディのまわりに過剰な軟組織がある場合、 をクリックして削除した後次のステップに進みます。

チェック

チェックステップでインプラント画像とスキャンボディ画像を結合し、正確さが最高になるよう3D画像をさらに処理します。

3Dモデルをチェックし、さらに調べるには、以下のステップに従います：

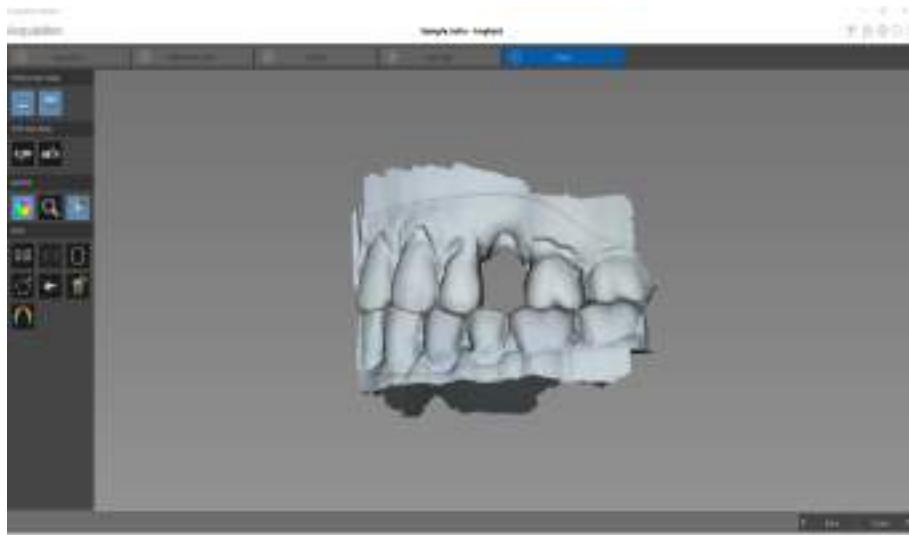
- 1  をクリックして画像をリファインします。



- 2 次の方法を使用して分割画面ビューで両方の画像を同時に操作します：

- 3Dモデルを右クリックして保持し、両方のモデルをウィンドウで動かします。
- 3Dモデルを左クリックして保持するとモデルは回転します。
- マウスにスクロールホイールがある場合、ホイールを使用して3Dモデルを拡大または縮小します。
-  をクリックして、モデルを最適なビューに拡大縮小します。

-  または  をクリックして分割画面を終了します。これで 3D モデルを修正できるようになります。分割画面ビューの画像は修正できません。

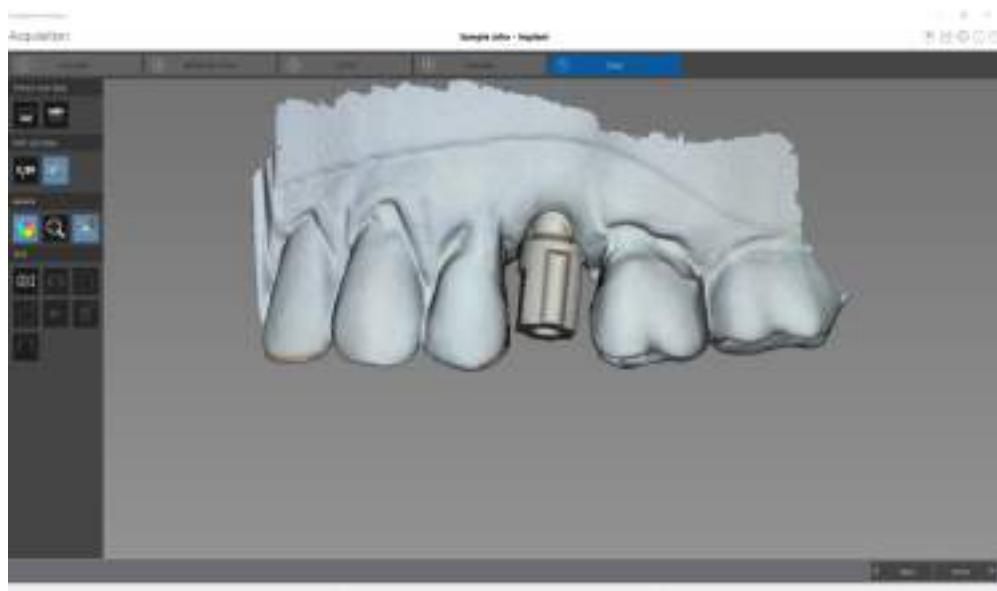
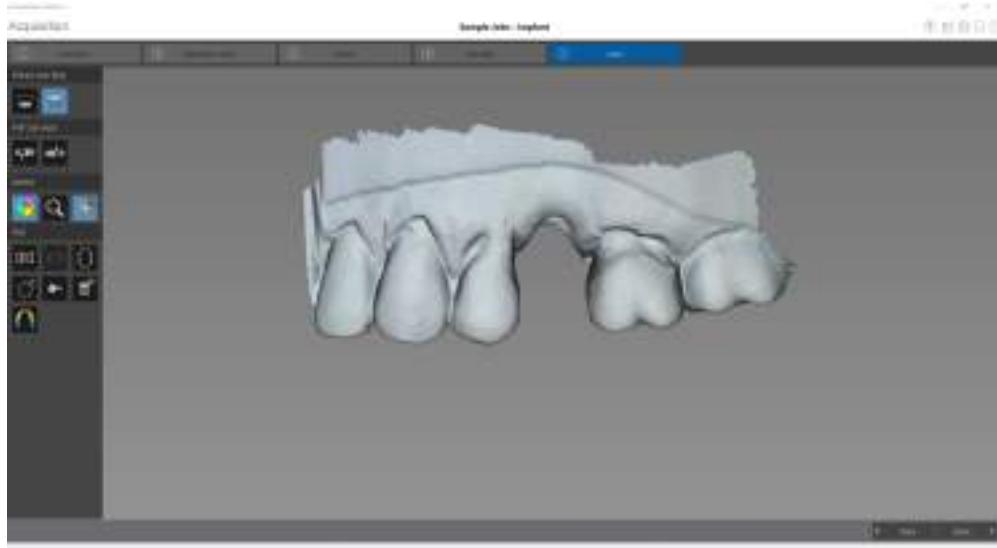


-  をクリックして環境光をオンにします。



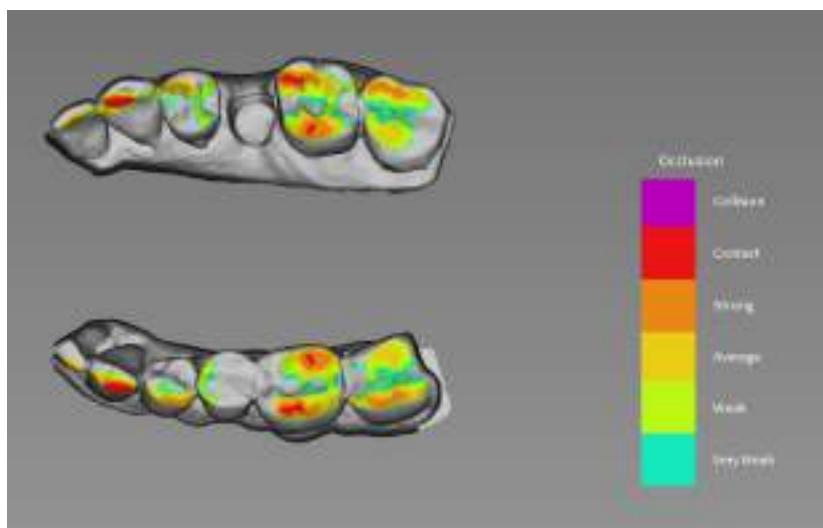
ヒント: 光がオンの場合、影が表示され、3D 効果が強化され、メッシュが見やすくなります。光がオフの場合、影は表示されず、メッシュはより明るくなり、カラーと細部が見やすくなります。

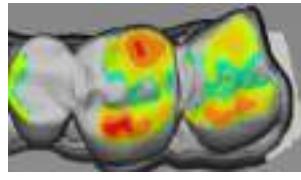
-  または  をクリックして、スキャンボディなしに、またはスキャンボディありで、画像を表示します。



-  をクリックして、画像の過剰軟組織を選択して削除します。

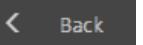
-  をクリックしてメッシュに色範囲として表示される咬合圧を表示します。



- モデル上をズームインして  咬合がどのようにモデルで計算されるかをはっきり表示します。



をクリックして、インストールプロセスを続けます。

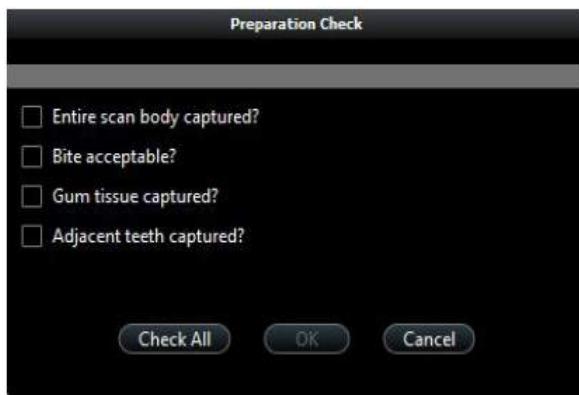
- 3 インプラント領域に穴がある場合、 をクリックして欠損データのある歯を再スキャンします。
- 4 3D モデルで満足な結果が得られるまで、ステップ 1 ~ 3 を繰り返します。
- 5  をクリックします。歯列弓ダイアグラムが表示されます。



- 6 成人または 小児アイコンをクリックして適切な歯列弓を表示します。

7 3D モデル用に画像取得した歯列弓の歯（上顎と下顎の歯を含む）を選択します。

8 **Done >** をクリックします。支台歯形成チェックウィンドウが表示されます。



9 3D モデルのスキャンボディを調べて以下のいずれかを実行します。

- スキャンボディ全体を表示できる場合、支台歯形成チェックウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- スキャンボディ全体が見えない場合、キャンセルをクリックします。< Back をクリックしてスキャンボディを再スキャンします。

10 3D モデルのバイトを調べて以下のいずれかを実行します。

- バイトが受け入れできる場合、支台歯形成チェックウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- バイトが許容できない場合、キャンセルをクリックします。< Back をクリックし、インプラント領域に必要な調整を行い、インプラント領域および周囲の歯を再スキャンします。

11 3D モデルでインプラントの周囲の歯茎組織を調べて以下のいずれかを実行します。

- 歯茎組織の全体を明瞭に表示できる場合は、支台歯形成チェックウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- インプラントの周りの歯茎組織の全体が見えない場合、キャンセルをクリックします。< Back をクリックして影響された組織を再スキャンします。

12 3D モデルでインプラントに隣接する歯を調べて以下のいずれかを実行します：

- 歯が完全にキャップチャされ、隣接歯に穴がない場合は、支台歯形成チェックウィンドウの対応するオプションをクリックします。
- インプラントの隣の歯が欠けているかまたは穴がある場合、キャンセルをクリックします。< Back をクリックして影響された歯を再スキャンします。

13 3D モデルに満足したら、 をクリックし、3D モデルをイメージングソフトウェアに送信します。



重要：3D モデルを表示するには、デスクトップにインストールされている Trophy Mesh Viewer を使用します。メッシュビューアの使用法については、Trophy Mesh Viewer インターフェイスの ? ボタンをクリックしてください。DCM ファイルをラボに送信している場合、ラボに以下のリンクから Trophy Mesh Viewer をダウンロードするように求めます：
<http://sas-origin.onstreammedia.com/origin/carestreamhealthinc/CSMeshViewer/CSMeshViewer.zip>

2D 画像を選択する

2D 画像を 3D モデルから選択して、3D モデルとともにデンタルラボに送信することができます。



注記：2D 画像の選択機能は画像取得ステップでのみ使用可能です。

2D 画像を選択するには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックします。
- 2 3D モデルを操作して表示したい位置にします。
- 3 2D 画像にしたい 3D モデルの領域をクリックします。画像は ピュー タブに表示されます。



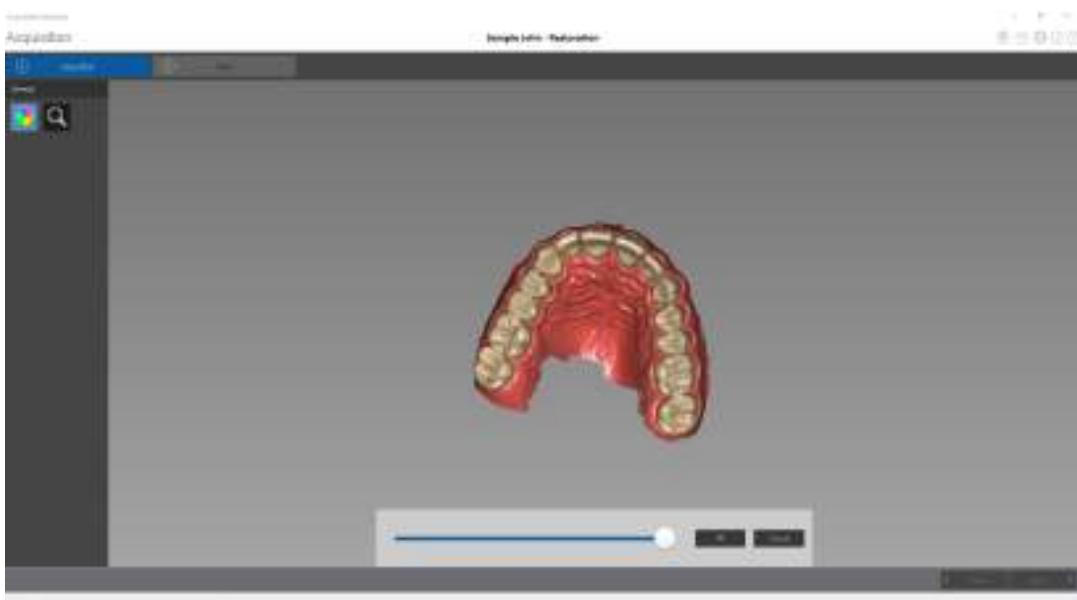
- 4 ピュー タブの画像の右上隅のチェックマークをクリックして画像を 保存ビュー タブに移動します。
- 5 2D 画像の選択を完了したら、 をクリックして 画像取得 インターフェイスに戻ります。

スキャン履歴チェックを使用してスキャンをレビューし不要なビューを除去する

スキャン履歴チェック機能は 3D モデルで前後に移動してスキャンをチェックすることを可能にします。ミスマッチまたは不要なビューを含むスキャン領域があり、 ツールを使用してこれらの領域を除去できない場合、スキャナ履歴チェック機能を使用してミスマッチが発生した前の場所にスキャン部分を戻すことができます。この後、その領域を再スキャンできます。

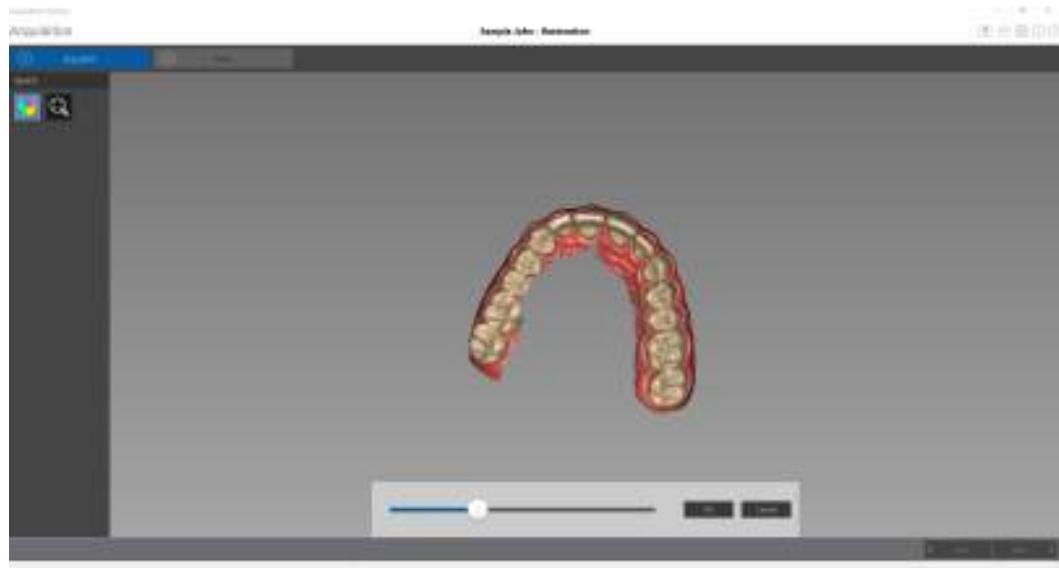
スキャン履歴チェック機能を使用するには、以下のステップに従います：

- 1  をクリックします。スキャン履歴チェックビューが表示されます。



- 2 3D モデルを操作して表示したい位置にします。

- 3 スライダをクリックして左に移動しスキャンの部分を取り除きます。スライダを右に戻して移動すると、取り除く部分が変わります。



- 4 スキャンから不要なビューを取り除いたら、OK をクリックして、**画像取得** ウィンドウに戻ります。



注記：スキャン履歴チェック機能を使用して取り除いたビューは元に戻せません。

- 5 何も変更しないで、**画像取得** ウィンドウに戻るには、**キャンセル** をクリックします。

9 メンテナンス

洗浄、消毒、および滅菌

スキャナとアクセサリを定期的に洗浄、消毒、滅菌する必要があります。

取り外し可能なスキャナのチップは最大 20 回オートクレーブできます。20 回使用したら、チップを廃棄します。134°C での保持時間を 4 分以下に制限すると、最大 60 回までオートクレーブできます。詳細は **Trophy 3DI Pro の安全、規制、および技術仕様ユーザーガイド** を参照してください。



重要：洗浄、消毒、および殺菌の詳細については、「**Trophy 3DI Pro の安全、規制、および技術仕様ユーザーガイド**」を参照してください。

10 テーマ

トラブルシューティング

Trophy 3DI Pro トラブルシューティング説明書

問題の説明	対処方法
3D 画像にミスマッチおよびオーバラップが現れる	フリーカットツールまたはスキャン履歴チェックツールを使用してミスマッチデータおよび過剰組織を取り除き、画像を再取得します。
バイトを印象した後、上顎と下顎の間にギャップまたは交差がある。	バイトビューを削除して、画像を再取得してください。
支台歯形成のマージンラインがクリアでない。	スキャナの位置を調整してマージンラインに焦点が合うようにして、画像を再取得してください。
リファイン後、スキャンボディが欠落。	スキャンボディの画像取得前に、フリーカットまたはカットツールを使用してインプラント領域をカットしてください。
複数のスキャンボディが並んでいる場合、スキャンボディがミスマッチ。	スキャンボディ領域選択ツールを使用してください。ページ 92 の「インプラント顎の上の複数のスキャンボディ画像を取得する」を参照してください。歯間部を良好にスキャンするために、隣接するスキャンボディをアンインストールしてください。リファイン前に、フリーカットツールまたはスキャン履歴チェックツールを使用してスキャンボディと重なっている過剰な軟組織を取り除いてください。
精密性の劣化が見られるまたは取得の間に画像がうまくスティッヂされない。	レンズウィンドウは必ず湿らせた糸くずの出ない布またはレンズ用ティッシュでスキャナのベースにあるを拭いて、清浄にしてください。チップのミラーから小さなごみや水あかを取り除くには、レンズティッシュか糸くずの出ない布を使用してください。チップがしっかりと取り付けられておりライビビデオ上に暗いエッジがないことを確認してください。
金属支台歯形成の再構成が時折困難。	スキャナの位置を調整し（例：距離または角度）、より多くの領域をスキャンしてください。光散乱を減少させるには治療室のライトを患者から離すよう調整します。
基本設定ウィンドウで HD 3D の有効化オプションを選択しても、微調整後に HD 3D カラーが表示されない。	画像取得ステップに戻り、浮遊している軟組織を排除して、すべての歯がうまくスキャンされていることを確認します。
スキャナをスリープモードからウエイクさせた後、ホルダーから外した後、またはチップ交換した後にアンチフォグ機能の待機時間が増加する。	休まないで全歯列弓をスキャンし、スキャナが口腔外環境に曝される時間を、特に室温が低い場合可能なかぎり短縮します。
チップが装着されているが検出されない。ライビビデオが表示されず、画像取得ウィンドウの右下隅にチップなしアイコンが表示される。	チップを再装着し、チップがスキャナとしっかりと接触していることを確認します。

問題の説明	対処方法
画像取得ウィンドウの右下隅に過熱アイコンが表示され、モードインジケータおよび電源ボタンが高速点滅する。	5～10分間、スキャナをホルダーに置きます。スキャナは非アクティブになります。冷却されます。
モードインジケータおよび電源ボタンが高速点滅するが、画像取得ウィンドウの過熱アイコンが表示されない。	コンポーネントが故障している可能性があります。地域のサービスプロバイダにお問い合わせください。
スキャナのベースにあるレンズウィンドウの内部表面に曇りが現れる。	スキャナに完全に乾燥したチップを取り付け、スキャナをホルダーに置くかディスク上にセットして、曇りが消えるまで待ってください。スキャナの電源をオフにした後(1時間を超えて)も曇りが完全に消失しない場合は、最寄のサービスプロバイダにお問い合わせください。 チップはスキャナに取り付ける前に必ず完全に乾かすようにして、スキャナの洗浄には消毒剤に浸した布は絶対に使わないでください。
画像取得ソフトウェアを起動させると、専用のグラフィックスカード上でアプリケーションを実行してくださいと表示されます。	<ol style="list-style-type: none"> デスクトップを右クリックして、NVIDIA コントロールパネルを選択します。 3D 設定オプションの下で、3D 設定の管理をクリックします。 プログラムの設定をクリックします。 カスタマイズするプログラムの選択の下で、追加をクリックし、リストから Trophy IO 3D 画像取得インターフェイスを選択して、選択したプログラムの追加をクリックします。 このプログラムにとって望ましいグラフィックスプロセッサーの選択の下で、高性能 NVIDIA プロセッサーを選択します。 適用をクリックします。

11 お問い合わせ先

工場住所

Rayco (Shanghai) Medical Products Company Limited
1510 Chuanqiao Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone
Shanghai, China 201206

製造元の住所



Carestream Health, Inc.
150 Verona Street
Rochester, NY USA 14608

www.carestreamhealth.com

認定代理店

欧州共同体認定代理店

EC REP

Carestream Health France
1, rue Galilée
93192 Noisy-Le-Grand Cedex, France

EU 向け輸入代理店

Carestream Health Netherlands B.V.
Bramenberg 12
3755 BZ Eemnes
オランダ

Representante no Brasil Carestream do Brasil Comércio e Serviços de Produtos MédicosLtda.

Rua Pequetita, 215 cjs.
31 E 32 Edifício Atrium VII - Vila Olímpia
São Paulo - Brazil
CEP (郵便番号) : 04552-060

